

第三次 三好市地域福祉活動計画

令和2年度～令和5年度（4力年計画）

令和2年 3月

社会福祉法人 三好市社会福祉協議会

はじめに

現在、三好市では少子高齢化や人口減少が急速に進行し、社会構造や生活環境の変化等とも相まって、高齢者のみの世帯、特に一人暮らしの高齢者が年々増加しています。加えて地域のつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境は厳しく、福祉課題はますます複雑、多様化しています。

社会福祉法第109条において地域福祉の推進を図ることを目的として設立された三好市社会福祉協議会では、子どもからお年寄りまで、障がいの有無にかかわらず誰もが住み慣れた地域で安心して、生きがいを持って生活をしていくために、人と人とのつながりと支え合いを大切にした取り組みを展開し、行政をはじめ、民生委員児童委員連絡協議会、地区住民福祉協議会、ボランティア、NPO 法人や各種福祉団体等と協働して、地域の福祉力向上に努めてまいります。

また、この度令和2年度から令和5年度までの4年間を計画期間とした第三次三好市地域福祉活動計画を策定しました。この活動計画は、第一次(平成24年度から3年間)、第二次(平成27年度から5年間)三好市地域福祉活動計画の成果や課題を受け継ぎ、現在の社会情勢を踏まえ多様化する福祉ニーズに対応するため、「声かけ合って 支え合い 誰もが安心して暮らせるまちづくり」を基本理念とした、三好市の地域福祉推進を図るための実践的な行動計画です。今後は、計画実現に向け、地域の皆様や地区住民福祉協議会、地域福祉に関わるあらゆる団体と連携して推進してまいりますので、なお一層のご協力とご参加ご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり貴重なご意見と多大なご尽力を賜りました策定委員の皆様をはじめ、アンケート調査及び住民座談会等にご協力をいただきました皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

令和2年 3月

社会福祉法人三好市社会福祉協議会

会 長 新 居 政 昭

はじめに

「一人ひとりが主人公です。」

近年、超高齢社会、少子化、人口減少等が加速的に進み、暮らしや地域が多様化しています。一人ひとり、地域一つひとつが主体となって目標を共有し、共通認識のもとに一丸となって取り組むことが求められています。

私たちは、住み慣れた地域で安心して暮らしていきたいと願っています。

「声かけあって 支え合い 誰もが安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に第三次地域福祉活動計画が策定されました。

誰もが、役割を担い、生き生きと輝ける場がある地域、「共に支え合い、助け合って」あたたかいふれあいのあるまち三好市、そんな福祉のまち三好市を目指して第三次地域福祉活動計画は策定されています。

策定にあたって、第三次地域福祉活動計画策定委員会を設置し、アンケート調査結果や第二次地域福祉活動計画の振り返り、新たな課題について検討を進めました。策定作業を進めるにあたって、各地域において住民座談会を実施し、地域の課題や解決策等出された意見を参考にさせていただきました。地域福祉活動計画は地域の皆さんと共に地域について考え、行動していくための指針です。

皆さん一人ひとりが主人公として、住み慣れた地域に根ざし、行政をはじめ、地区住民福祉協議会や福祉団体、ボランティアの方々との連携・協働によって誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しましょう。私たちのまち三好市の地域福祉力の向上のために、社会福祉協議会とともに、皆さん一人ひとりが活動に取り組んでいただけることを願っています。多くの皆さんの参画を期待しています。

最後になりましたが、住民座談会に参加して下さった皆様、アンケートにご協力いただいた皆様、策定委員の皆様、多くの関係の皆様方に対しまして心から感謝し、厚くお礼を申し上げますとともに、今後の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年 3月

三好市地域福祉活動計画策定委員会

委員長 田 村 公 子

目 次

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけと性格	2
3 計画の期間	4
4 三好市の現状と人口推計	5
5 アンケート調査からみえる課題	7

第2章 地域福祉活動計画概要

1 第三次地域福祉活動計画の概要	15
2 活動計画の進行管理と評価について	20

第3章 地域福祉活動計画

1 地域福祉活動計画 -三好市全域-(大圏域)	
三好市地域福祉活動計画	21
2 地域福祉活動計画 -旧町村単位-(中圏域)	
6地区地域福祉活動計画	31
3 地域福祉活動計画 -地区住協単位-(小圏域)	
63地区住民福祉協議会地域福祉活動計画	51

第4章 計画の推進

1 計画の公表	112
2 計画推進にあたってのお願い	

資料編

1 三好市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱	114
2 三好市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿	116
3 三好市地域福祉活動計画策定関係会議開催状況	120
4 アンケート調査結果	124
5 地域別地区住民福祉協議会一覧	141

第 1 章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

急速な高齢化や人口減少、社会構造や生活環境の変化等により、高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増加、地域のつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境は厳しく福祉課題は複雑・多様化しています。

平成29(2017)年度施行された社会福祉法の改正は、大きく分けて「社会福祉法人制度の改革」と「福祉人材の確保の促進」といった社会福祉法人制度の大改革であり、経営組織のあり方の見直しや財務規律の強化、介護現場で不足しがちな福祉人材の確保など、既存法人に大きな影響のある改正がありました。

また、最近では、少子高齢社会がさらに進んだ社会の状態の意味で超少子高齢社会と言われ始め、地域住民同士の絆の希薄化、仲間力が弱体化し、孤独や孤立など多くの問題が出てきています。こういった問題を解決していくためには、地域社会全体で超少子高齢社会を支えていく必要があります。

こうした中で、誰もが住み慣れた地域で安心して、生きがいを持って生活していくためには、地域住民がボランティア等の市民活動団体や民間事業者とともに行政や社協と協働して相互に助け合うコミュニティを形成して地域福祉を進めていくことが求められています。

三好市社会福祉協議会では、平成27年度に策定しました「第二次三好市地域福祉活動計画」のもと、地域に住む皆さんがともにつながりを持ち、助け合うという意識の形成、地域の社会資源を活用した公民協働による支援を必要とする人を支える体制づくりやそれぞれの役割などについて、基本的な理念や目標を定め、住民主体の地域福祉活動を推進してきました。

令和元年度は、第二次三好市地域福祉活動計画の最終年度にあたり、この計画の評価・事業の見直し等を行い、これまでの取り組みの成果や新たな課題、社会情勢を踏まえ、引き続き福祉活動にかかわる各種団体等と連携し、地域福祉推進を図るための活動計画として、第三次三好市地域福祉活動計画を策定しました。

2 計画の位置づけと性格

この計画は、地域住民が主体となり、地区住民福祉協議会(以下、「地区住協」)や自治会、民生委員児童委員連絡協議会などの福祉関係団体と NPO、ボランティア、福祉サービス事業者等がそれぞれに役割を担い、地域の人材、施設・機関、企業など多様な地域資源を活用した地域性のある福祉活動を連携・協力して行うことで、地域の課題を認識し、課題解決をめざすことにより、住民一人ひとりが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めるものです。

(1) 地域福祉活動計画

地域福祉活動計画は、社協の呼びかけのもと、地区住協や地域の福祉関係団体、地域福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業(福祉サービス)を営業者等が協働して地域福祉を推進することを目的とした民間の活動・行動計画です。

つまり、それぞれの地域の特色にあった活動をどのような方向で進めていくかを示すものであり、その総合的な活動の成果として三好市全体の地域福祉がどのように推進されていくかを示すものです。

社協では、地域福祉の推進を図るため、平成 24 年に最初の活動計画となる三好市地域福祉活動計画(以下「第一次活動計画」という。)(期間／平成 24 年度～平成 26 年度)を策定しました。その後、第二次三好市地域福祉活動計画(以下「第二次活動計画」という。)(期間／平成 27 年度～令和元年度)と取り組みを進め、この度、第三次三好市地域活動計画(以下「第三次活動計画」という。)を、令和2年度から令和5年度までの4年間の計画として、地域福祉の一層の充実を図ることを目的に、策定しました。

◇◇◇社会福祉協議会について◇◇◇

社会福祉協議会は社会福祉法第 109 条に規定され、社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、以下の事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とした団体です。

【主な事業活動】

- 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

(2) 地域福祉計画

地域福祉計画は、子ども、高齢者・介護、障がい者、健康増進など、保健・医療・福祉に関する地域福祉を推進していくため、「理念」や「仕組み」をつくり、総合的な方向性を示す行政計画です。

また、現在推進している保健・医療・福祉に関する各計画と整合性を図り、共通の理念に基づいて、住民と多くの関係機関との協働により、誰もが住み慣れた地域の中で、安心して充実した生活を送ることのできる地域社会を築くため、地域福祉推進の指針として位置づけています。

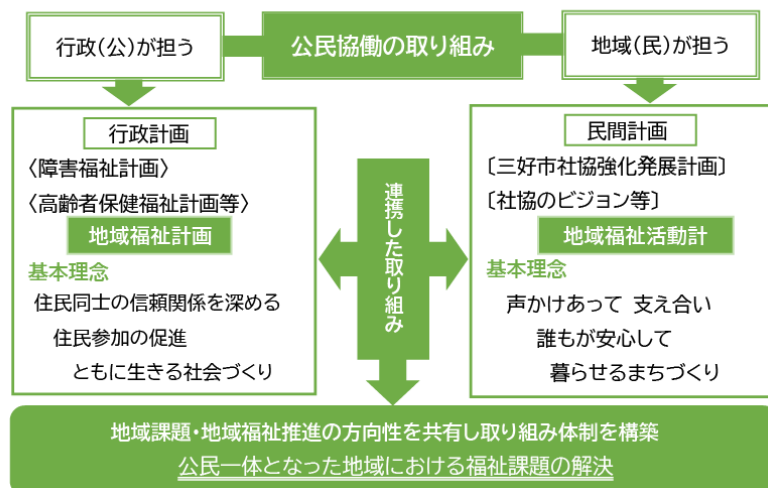
(3) 地域福祉計画と地域福祉活動計画との関係

地域福祉を計画的・効果的に展開するためには、地域住民による福祉活動、民間の福祉サービス機関・団体等による活動、行政等による公的な福祉サービスが一体となり、包括的に支援していく仕組みづくりが必要です。

このため、市では行政の地域福祉に係る具体的な方向性や施策を示す「地域福祉計画」を策定し、社協では地域住民や地域福祉に関わる住民組織などが実践する具体的な活動内容を定める「地域福祉活動計画」を策定しました。この二つが相互に連携し、一体となって公民協働の取り組みによる地域共生社会の実現に向け推進していきます。

●『公』と『民』の協働のイメージ図

●『公』と『民』の協働のイメージ図



3 計画の期間

本計画の期間は、令和2年度から令和5年度までの4年間とします。

なお、計画の進捗状況や社会情勢等の変化に応じて必要な見直しを行っていくものとなります。

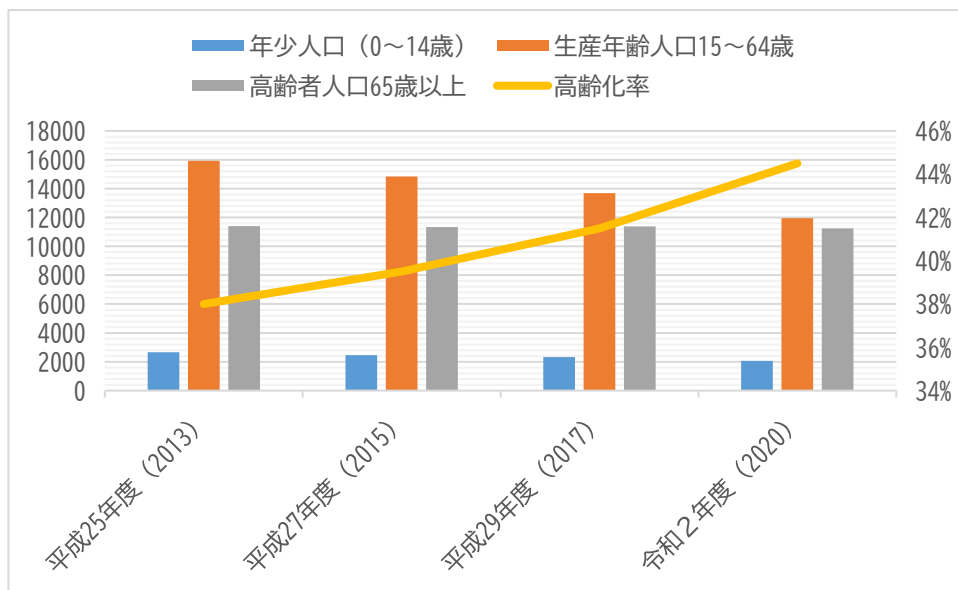


※ 三好市地域福祉活動計画は、行政計画である「地域福祉計画」と連携しながら進めていくことが必要であり「第3期三好市地域福祉計画」が令和4年度までの計画期間であるため、なるべく、実施時期に差が生じないように令和5年度までの計画期間としています。

4 三好市の現状と人口推計

三好市における人口構成は、下のグラフのように推移しています。

令和2(2020)年3月31日現在、平成27(2015)年3月から比べると、総人口は減少していますが、65歳以上の高齢者はほぼ横ばいで変化はありません。しかし、高齢化率は4.9%上昇し、44%を超えました。



(住民基本台帳 各年3月31日現在)

○高齢者世帯の状況

三好市の総世帯数は、令和2年3月31日現在、平成26(2014)年3月31日現在より981世帯減っています。しかし、65歳以上の一人暮らしや高齢者のみで構成される世帯が増加しており、子や孫などと一緒に暮らす同居世帯が減少しています。このことから在宅で生活する高齢者が何らかの介護が必要になっても、同居家族からの支援が難しいという状況がうかがえます。

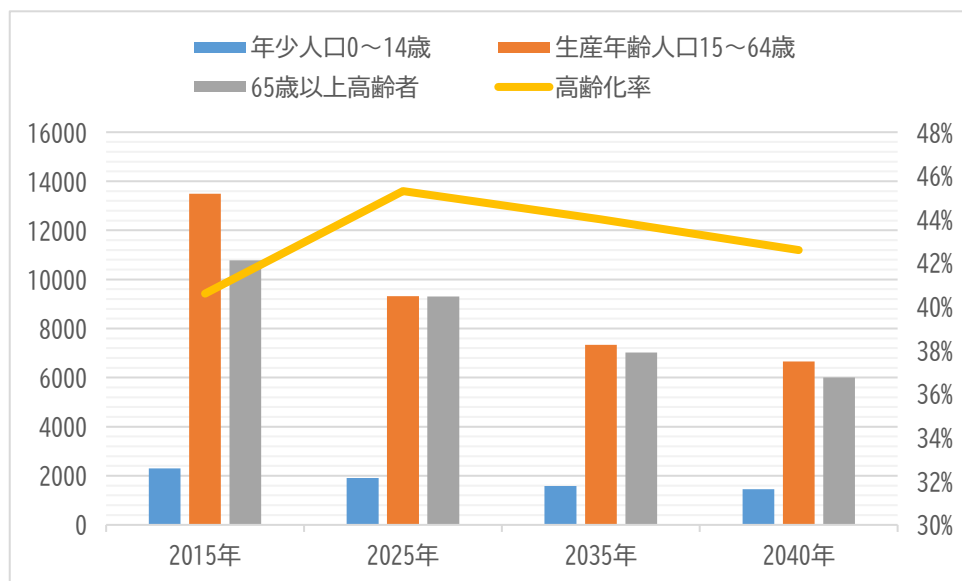
区 分	平成26年	平成29年	令和2年
総世帯	13,468世帯	13,056世帯	12,487世帯
高齢者のいる世帯	8,272世帯	8,249世帯	8,122世帯
一人暮らし高齢者世帯	3,486世帯	3,627世帯	3,697世帯

区 分	平成26年	平成29年	令和2年
高齢者のみ世帯 (一人暮らし除)	1,936世帯	2,009世帯	2,112世帯
高齢者と同居世帯	2,850世帯	2,613世帯	2,313世帯

(住民基本台帳 各年3月31日現在)

○将来推計

三好市人口ビジョンによると、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、高齢化率(65歳以上の人口比率)は2040年には51.9%まで上昇すると見通されていますが、市の独自推計では、2040年の人口目標数値である14,000人超が確保されれば、高齢化率は2025年をピークにそれ以後は徐々に低下すると推計されています。



(資料 三好市人口ビジョン)

5 アンケート調査から見える課題

第三次活動計画の策定にあたって、第二次活動計画時と同様に、検証と新たに顕在化した福祉課題を把握することから始めました。

そのために、社協職員からなるワーキンググループ（地域福祉課会議）が第二次活動計画の検証を行ったほか、地域の実情にあった、より具体的な活動にするための市民の意識調査となる「地域福祉活動計画に関するアンケート調査」を実施しました。また、各地域の地区住協では住民座談会を開催していただき、地域で抱えている問題を抽出し課題の把握を行いました。

1. 地域福祉活動計画に関するアンケート調査

第三次活動計画の策定にあたって、地域福祉に関する市民の実態や意識、要望・意見などを把握し、計画策定の基礎資料を得ることを目的として、令和元年5月に市民意識調査を実施しました。

調査の実施概要

区 分	配布数	有効回収数	有効回収率
市内在住の20歳以上の男女	1,000部	895部	89.5%

2. 活動計画策定委員からの意見聴取

策定委員会において、各委員から現状報告や課題提起、提案等をいただいた上で、さらに社協地域福祉課内で地域福祉に関わる課題等について協議いたしました。

3. 市社協による第二次活動計画の振り返り

第二次活動計画の評価及び検証を行い、第三次活動計画における課題の抽出、毎年地域で実施される評価会議の内容を加味して基本施策の体系について見直しを図りました。

4. アンケート調査からみた現状等

以下のような課題が見出されました。

(1) 地域における連帯感

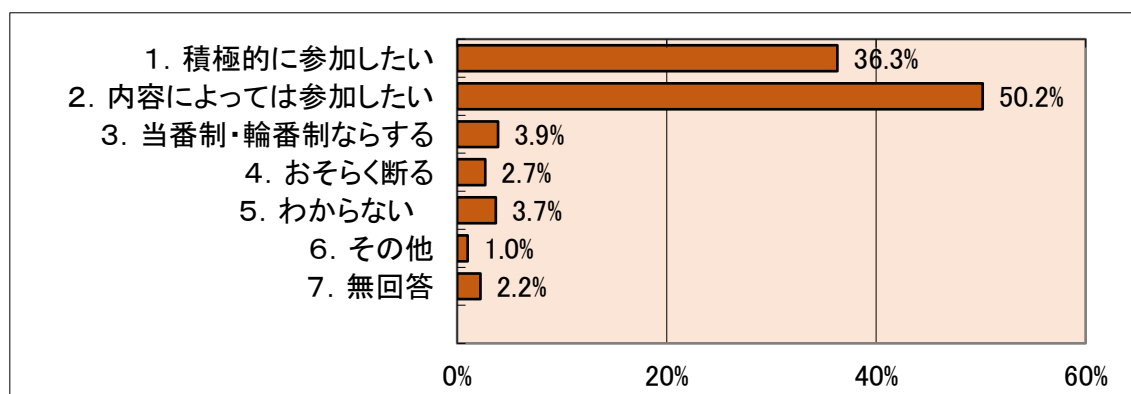
ご近所の方との付き合いについては、前回のアンケート調査と比べてその割合は変わりありませんが、家族構成別に見てみると「ご近所の方との付き合いがほとんどない」と回答した人のうち、ひとり暮らしの方が6割を占めていました。その割合は、前回の約2倍となっています。これまでは若い年齢層の方が多くを占めていましたが、ひとり暮らし高齢者も付き合いが少なくなっていることが分かります。

また、「ひんぱんに行き来がある」「何か困った時に助け合う」の項目では、年齢が上がるごとに、近所との助け合いを大切にし、関わりが増えていることが分かります。

地域活動への参加状況は、9割の方が「参加している」と答えています。「一斉清掃」や「地域の祭りなどの行事」については、地域で定着している行事への参加のため、参加率は高いのですが、前回より少し減っています。

また、「参加していない」と答えた人の中には、「積極的に参加したい」「内容によっては参加したい」という回答が半数ありました。地域活動には関心があり、参加の依頼があった場合には、多くの方が積極的に参加していただけるという結果が出ています。(図表1)

図表 1 「地域活動への参加依頼があった場合」のアンケート結果

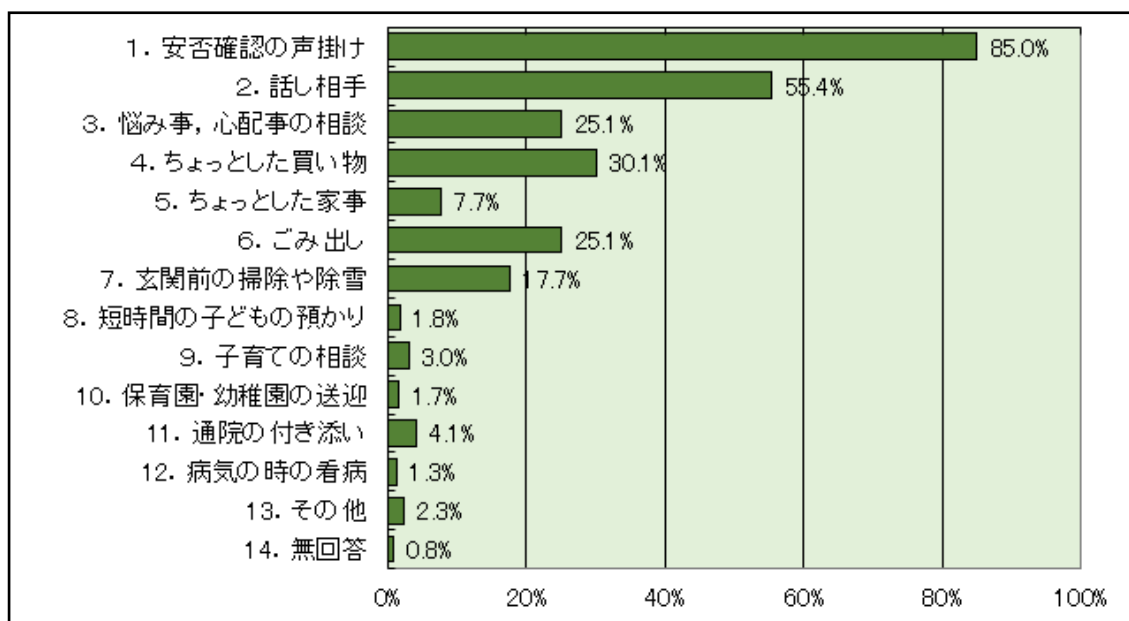


(2) ご近所の手助けについて

ご近所の手助けについては、自分のできることと必要だと思うことの両方で「安否確認の声掛け」が最も高く、次いで「話し相手」「悩み事・心配事の相談」「ちょっとした買い物」と気軽にできる手助けが最も有効で重要であることがうかがえ、生活支援体制整備事業や老人クラブのまかせて会員活動などにより、支え合い活動の必要性が高まっている結果となっています。(図表2)

また、悩みや心配ごとの相談については、前回と同じで、家族や知人・友人の割合が高い一方、関係機関への相談は非常に低い結果となっています。また、ご近所であっても、悩みや心配ごとは相談しにくい傾向にあることがわかります。

図表 2 「隣近所で困っている世帯があった場合のあなたができること」のアンケート結果



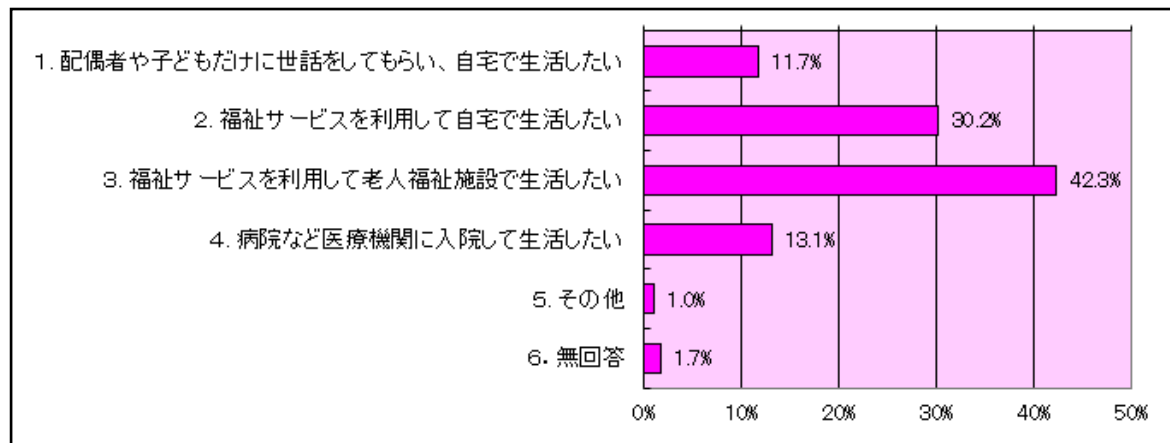
(3) 老後と介護について

老後の備えとして行っていることについては、充実した生活を送るための「健康の維持」が多く、趣味や友人との交流で「生きがいを見つける」が半数を占めています。

また、寝たきりになった場合の生活については、「老人福祉施設」で生活を希望する割合が一番多い結果となっています。多くの方が健康で自宅での生活を希望していると考えますが、何らかの支援や介護等が必要になった際には家族の負担を考えると、施設や介護サービスの利用を希望する人が多いことが分かります。

(図表3)

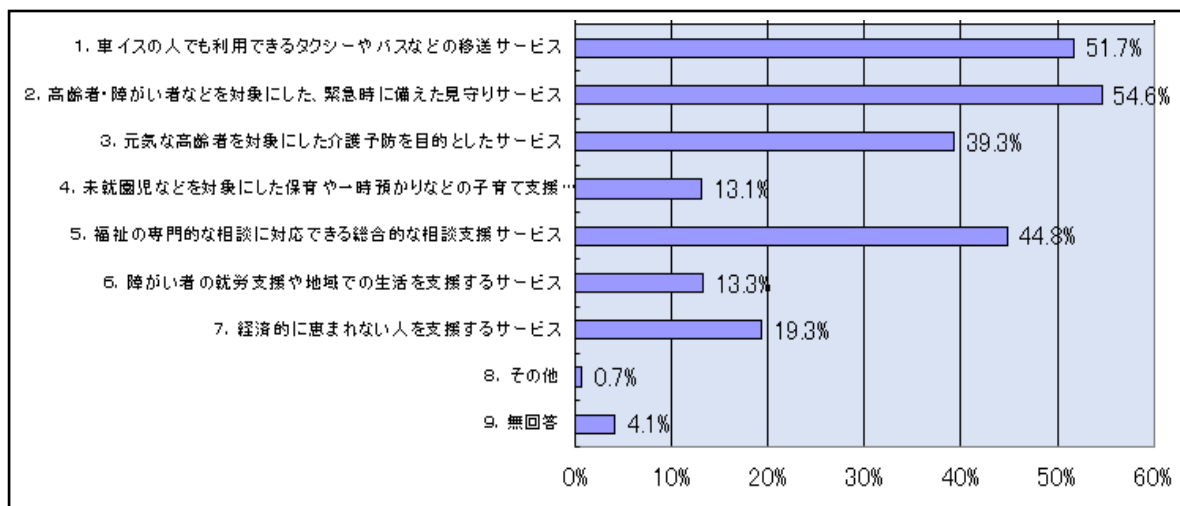
図表 3 「寝たきりになった場合どのように生活を送りたいか」のアンケート結果



(4) これから必要な福祉サービス

これから必要になると思われる福祉サービスでは「緊急時に備えた見守りサービス」に次いで「移送サービス」が多いという結果が出ています。近年、高齢者の重大な自動車事故が多発し、高齢者の自動車運転が問題視されるようになり、運転免許証の返納が増加しています。このことは、車が暮らしに欠かせない移動手段となっている三好市において、早急の対策が必要であることがうかがえます。(図表4)

図表 4 「これから必要になると思われる福祉サービス」のアンケート結果



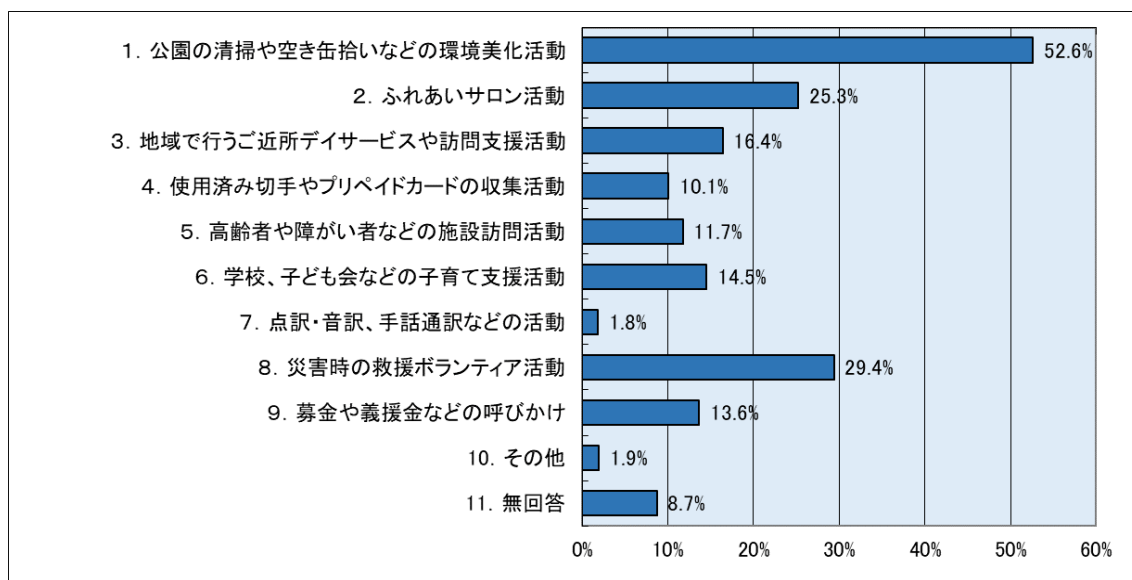
(5) ボランティア活動について

「非常に関心がある」「関心がある」人の割合は約7割近くを占めておりボランティアについて関心があることがうかがわれます。「すでに参加している」「参加してみたい」という人が全体の75.7%で、ボランティアについては非常に関心があると思われます。年代別にみると「ボランティア活動にすでに参加している」「参加してみたい」の割合は、年齢が上がるにつれて次第に増えており、一番多かったのは60歳代で、次は70歳代と続いています。

「どのような活動を行っているか」または「どのような活動をしたいか」については、「公園の清掃や空き缶拾いなどの環境美化活動」が最も多く、地域でも行われている馴染み深いボランティア活動に人気がありました。

「災害時の救援ボランティア活動」については、前回より高い結果となっており地域の防災会組織で活動するなど防災意識が高くなっていることがうかがえます。(図表5)

図表 5 「ボランティアを行っている、またはやってみたい活動」のアンケート結果



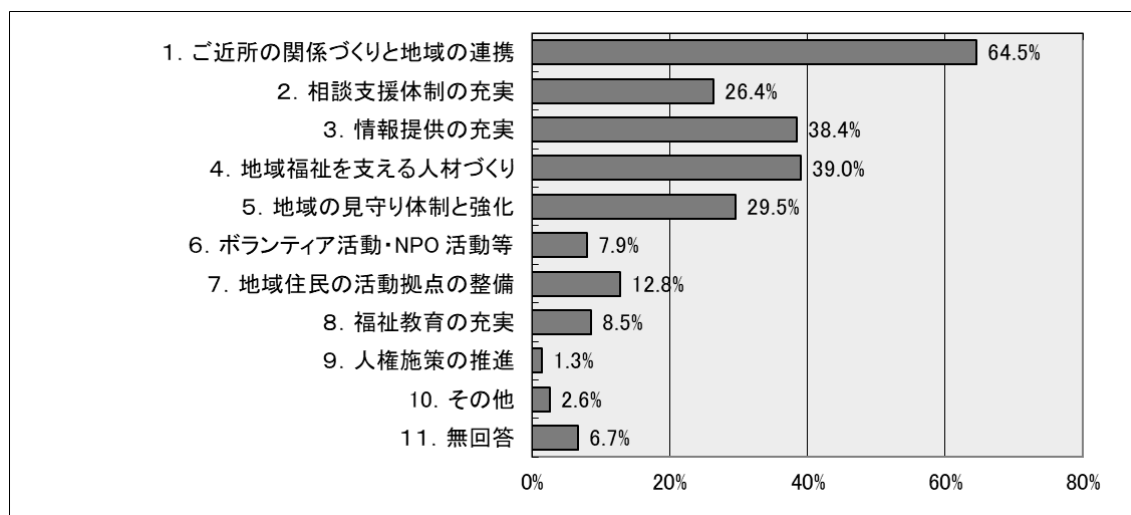
(6) 地域福祉活動計画について

地域福祉活動計画を「知っている」より「知らない」人の割合が約34.5%も多く、6割の人が「知らない」と回答しています。地区住民福祉協議会が中心になって策定し、社協広報や各地域でPRしながら地域活動を実施していますが、まだまだ周

知が足りていないことが浮き彫りとなっています。また、地域福祉活動計画によって「地域の活動や組織体制が変わった」と回答した人の割合は4割近くありますが、「よくわからない」「特に変わらない」と回答した人が半分以上を占めています。

「地域福祉活動計画を推進するのにあたって重要なことは」の問いでは、「相談支援体制の充実」「地域福祉を支える人材づくり」「情報共有の充実」が前回に比べて比較的に伸びており、「ご近所の関係づくりと地域との連携」については回答の6割以上を占めており、前回より20%以上増えている結果が出ました。地域の絆づくりが大切だと感じている方が非常に多いことがうかがえます。（図表6）

図表 6 「地域福祉活動計画を推進するにあたって重要だと思う取り組み」のアンケート結果



(7) 社協の活動について

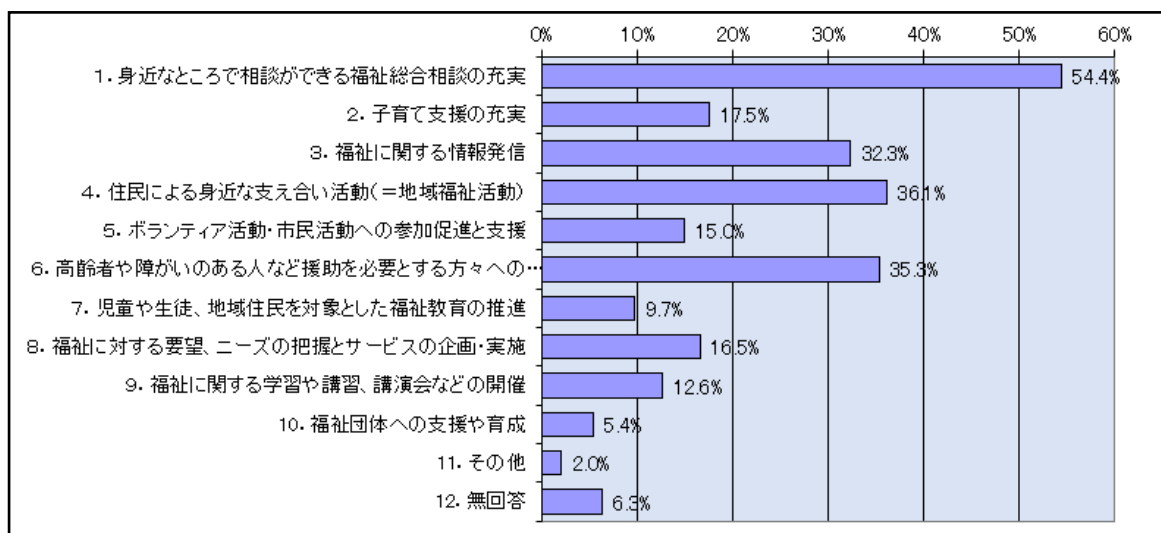
この度のアンケート調査では、社協に求められている活動・支援は、前回と同じく「身近なところで相談ができる」機能であることが分かります。身近な場所での相談窓口を充実させる必要があります。

また、前回0%という結果であった「子育て支援の充実」が約18%の回答になっています。今回のアンケート調査では、若い世代の方への調査が前回よりも多く、子育て支援への関心が高い割合になった結果となっています。

また「住民による身近な支え合い活動」も約36%の回答がありました。こうした結果を踏まえ、社協の福祉総合相談機能の基盤強化と身近に相談できる体制づくり、そして若い世代への子育て支援や身近な場所での支え合いの充実が今後の

課題であると言えます。(図表7)

図表 7 「地域で安心して生活していくために必要だと思う取り組み」のアンケート結果



(8) 災害時の備えについて

災害時の避難の状況は、「避難できると思う」が約48%「避難できない」の割合が約45%となっており、避難が「できる」と「できない」が約半分ずつという結果になっています。避難できない理由としては、「となり近所で助け合えるかわからない」が約半数を占めています。このことは、地域の人との関わりの必要性がとても重要であることをうかがわせています。続いて「避難所が遠い」「介助が必要」「緊急時の情報が入らない」の順となっています。(図表8)

また、日ごろの話し合いや準備については、となり近所や要配慮者への「日ごろからの挨拶や声かけ」が一番多く、「避難場所の確認」や「テレビなどでの防災情報の収集」が次いで多くなっています。

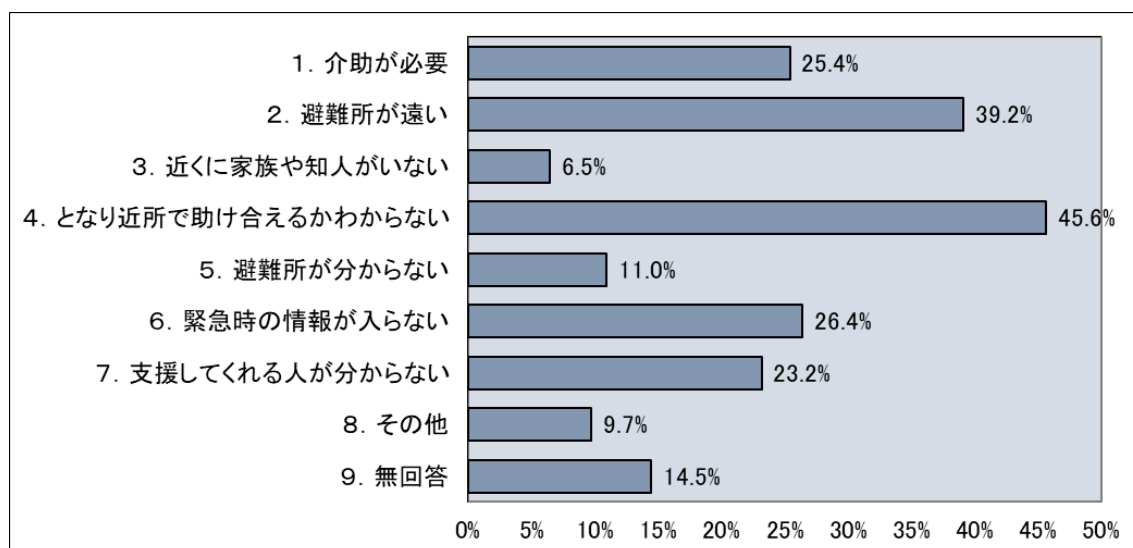
避難場所への移動に介助が必要な方の把握状況については、「しっかり把握している」「だいたい把握している」が合わせて約60%となっています。上記のように介助や支援が必要な方で「避難できない」の割合が約45%を超えている現状で、把握はしているが避難支援までは出来ないというのが実際の状況です。

災害時に住民が支えあう地域づくりに必要だと思われる内容として、一番多かった回答が20%の割合で「自主防災組織の整備」でした。三好市では91%(179

組織)の割合で自主防災会が組織されていますが、地域での防災訓練等の活動推進と周知徹底が急務であることがわかります。

自由記入欄からは、多くの住民が不安感を持っている状況がわかります。今後必要なことは、地域の中だけでなく、住民と行政が自助、共助、公助の枠組みで一緒になって地域防災力の底上げにつながる具体的な検討の場を設け、協力体制を構築することが必要となっています。

図表 8 「災害などの緊急事態が発生した場合に、自分や家族、近隣の皆さんが適切に避難できないと思う方のうち、発災時に避難できないと思う理由」のアンケート結果



第 2 章 地域福祉活動計画概要

1 第三次活動計画の概要

1 基本的な考え方

本計画は、地域福祉に関わる機関・団体等の各活動主体がこの計画の基本理念、基本目標、施策の方向性を理解・共有しながら歩調を合わせ、連携・協働して取り組んでいくことにより、効果的に地域福祉を推進していこうとするものです。

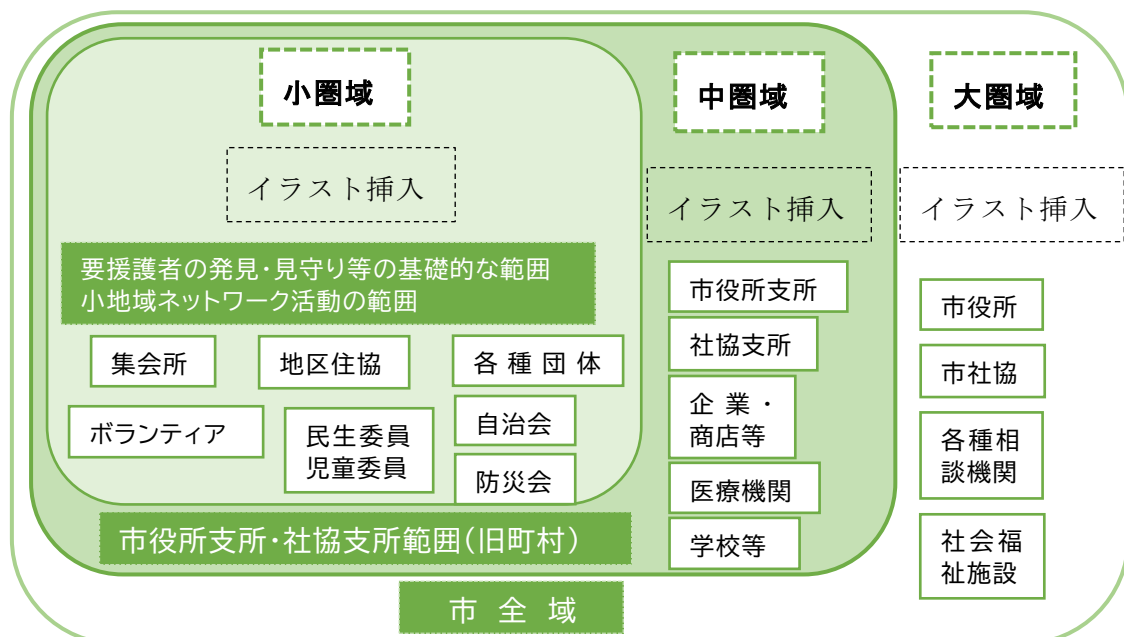
各活動主体が、本計画の基本理念の達成を目指して、それぞれの事業等について、住民参加を図り、地域性を活かした取り組みを相互に連携・協働して行うことで、地域福祉が充実していきます。

2 圏域の考え方

地域福祉を推進するためには、様々な活動圏域が地域に存在する中で、市を全体とした大きな圏域から、隣近所といった小さな圏域まで、それぞれの圏域に応じた推進体制を整備し、効果的な地域福祉活動を展開することが必要です。このため、この計画を推進するにあたっては、3つの圏域を設定し、それぞれの圏域に応じた機能や役割、体制等を整備していくこととします。

- ・大圏域(市全体のエリア –三好市–)
- ・中圏域(市内を6地区に分けたエリア –三野・井川・池田・山城・西祖谷・東祖谷–)
- ・小圏域(地区住協単位 –63地区住協–)

●地域の範囲と地域資源



地域の生活課題を発見するためにはお互いに顔の見える関係作りが必要です。一方で、地域福祉活動の担い手を確保するためには、隣近所よりも広い範囲での活動者確保や、団体同士の連携が必要になります。

このように、「地域」を捉える場合には、その問題の内容によって、その圏域を重層的に捉えていくことが必要であり、課題に応じて地域を捉え、それぞれに適した取り組みを推進していきます。

3 活動計画の体系について

本活動計画策定の目的として、第一次活動計画(平成24年度～平成26年度)と第二次活動計画(平成27年度～令和元年度)の取り組みの到達点を踏まえ、次の二つの目的を主眼としています。一つ目は住民主体の地域福祉活動の一層の発展を目指すこと、二つ目に社協の基盤強化を図りながら地域福祉活動の支援機能を強化充実させることです。

これまでの活動計画は、社協の事業や地区住協の地域活動などの基盤強化を推進する第一歩であったと言えます。本活動計画では、住民主体で取り組む地域福祉活動をより明確にし、社協の支援機能を強化することに重点を置きました。

(1) 基本計画の作成

第二次活動計画の反省を基に計画体系の統一化を図るため、たたき台として、アンケート調査をもとに市全域を対象にした「基本計画」を設定し、地区計画(旧町村単位)や小地域計画(地区住協単位)作成のための基本概念とします。

(2) 重点項目を踏まえ活動計画を作成

- ① 「基本計画」には「基本理念」「基本目標」を設定し、将来のまちの姿、理想像を描き、活動全体の方向性や目標を示すとともに、今後実施していく多様な取り組みの全体像を示しています。
- ② 基本計画にある「重点事業」は、中・小圏域の地域福祉活動計画の事業の柱とするため、旧町村単位で策定する地区活動計画と地区住協単位で策定する活動計画の取り組むべき重点事業を同じ項目にしています。
- ③ 基本計画がたたき台となり、項目ごとに地域の福祉課題を踏まえて地区計画及び小地域計画を策定しています。

4 基本理念と基本目標

一人ひとりが、地域で役割を持ちながら、相互に支え、支えられて安心して暮らしていけるまちづくりを目指し、本計画の基本理念と基本目標を次のように掲げます。

・・・ 基 本 理 念 ・・・

声かけ合って 支え合い 誰もが安心して暮らせるまちづくり

基本目標1 ふれあいのある地域づくりと近隣の助け合い活動の推進

すべての住民が地域の福祉活動に関心を持ち、安心して暮らしていける地域づくりのため、ふれあいのある地域づくりと近隣の助け合い活動を推進します。

基本目標2 地域の活動や団体を支える人材の確保と育成

多彩な地域福祉活動を支える人材の確保と地域活動リーダーを育成するための研修会等を実施します。

基本目標3 相談支援体制の充実と情報交換

身近な地域のなかで、気軽に相談をすることができるよう総合的また専門的な相談と支援体制の充実を図り、効果的な情報提供に努め交流活動を実施します。

基本目標4 見守りネットワークの充実と強化

誰もが安心して生活できるように、地域での見守り活動やいきいきサロン活動を積極的に推進します。また、災害時の要援護者支援にも繋がります。

基本目標5 緊急時に支え合い、助け合える体制づくり

地域ぐるみの支え合い、助け合いの意識に根付いた支援をすることで災害時等の緊急時における支援が、的確かつ迅速に行える仕組みづくりを推進します。

基本目標6 安心して住み続けられるための地域生活支援システムの確立

私たちが地域で安心して暮らせるよう地域にあった新しい支援のかたちをつくり、生活支援システムの確立を推進します。

【重点事業】

重点事業1 「地域の絆づくり」の推進

行政では手の届きにくい日常的で身近な生活課題についても、様々な人々の参加と協働による地域での助け合い、支え合いによって対応できる「あたたかい地域づくり」を目指します。そして、すべての住民が地域の福祉活動に関心を持ち、安心して暮らしていける地域づくりのため、ふれあいの拠点づくりと近隣の助け合い活動を推進します。

- (1)ふれあいいきいきサロンの活性化
- (2)地域の身近な住民同士の交流促進
- (3)福祉課題の解決力向上
- (4)情報の共有と意識啓発など

重点事業2 「援助が必要な方に対する支援」の推進

地域に関わる多様な担い手による見守りネットワークづくりを進め、早期発見・問題解決に向けて適切に専門機関等につなぎ支援する体制づくりを推進します。

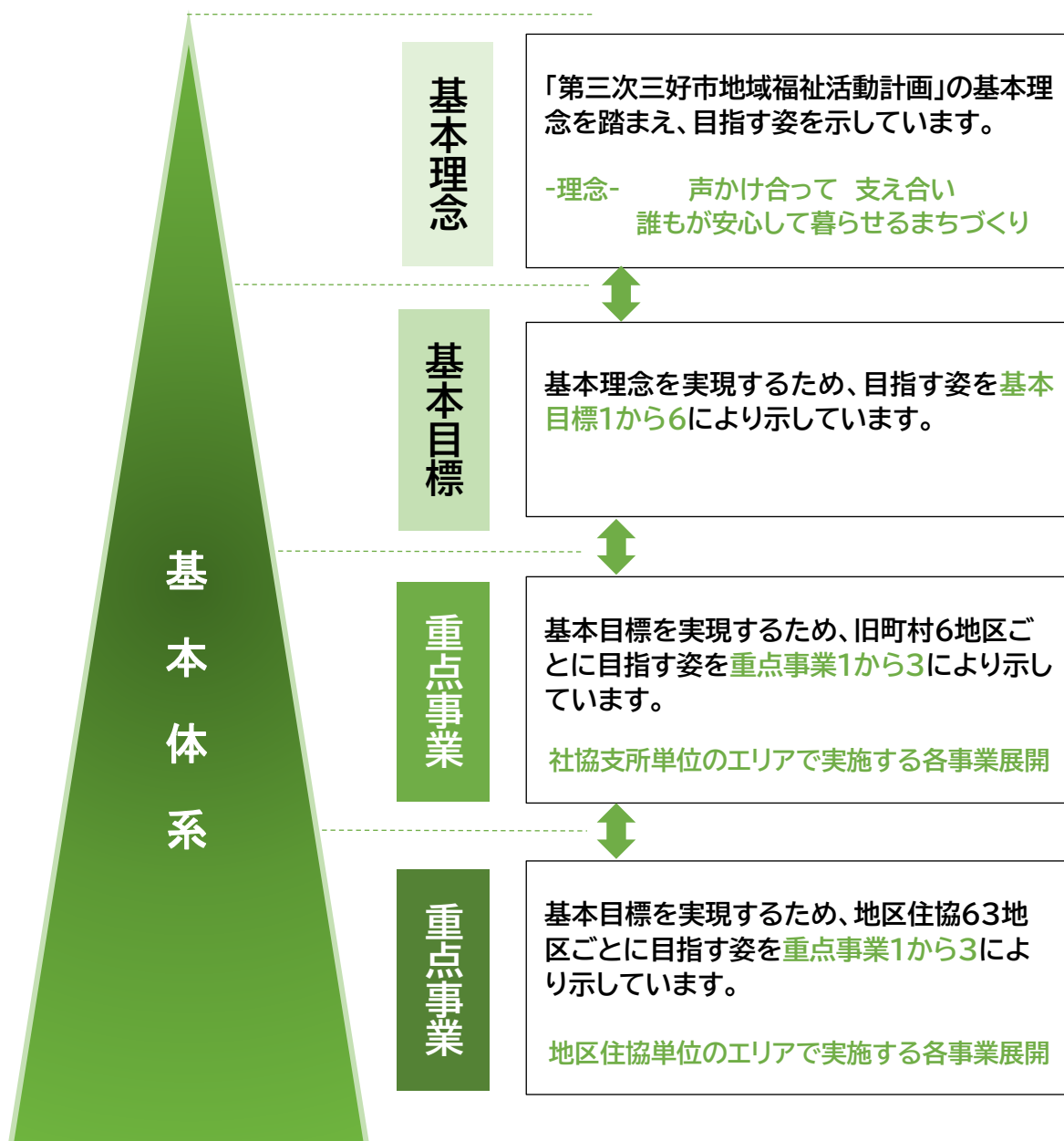
- (1)ささえあいネットワーク活動の充実
- (2)SOSを見逃さない地域の仕組みづくり
- (3)地域の相談体制と情報提供の充実
- (4)福祉サービス利用者の権利擁護
- (5)生活支援システムの推進など

重点事業3「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

地域の防災・防犯力の強化と、災害時要援護者の安心を強化するため、日常的に共に助け合える体制づくりを推進します。

- (1)安心して暮らせる地域づくり
- (2)災害時要援護者の把握
- (3)防災活動への協力など

5 基本体系概念図



2 活動計画の進行管理と評価について

本計画は、今後地域福祉の推進を図るための基本的な考え、方向性と具体的な取り組みなどを明らかにしたものです。

地域福祉活動は、さまざまな活動主体が参加・協力し、連携・協働しながら推し進めていくものであり、そのためには、本計画の基本理念や基本目標を共有することが重要となります。本会は、地域福祉活動の「中核的役割」を担い、活動の輪を広げるとともに、それぞれの活動について振り返りや評価を行いながら計画の推進に努めます。

◎ 主に次の取り組みを実施します。

- ✓ 地区住協やサービス利用者等への聞き取り等を通じた意見収集
- ✓ 評価会議を通して地域の福祉活動の現状を地域ごとに評価
- ✓ 地区住協への支援活動及び事業の振り返りによる社協の取り組みを評価
- ✓ 毎年評価分析したものを次年度へつなげる活動計画書の作成

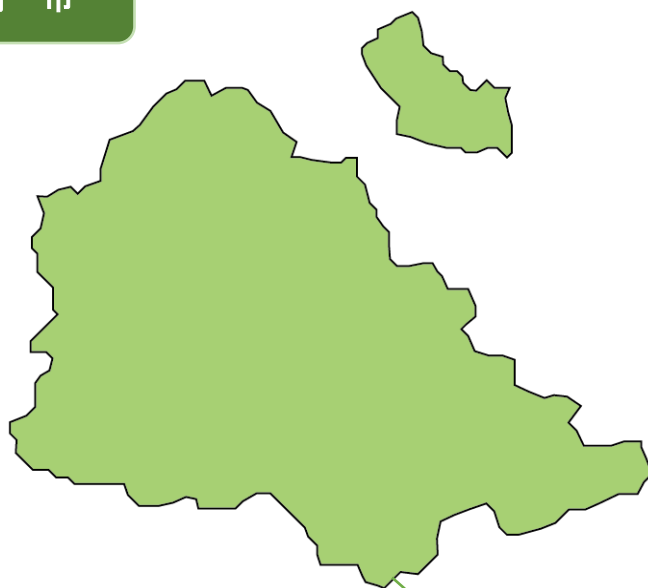
これらを基にして、第二次活動計画と同様に「地域福祉活動計画策定委員会」による計画の進捗管理と評価などを継続します。この委員会では、活動計画策定協議だけでなく、地域で取り組まれているさまざまな地域福祉活動の実施状況を適切に把握し、本計画の方向性の修正等について検討するとともに、事業の実施状況や成果・課題について協議し、地域福祉活動計画の進行管理をしていきます。

第 3 章 地域福祉活動計画

1 地域福祉活動計画－三好市全域－（大圏域）

三好市地域福祉活動

三 好 市



-説明-

- ※ 三好市のデータは、令和元年9月末日集計したものです。
一人暮らし高齢者世帯数、高齢者のみ世帯数は、ささえあいネットワーク会議等により整理した地域福祉台帳に登録している65歳以上の人数です。

三好市のまちづくりプラン

第三次三好市地区地域福祉活動計画

●三好市データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世帯・割合
人 口	25,706 人	世 帯 数	12,619 世帯
14歳以下	2,131 人	一人暮らし高齢者世帯数	1,730 世帯
15～64歳	12,338 人	高齢者のみ世帯数	1,190 世帯
65歳以上	11,237 人	高 齢 化 率	43.7 %
75歳以上	6,571 人	後期高齢化率(75歳以上)	25.6 %
社会資源			
・高校(3校) ・中学校(6校) ・小学校(14校) ・保育園・保育所・認定こども園(11箇所) ・幼稚園(7箇所) ・公民館・地区館・分館(61箇所) ・児童クラブ(13箇所) ・消防署(3箇所) ・消防団(53箇所) ・警察署(1箇所) ・介護施設(33箇所) ・介護サービス事業所(45箇所) ・防災公園(1箇所) ・病院(23箇所) ・駐在所(12箇所) など			
市内のイベント			
・三好市成人式 ・池田酒まつり ・わくわくフェスタ ・ツール・ド・にし阿波 ・三好市防災フェア ・姉妹都市交流 ・にし阿波の花火 ・池田阿波おどり ・高齢者体育大会 ・三好市市民文化祭 ・三好市社会福祉大会 ・池田冬のオブジェ ・うだつマルシェ ・全日本ラフティング選手権 ・福祉・ボランティアふれあい市民フェスタ など			

●住民アンケート・座談会を受けて

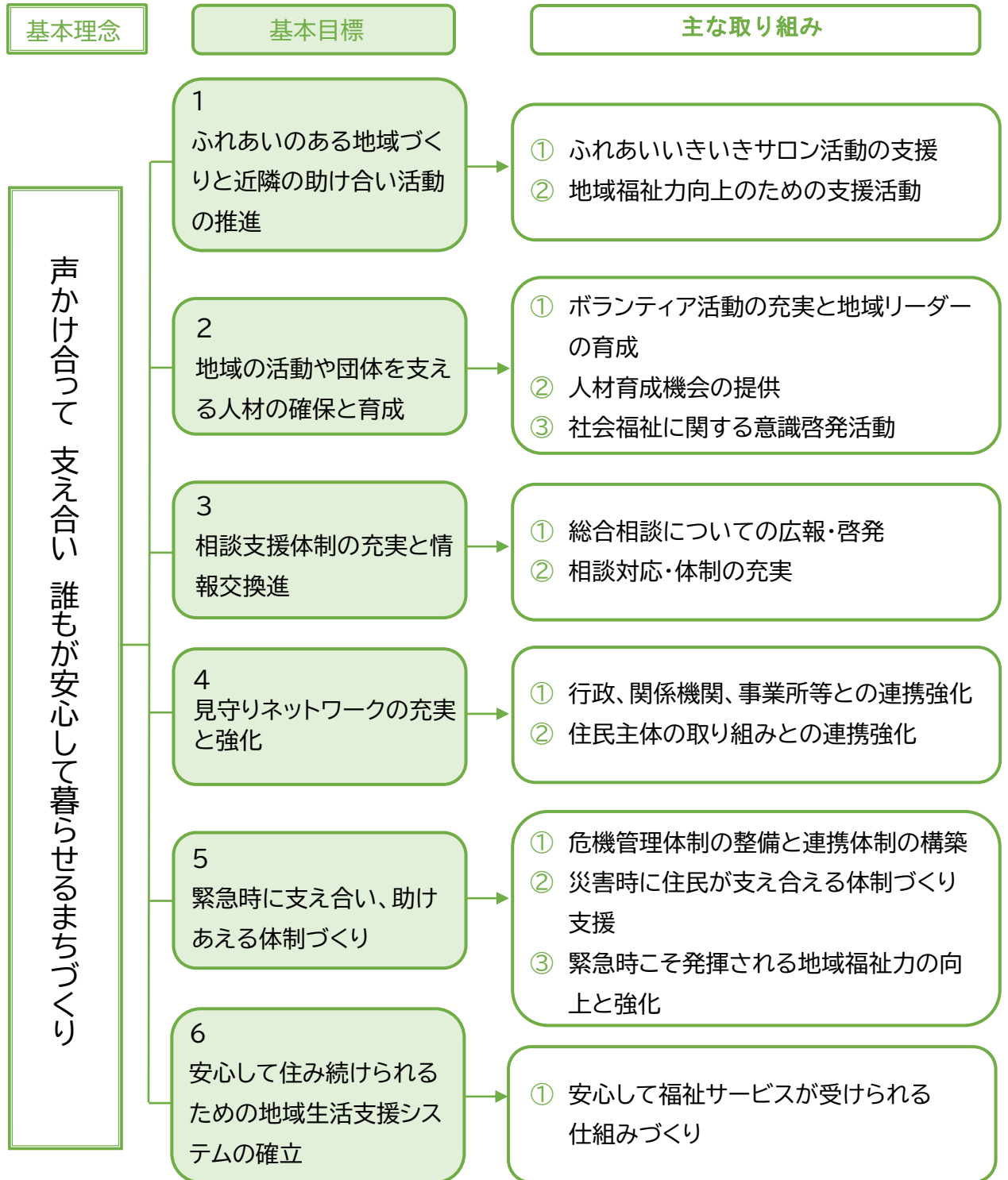
本活動計画策定にあたり、市内の地区住協の方に協力を得てアンケート調査を実施しました。アンケートの結果は以前に増して、人口の減少、少子高齢化、過疎化等が進行しており地域での助け合いの力が低下しつつあります。また、それに伴い生活課題や不安・悩みも増えている状況です。

本活動計画の座談会では、どの地域でも防災や災害の取り組み強化についての検討が必要とされています。身近な災害の影響で、災害に対する意識も高くなってきており、地域での不安と防災・災害についての対策を考えていくという話し合いが活発になってきました。

そうした様々な問題の解決に向けて、基本理念や目標が策定され、地区住協や地域組織・団体の活動を活性化しながら、地域で支え合える取り組みが求められています。

1 三好地域福祉活動計画の展開と構成

基本理念の「声かけあって 支え合い 誰もが安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、6つの「基本目標」と、それぞれに「主な取り組み」内容を定め、施策を推進していきます。



2 計画の基本目標と主な取り組み

基本目標1 ふれあいのある地域づくりと近隣の助け合い活動の推進

実施計画 ①	ふれあいいきいきサロン活動の支援
主な取り組み	● 地域の集会やささえあいネットワーク会議を利用した情報共有 ● 地域いきいき事業による介護予防支援と講師派遣 ● 各種地域活動へ福祉機材の貸出
具体的な実施内容	○ 各地区住協、いきいきサロン、ボランティア団体、各種団体等へニーズに合った講師派遣や情報を共有します。 ○ 介護予防等に関する講師等を派遣し講習会を実施したり、相談等の対応も実施します。 ○ 地域いきいき事業利用促進のため地区住協を中心に講習会開催支援を行い、高齢者の介護予防普及等に努めます。 ○ サロン活動の実施拡大に向けて、サロンで使用する各種遊具等の貸し出しを実施します。

実施計画 ②	地域福祉力向上のための支援活動
主な取り組み	● 社協広報による情報発信・提供 ● 地区住協連合会にて情報共有・相互連携 ● ささえあいネットワーク会議による活動状況の把握・情報提供・利用促進
具体的な実施内容	○ 地域の把握に努め、広く広報することで活動の活性化や集いの場の利用促進を図ります。 ○ 地域活動を活性化するための情報源として、社協広報誌にて各地域の活動内容を情報発信します。 ○ 情報交換や交流の場として地区住協連合会を開催し、地区住協の活性化や地区連合会の事業実施に繋がります。 ○ 三好市地区住協連合会を地区住協が市広域単位で相互に連携できる仕組みとして開催します。また、各地区連合会の会長が集うことで情報交換や地域福祉活動推進の検討・協議ができる場として推進します。 ○ ささえあいネットワーク会議により地区住協活動や地域活動の情報収集を行い、社協にある各種貸与遊具等の利用促進や介護予防講師等を紹介します。

基本目標2 地域の活動や団体を支える人材の確保と育成

実施計画 ①	ボランティア活動の充実と地域リーダーの養成
主な取り組み	● ボランティア活動を応援する環境づくり ● いきいきサロンリーダー研修会の実施 ● ボランティア連絡協議会の支援を通したボランティアの組織強化 ● 地区住協リーダー研修会の実施
具体的な実施内容	○ ボランティア登録を積極的に推進するためボランティア機能を充実させ、ボランティア登録の推進や地域の人材発掘に努めます。 ○ 共同募金活動への関心を広げ、助成金活用の充実を図ります。 ○ いきいきサロンリーダーのためのスキルアップ研修会として福祉レクリエーション講習会を実施し、サロンの資質向上に努めます。 ○ ボランティア講座を開催し、人材育成を兼ねボランティア学習会を実施します。 ○ ボランティア連絡協議会等の支援によりボランティアどうしの交流の場を広げます。 ○ 地域福祉推進の中核を担う地区住協リーダーの育成を推進します。 ○ 地区住協活動活性化に向けた研修会を実施し、ニーズに合った具体的な学習の機会を設け、人材の発掘に努めます。
実施計画 ②	人材育成機会の提供
主な取り組み	● 福祉・ボランティア ふれあい市民フェスタの開催 ● 地域の研修会等へ講師派遣等の支援 ● 地域いきいき事業の支援 ● 生活支援体制整備の推進

具体的な実施内容	○ 福祉・ボランティア ふれあい市民フェスタを開催し、市民が気軽に参加できるボランティア活動を推進します。 ○ 各地区住協、いきいきサロン、ボランティア団体、各種団体等へニーズにあった講師情報を提供します。 ○ 災害の研修等について、市や日赤と連携を取りながら、講師の派遣や、講習会開催等の支援に努めます。 ○ いきいきサロンの普及と支援のために、地域と連携を取りながら共通する課題に対して協働して取り組みます。 ○ 生活支援サポーターの人材発掘と各地域での活用に取り組みます。 ○ フレイル予防を推進するための、人材育成と確保に努めます。
----------	---

実施計画 ③	社会福祉に関する意識啓発活動
主な取り組み	● 社協広報による情報発信・提供 ● 情報・課題の発信と共有の推進 ● 地域との密な連携による実態把握
具体的な実施内容	○ さまざまな情報の中から欲しい情報に出会うことができるような仕組みづくりやサポートのできる体制を目指します。 ○ 地域活動を活性化するための情報源として、社協広報誌にて各地域の活動内容を発信します。 ○ 社協ホームページにより、社協や関係する様々な情報をわかりやすく盛り込み、閲覧できる環境を整備します。 ○ ささえあいネットワーク会議や評価会議により、地域福祉活動計画の進捗状況や要援護者の実態把握、地域で推進されている事業や福祉活動について情報収集し、全体的な把握に努めます。

基本目標3 相談支援体制の充実と情報交換

実施計画 ①	総合相談についての広報・啓発
主な取り組み	● 総合相談事業の充実と広報 ● 関係機関との連携強化 ● 社協広報・ホームページ・市広報等での周知
具体的な実施内容	○ 毎月1回の法律相談を実施。また、各地域で一般相談会を定期的に開催し、専門機関との連携を図りながら総合相談事業の充実を目指します。 ○ 相談による課題解決のため、関係機関と日ごろからの連携を密にし、関係強化を図ります。 ○ 社協広報誌・ホームページ・市広報等による情報発信・提供において各地域の活動内容を情報発信し、活動の活性化と強化を図ります。 ○ 地域や他機関からなるネットワークを利用し、具体的な支援対応ができる体制の構築に努めます。

実施計画 ②	相談対応・体制の充実
主な取り組み	● 相談員研修を通じて研鑽を図る ● 身近な相談機関として定期的に相談所を開設 ● 地域や行政、関係機関とのネットワークを活用し連携を強化
具体的な実施内容	○ 相談員研修を開催し、充実した相談体制を目指して関係職員を含めた資質向上を図ります。 ○ 身近な相談機関として住民が気軽に相談いただける窓口として、広く広報に努めます。 ○ 法律相談と一般相談を定期的に開設し、他機関と連携しながら相談対応に努めます。 ○ 地域包括支援センター等と連携し、職員が地域に出向き実態把握を行うことにより予防的対応に努めます。 ○ ささえあいネットワーク会議等により、気軽に相談できる環境づくりに努め、潜在化するニーズの発見に努めます。

基本目標4 見守りネットワークの充実強化

実施計画 ①	行政、関係機関、事業所等との連携強化
主な取り組み	● みよし地域福祉事業所連絡協議会との連携と協働 ● 関係機関のネットワークを活用した専門性を確保
具体的な実施内容	○ 介護事業所等との関係を深めるため、みよし地域福祉事業所連絡協議会と密接に関わり、各関係事業等と連携し各種事業を推進します。 ○ 民生・児童委員や各関係機関と連携し、ささえあいネットワークの構築とあんしん手帳の利用促進に取り組みます。

実施計画 ②	住民主体の取り組みとの連携強化
主な取り組み	● 多種多様な連携策を探り、ささえあいネットワーク事業を強化 ● 地区住協連合会の支援を通した地区住協組織の強化 ● 地区住協の支援を通した早期発見・見守り活動の強化
具体的な実施内容	○ ネットワークを活用しながら地域の実情や実態を把握し、迅速かつ丁寧な相談対応に努めます。 ○ 地域や関係機関とのネットワークを活用し連携して包括的に要配慮高齢者を支える体制を強化します。 ○ 具体的な早期対応を行うための小地域(地区住協単位)でのネットワークの構築を図り、住民が抱える福祉課題の早期発見に努めます。 ○ ささえあいネットワーク会議を通して、地域住民の生の声を聞くことで状況を把握し、様々な情報収集に努めます。 ○ 三好市地区住協連合会を基盤として、市広域単位で相互に連携できる仕組みづくりを推進します。 ○ 地区住協連合会の支援を通して地区住協間の情報交換や地域活動の検討・協議が広域でできる環境づくりに努めます。

基本目標5 緊急時に支え合い、助け合える体制づくり

実施計画 ①	危機管理体制の整備と連携体制の構築
主な取り組み	● 関係機関と連携した災害時対応の体制整備 ● 災害ボランティアセンター設置・運営委員会の開催
具体的な実施内容	○ 関係機関との連携、協力体制等について協議の場を設け、共通認識を図ります。 ○ 災害ボランティアセンター設置・運営委員会を開催し、行政当局を交えて災害ボランティアセンター設置運営に係る体制基盤づくりを図ります。 ○ 災害ボランティアセンター設置・運営を想定し、模擬訓練を実施することでマニュアルの検証を行います。

実施計画 ②	災害時に住民が支え合える体制づくり支援
主な取り組み	● 地域の防災訓練や防災研修等に対する支援 ● あんしん手帳の利用促進と災害時要援護者等の把握 ● 災害時要援護者の把握と対応を目的とする体制の整備推進 ● 地域の災害時対応体制整備の取り組みを支援
具体的な実施内容	○ 地域の防災訓練の際には資機材を貸与し、活用支援を図ります。 ○ 防災訓練や防災研修を協働して実施するなど、関係団体と連携し活動支援を図ります。 ○ 市当局及び民生・児童委員と連携し、地域福祉台帳を毎年更新し、併せて災害時要援護者等の把握に努めます。 ○ 民生・児童委員との連携による充実した要配慮高齢者支援を推進するため、あんしん手帳の利用促進を図ります。 ○ ささえあいネットワーク会議等をとおして、要配慮高齢者等の情報共有と災害時の対応策について検討を進めます。 ○ 各地域で災害時等に要援護者を迅速に避難誘導するための福祉マップづくりを支援します。 ○ 災害ボランティアセンター設置・運営委員会では、市当局を含めた関係者が集い、センター設置・運営のための役割分担の確認と基盤づくりを推進します。 ○ 災害に備えて、地域住民の共助の精神と防災力を高めるための防災研修を開催し、地域防災力の向上に努めます。

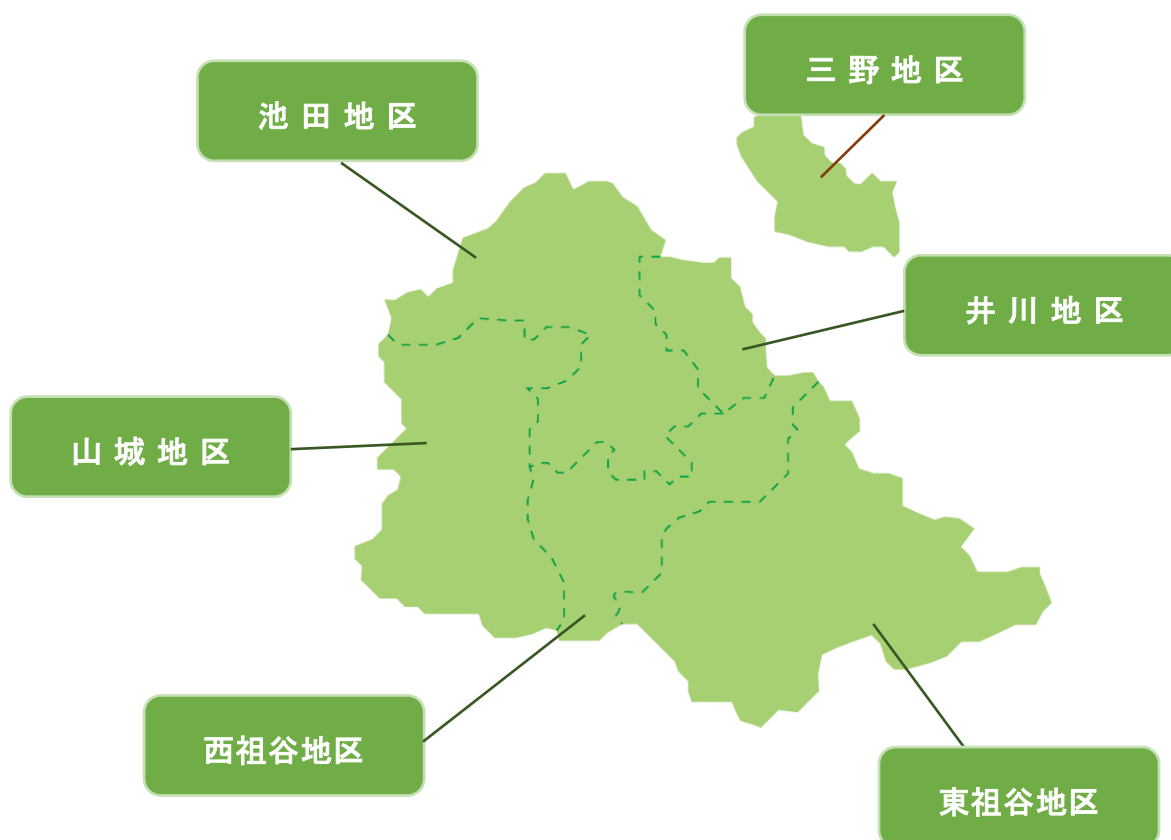
実施計画 ③	緊急時こそ発揮される地域福祉力の向上と強化
主な取り組み	● 日頃から公助・共助を促進し、福祉意識の向上を図る ● 緊急時における地域での要配慮高齢者等への支援体制づくり
具体的な実施内容	○ ささえあいネットワーク会議や地域ささえあいマップづくりをと おして、地域の要援護者に対する日ごろからの支援活動を盛り込 んだ取り組みを地域で一体的に実施していけるよう支援します。 ○ 災害や緊急時に地域で支え合うことができる体制づくりやボラン ティア活動をすすめるため、地域支え合いマップづくりを推進し ます。

基本目標6 安心して住み続けられるための地域生活支援システムの確立

実施計画 ①	あんしんして福祉サービスが受けられる仕組みづくり
主な取り組み	● 日常生活自立支援事業等による個別支援体制の強化 ● 個々の生活支援ニーズへの対応力の向上
具体的な実施内容	○ 地域住民が必要な時に安心して利用でき、その人の状況に応じ た福祉サービスが利用できるよう体制整備を図ります。 ○ 日常生活自立支援事業や生活福祉資金貸付制度の広報に努め、 各事業の定着と実践を図ります。 ○ 多様なニーズを抱える要援助者の自立支援を図る体制の整備と して、窓口となる総合相談体制の充実を図ります。 ○ 行政を核とした支援体制の充実を図るため、関係機関と連携し、 自立を目的とした生活支援体制の構築に努めます。

2 地域福祉活動計画－旧町村単位－（中圏域）

6地区地域福祉活動



-説明-

※ 地区のデータは、令和元年9月末日集計し座談会で使用したものです。
一人暮らし高齢者世帯数、高齢者のみ世帯数は、ささえあいネットワーク会議等により整理した地域福祉台帳に登録している65歳以上の人数です。

三野地区のまちづくりプラン

第三次三野地区地域福祉活動計画

●三野地区データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世 帯 ・ 割 合
人 口	4,337 人	世 帯 数	1,914 世帯
14歳以下	419 人	一人暮らしの高齢者世帯数	207 世帯
15～64歳	2,323 人	高齢者のみ世帯数	194 世帯
65歳以上	1,595 人	高 齢 化 率	36.8 %
75歳以上	924 人	後期高齢化率(75歳以上)	21.3 %
社会資源			
・中学校(1校) ・公民館・分館(5箇所) ・病院 (4箇所) ・道の駅(1箇所) ・消防団(12 箇所) ・小学校(2校) ・児童クラブ(2箇所) ・体育館(1箇所) ・介護施設(4箇所) ・児童福祉サービス事業所(1箇所) ・保育所・認定こども園(2箇所) ・駐在所(1箇所) ・防災公園(1箇所) ・介護サービス事業所(8箇所)			
地域のイベント			
・三野福祉まつり ・三野文化まつり ・三好長慶武者行列まつり ・三野フェスタ ・お天王はん市、秋祭り ・みの元気まつり など			

●住民アンケート・座談会を受けて

三野町における住民アンケート調査の中で「どのような活動の充実を期待するか」に対して、「ふれあい・いきいきサロン」「見守り活動」「自主防災活動」が上位に挙げられており、サロン活動や・見守り活動が広く住民に認知されてきたように感じています。しかし、座談会の中では、マンネリ化や参加者の減少などの意見が聞かれ、内容の充実が必要となっています。

また、災害や緊急時の避難について「避難できる」と回答した人は約 50%であり、半数の人は「避難できない」もしくは「分からない」と回答しています。座談会では「避難の仕方が分からない」「災害に対する意識が低い」などの意見が多くあり、防災に対する日頃の準備が不十分であることが分かりました。

地域福祉活動計画に関する問いかけでは「地域の活動や組織体制が変わった」と回答した人が前回調査の約 40%から今回は約 60%に増えており、活動計画が地域事業に良い影響を与えていることを感じています。

重点事業 1

「地域の絆づくり」の推進

- 地域での課題
 - ・世代間交流が少ない
- 課題解決に向けての目標
 - ・居場所、つどいの場の充実
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
サロン・各種行事等の継続と充実	地域に合ったサロンを継続開催するとともに、参加者が増え充実した内容になるよう取り組む。
世代間交流できる事業の実施	子どもから高齢者まで参加できる事業を企画し、世代間交流を図る。学校と連携し、子どもたちの地域行事への参加を促す。
「三野福祉まつり」の継続と充実	地区住協活動の周知と世代間交流が図れる場として開催する。

重点事業 2

「援助が必要な方に対する支援」の推進

- 地域での課題
 - ・地域の見守り体制が十分に整備されていない
- 課題解決に向けての目標
 - ・見守り支援体制の充実
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
地域情報の収集と共有	民生委員や自治会長、各種団体と要援護者についての情報共有を行うことで、困りごとの早期発見につなげる。
見守り活動の推進	各地域にあった見守り支援体制を構築し、継続実施していく。
総合事業との連携	三野町「元気づくり・地域づくり」協議会との連携により地域課題の検討を行うとともに、身近な地域で気軽に相談・援助ができる支援体制をつくる。

重点事業 3

「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

- 地域での課題
 - ・隣近所で助け合えるか分からない
- 課題解決に向けての目標
 - ・困ったときに助け合える地域
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
隣近所の関係づくり	地域で助け合える関係を築けるよう、多世代で話し合える場や機会をつくる。
助け合える地域活動	消費者被害・交通安全・防犯パトロール等、子どもから高齢者まで助け合える活動を推進する。
防災研修・訓練等の実施	防災研修会や訓練等を実施することにより防災知識と意識を向上させ、災害時に備える。また、研修・訓練を通じて自主防災会、自治会との連携にも取り組む。

井川地区のまちづくりプラン

第三次井川地区地域福祉活動計画

●井川地区データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世 帯 ・ 割 合
人 口	3,612 人	世 帯 数	1,665 世帯
14歳以下	328 人	一人暮らしの高齢者世帯数	190 世帯
15～64歳	1,741 人	高齢者のみ世帯数	187 世帯
65歳以上	1,543 人	高 齢 化 率	42.7 %
75歳以上	901 人	後期高齢化率(75歳以上)	24.9 %
社会資源			
・高校(1校) ・保育所(1箇所) ・児童クラブ(2箇所) ・介護施設(4箇所) ・図書館(1箇所) ・中学校(1校) ・幼稚園(1か所) ・駐在所(2箇所) ・介護サービス事業所(5箇所) ・消防団(7箇所) ・小学校(2校) ・公民館・分館(17箇所) ・病院(2箇所) ・グラウンド(1箇所)			
地域のイベント			
・なでしこ祭り ・桜ヶ丘公園桜祭り ・井川町納涼祭 ・井内祭り ・穴薬師花祭り ・西井川林業クラブまつり など			

●住民アンケート・座談会を受けて

井川町は、少子高齢化が進み、高齢化率が42.7%と5年前より約4%上昇に伴って、過疎問題、後継者不足、担い手不足など深刻な課題が山積されています。

住民アンケートにおいても、「隣近所の人による手助けが必要だと思うこと」との問いに対して「安否確認の声掛け」、「地区にある組織(地区住協など)や団体にどのような活動の充実を期待するか」との問いに対しては「ふれあいいきいきサロン」「見守り活動(高齢者・障がい者・子ども等)」「座談会(集会所等での話し合い)」が上位となり、危機感を覚える結果となりました。また、住民座談会では「災害が少ない為、災害への意識が低い」「防犯への知識不足」との声が多くあがりました。

そうした現状を踏まえ、地域コミュニティーを再構築し、地域での見守り活動の強化、相互扶助により安心して暮らせる町づくりを目指し、井川地区第3次地域福祉活動計画を策定しました。

重点事業 1

「地域の絆づくり」の推進

- 地域での課題
 - ・集いの場が少ない
- 課題解決に向けての目標
 - ・人の輪が自然とできる地域づくり
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
サロン活動の推進と充実	地域の実情に応じたサロン活動がより充実できるように支援する。
世代間交流できる機会づくりの推進	多世代の地域住民が参加しやすい行事・交流が図れる行事実施に向けた企画の立案や協働での取り組みを支援する。

重点事業 2

「援助が必要な方に対する支援」の推進

- 地域での課題
 - ・見守り活動の意識付けができていない
- 課題解決に向けての目標
 - ・より行き届いた見守り体制の構築
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
第2層協議体との連携	井川町「元気づくり・地域づくり」協議会で抽出された地域課題・目指す地域像を基に支援体制の構築を推進する。
見守りネットワークの構築	多世代への見守り活動実施に向け各種団体と連携し、推進する。

重点事業 3

「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

- 地域での課題
 - ・防災、防犯に対する意識が低い
- 課題解決に向けての目標
 - ・相互扶助による住み慣れた町づくり
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
防犯、防災研修会の開催	住民参加型研修会・訓練を実施し、意識向上に努める。
各地域における防災訓練の充実	防災訓練等がより充実した内容となるように講師派遣・企画提供等に努める。

池田地区のまちづくりプラン

第三次池田地区地域福祉活動計画

●池田地区データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世 帯 ・ 割 合
人 口	12,042 人	世 帯 数	6,010 世帯
14歳以下	1,090 人	一人暮らしの高齢者世帯数	803 世帯
15～64歳	5,818 人	高齢者のみ世帯数	526 世帯
65歳以上	5,134 人	高 齢 化 率	42.6 %
75歳以上	2,914 人	後期高齢化率(75歳以上)	24.2 %
社会資源			
・高校(2校) ・中学校(1校) ・小学校(5校) ・保育所・保育園(4箇所) ・幼稚園(4箇所) ・公民館・地区館・分館(20箇所) ・構造センター(10箇所) ・消防署(1箇所) ・消防団(15箇所) ・児童クラブ(6箇所) ・駐在所(3箇所) ・病院(11箇所) ・介護施設(18箇所) ・介護サービス事業所(23箇所)			
地域のイベント			
・阿波踊り ・池田文化まつり ・うだつマルシェ ・銀座よろず市 ・酒まつり ・戎まつり など			

●住民アンケート・座談会を受けて

池田地区は、三好市の中心地に位置し、古くから交通の要衝として栄えてきました。地区には市役所をはじめ消防署・警察署・西部県民局・保健所など多くの行政機関が集まり、銀行・県立病院・大型スーパーなどが集まる三好市の中心市街地です。

住民座談会では、山間部は高齢化により自治会組織率の低下の進む中、既存のイベントを若者と共に残そうとしている地域が多くみられました。一方、市街地では多種多様な生活スタイルの中で、地域コミュニティへの関心が低下し、後継者の育成が課題となっています。

また、援助が必要な方への支援については、第二次地域福祉活動計画よりサロン活動を実施する地区住協が増えましたが、「実施場所が遠く参加できない」「回数の不足」「お世話人の高齢化や人材不足」など、実際に見守りが必要な方の参加が難しいことが課題となっている地区が多くありました。このことから、現在取り組んでいる集いの場を活用し、100歳体操を取り入れたミニサロンの実施を希望する地域が増えています。

安全で安心な豊かなまちづくりについては、二年前の豪雨災害を教訓に、防災訓練の実施や防災マップの見直し等を行っている地区が多数ありますが、その取り組みも地域によって温度差があり、一人暮らし等による災害時要配慮者の増加など、その支援も課題となっています。

重点事業 1

「地域の絆づくり」の推進

- 地域での課題
 - ・地域行事への参加者や内容に偏りがある
 - ・地域のサロンに遠くて参加ができない方がいる
- 課題解決に向けての目標
 - ・交流の場を充実させる
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
小地域サロン活動の充実・強化	小地域でのサロンの実施やリーダーの育成を推進する。
世代間交流の推進	幅広い世代が参加できる行事を実施し、世代間での交流を図る。

重点事業 2

「援助が必要な方に対する支援」の推進

- 地域での課題
 - ・要援護者の孤独や閉じこもりの防止
 - ・困りごとを気軽に相談できる体制が必要
- 課題解決に向けての目標
 - ・地域で支えあう体制づくり
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
見守り活動の継続と体制整備	積極的な声掛けや訪問を行うことで地域からの孤立や閉じこもりを防止する見守り活動を推進する。
ささえあいネットワーク会議の実施	問題の早期発見や対象者の支援等を迅速かつ効果的に解決することでネットワークの構築を推進する。

重点事業 3

「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

●地域での課題

- ・緊急時の対応についての意識づくりが不十分
- ・消費者被害防止や交通安全・防犯意識の向上が必要

●課題解決に向けての目標

- ・地域で安全に暮らせる支援体制づくり

●取組計画

取 組 項 目	内 容
防災力の強化	防災マップ等を活用し避難場所・経路場所の経路の確認を行うとともに、適切な避難行動の意識づくりを図る。
緊急時の連絡網の整備	各種団体と連携し災害における緊急連絡網の整備を推進する。
防犯活動及び交通安全への充実強化	消費者被害・交通安全への情報提供を行い、意識づくりを図る。

山城地区のまちづくりプラン

第三次山城地区地域福祉活動計画

●山城地区データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世 帯 ・ 割 合
人 口	3,443 人	世 帯 数	1,750 世帯
14歳以下	183 人	一人暮らしの高齢者世帯数	276 世帯
15～64歳	1,377 人	高齢者のみ世帯数	165 世帯
65歳以上	682 人	高 齢 化 率	51.6 %
75歳以上	1,095 人	後期高齢化率(75歳以上)	31.8 %
社会資源			
・中学校(1校) ・保育所(2箇所) ・消防署(1箇所) ・病院(4箇所) ・生活支援ハウス(1箇所) ・小学校(2校) ・児童クラブ(2箇所) ・消防団(8箇所) ・介護施設(4箇所) ・幼稚園(1箇所) ・公民館・分館(8箇所) ・駐在所(3箇所) ・介護サービス事業所(4箇所)			
地域のイベント			
・やましろ夏祭り ・妖怪まつり ・狸まつり ・大野ふるさと祭り ・桜まつり ・伊予川芋炊き会 ・鐘おどり(栗山・信正・寺野・茂地) など			

●住民アンケート・座談会を受けて

山城地区は、三好市の西部に位置し、吉野川流域の大歩危峡谷や四国山地の険しい山々に囲まれ、面積の85%を山地が占めています。急激に進む高齢化と人口減少に伴い、地域活動の維持が年々難しくなっています。

そうした状況の中、平成30年7月の豪雨災害では、集落が孤立し、避難を要する地区がでてきました。山城地区では、これまでも昭和33年、昭和58年と何度も豪雨災害にみまわれております。事前のアンケートでも「災害時の避難体制」「身近な場所での相談窓口の充実」「活動計画の認知度の低さ」などが課題としてあげられました。

住民座談会では、第二次地域福祉活動計画への取り組みにより、地域内での活動はある程度定着し、検討の機会は持てているが、組織力の低下などによる新たな体制づくりの必要性が高まってきています。

山城地区地域福祉活動計画では第二次地域福祉活動計画での取り組みの成果や新たな課題を踏まえ、各地区住協、関係機関と連携・協働した活動実施により地域力の強化に向けて計画を策定しました。

重点事業 1

「地域の絆づくり」の推進

- 地域での課題
 - ・組織力低下により活動の継続が難しい
 - ・高齢化により1カ所に集まることが難しい
 - ・子どもの減少により世代間交流の機会が少なくなっている
- 課題解決に向けての目標
 - ・小地域での交流の場の充実
 - ・地域内の各種団体との連携
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
交流の機会の充実	地域内での交流の機会の継続のため、リーダー養成や環境整備を行うとともに、地域の状況に応じた活動の展開を図る。
団体や機関との連携強化	地域内にある関係団体や機関との情報共有や役割分担による、地域の組織力の維持・強化を図る。

重点事業 2

「援助が必要な方に対する支援」の推進

- 地域での課題
 - ・見守りが難しくなっている
 - ・緊急時の連絡や支援の方法が十分でない
 - ・援助が必要な人を早期に発見できる体制が必要
- 課題解決に向けての目標
 - ・相談できる体制づくり
 - ・サロン活動の推進
 - ・健康増進・介護予防活動の推進
 - ・ネットワーク会議の開催
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
見守り活動の継続と体制整備	問題の早期発見や支援等を迅速に行えるよう、地域内組織や関係機関との連携による体制の強化を図る。
小地域での集まりの場づくり	集まりの場を通して状況の確認や発信、相談できる環境づくりを推進するとともに、外出の機会をつくることで孤立の防止を図る。
支え合いマップの作成	地域の状況を地図上で確認し、可視化することで、地域内での役割分担や見守りなどの支援活動の推進、強化を図る。

重点事業 3

「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

- 地域での課題
 - ・災害に対応できる体制づくりが十分でない
 - ・地域内での情報収集や発信方法が明確でない
- 課題解決に向けての目標
 - ・地域の現状の把握による住民意識の向上を図る
 - ・緊急時の支援体制づくりを推進する
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
緊急時の支援体制の整備	関係機関との情報共有、役割分担により、ささえあいマップを活用し、相互に助け合える体制づくりをおこなう。また、情報の発信、確認がスムーズに行えるよう、各種団体と連携し連絡体制の整備を推進する。
避難方法・経路・場所等の確認	避難方法・経路・場所の確認を行うとともに、地域内の環境確認を進め、適切な行動がとれるよう意識づくりを図る。
防災・防犯・防火等に関する知識の向上	正しい知識を習得し、緊急時に対応できるよう意識の向上を図るとともにリーダーの養成を図る。

西祖谷地区のまちづくりプラン

第三次西祖谷地区地域福祉活動計画

●西祖谷地区データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世 帯 ・ 割 合
人 口	1,034 人	世 帯 数	576 世帯
14歳以下	56 人	一人暮らしの高齢者世帯数	94 世帯
15～64歳	445 人	高齢者のみ世帯数	40 世帯
65歳以上	533 人	高 齢 化 率	51.5 %
75歳以上	327 人	後期高齢化率(75歳以上)	31.6 %
社会資源			
・中学校(1校) ・認定こども園(1箇所) ・消防団(6箇所) ・介護施設(2箇所) ・小学校(2校) ・公民館・分館(7箇所) ・駐在所(1箇所) ・介護サービス事業所(3箇所) ・幼稚園(1箇所) ・多目的集会所(3箇所) ・診療所(1箇所)			
地域のイベント			
・西祖谷夏祭り ・古宮神社(加良宇多姫伝説) ・ふすま絵からくり ・一字だんじり太鼓 ・ほたるまつり ・八幡獅子太鼓 ・神代踊り など			

●住民アンケート・座談会を受けて

西祖谷地区の小学校では、吾橋小、榛生小とも全校児童が 10 名前後で、在籍児童がいない学年もあります。中学校では、「希望する部活動ができない」「多くの同級生の中で中学校生活を送りたい」等の理由で、約半数が他地区の中学校への入学・通学を選択されている等、住民票上の数字以上に少子化・過疎化が強く実感されます。このままでは、近い将来の小中学校の統廃合のおそれもあり、地域内の大きな資源である小学校・中学校を守るための取組みの検討が求められます。

各地域においては、要援助者割合が増加している中、転出等による空き家が増加し、現住家屋の減少により、結果として要援助者住宅が点在化することとなっています。また、援助者(支え手)の減少もあり、援助者の一人ひとりの負担が増加する傾向にあります。

三好市、特に西祖谷地区では、地勢的に地滑りや土砂災害の懸念があり、現在までに多くの土砂災害が発生しています。市では、各避難所を整備し、ハザードマップ等により、広報されていますが、多くの指定緊急避難所が土砂災害警戒区域内に設置されており、土砂災害に関しては、半数以上が 2 階以上に避難すること等の条件付きの避難所となっています。座談会やアンケートでは、「避難所自体が危険」「避難所までが遠いので、避難所まで行けない」「高齢者は、避難所へ行きたくない」等の意見も多く聞かれており、避難所を利用しない(自宅で待機する)ことを前提とした、災害を最小限にとどめる方策の検討の必要があります。

また、座談会の中で自主防災組織の見直しの必要性についても話題に上り、今後、

三好市危機管理課や西祖谷支所との連携の強化が求められます。

社協(西祖谷支所)と各地区との情報交換・連携に関し、吾橋・西岡・榛生・善徳地区においては、各地区住協を通じて、有瀬地区・小祖谷地区においては、自治会長や民生委員を通じて行っています。

多くの懸案事項もありますが、アンケート結果の中から、地域活動への参加状況が高いことや隣近所の助け合い・支え合いができていたことが分かりました。小規模な地域ならではの住民同士の強い結びつきや民生委員や自治会長と地域住民とのお互いの顔が見える関係性のほか、婦人会をはじめとする各種団体も活発に活動しています。

また、ユネスコ無形文化遺産への提案候補として、神代踊が全国 37 の風流踊の一つとして選定されました。マスコミ等に取り上げられる機会が増えたことで、多くの観光客が西祖谷を訪問しています。これらは、明るい話題として、地域の活性化につながるものと思われます。

西祖谷地区地域福祉活動計画では第二次地域福祉活動計画での取り組みの成果や課題を踏まえて、数年先を見据えた各地区住協、自治会、関係機関と連携・協働した活動の実施により地域の力のさらなる強化に向けた計画を策定しました。

重点事業 1

「地域の絆づくり」の推進

●地域での課題

- ・行事等への参加者が固定化している
- ・世代間交流や後継者(活動の支え手)の育成が必要である
- ・移動手段の確保が難しく1カ所に集まることが困難になっている
- ・小学校 中学校と地域との連携をさらに強化したい

●課題解決に向けての目標

- ・地区住協や地区住協活動を知ってもらい、参加してもらうきっかけを作ろう
- ・隣近所での交流の場(ミニサロン)の充実や移動手段の検討を進めよう
- ・学校行事への参加や学校との交流を深めよう

●取組計画

取 組 項 目	内 容
広報活動の充実	地区住協連合会・各地区住協の活動を知ってもらい、参加や協力が得やすい環境づくりを進める。(広報誌配布等)
世代間交流の推進	学校行事や夏祭り等、多世代が集まる機会へ積極的に参加し、世代間交流を図る。
集える場の増加・拡充	歩いて行ける範囲に集える場(ミニサロン)を設置していく。
移動手段の検討	行事参加者に対する組織的な送迎方法や効率的なタクシー等の利用方法を検討する。
学校へのサポート	学校行事への積極的な参加、児童生徒との交流や学校ボランティアとしての登録を行う。

重点事業 2

「援助が必要な方に対する支援」の推進

- 地域での課題
 - ・援助が必要な人が多く、支援が行き届きにくくなってきた
 - ・移動や買い物が困難な人が多くなってきた
- 課題解決に向けての目標
 - ・情報を共有し、要援助者を見落とさないようにしよう
 - ・移動や買い物支援の方法を検討しよう
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
要援助者の情報共有	要援助者、見守りが必要な人のマップを作製し、情報を共有する。 マップの定期的な見直しを行う。
見守り活動の効率化	各種団体・機関等と連携し、見守り活動の効率化を図る。 広報誌を直接手渡しする等、各種資料等配布時や各種募金依頼時等に合わせて、安否確認を行う。
移動手段・買い物支援の検討	持続可能な移動手段の確保・買い物支援を検討する。

重点事業 3

「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

- 地域での課題
 - ・災害への備えが十分とは言えない
 - ・情報提供を充実させたい
- 課題解決に向けての目標
 - ・防災訓練・避難訓練等を通じて、地域住民への啓発を行おう
 - ・各家庭・個人での災害への備えを充実させよう
 - ・防災・防犯・消費者生活についての情報を発信しよう
- 取組計画

取 組 項 目	内 容
防災訓練・避難訓練・研修会等の開催	合同防災訓練等を通じ、住民への防災・減災意識の向上を図る。
近所の一時避難所・避難経路の確認	指定避難所までの距離が遠い世帯も多く、近くで安全な建物等を確認するとともにそこまでの経路を確認する。

取 組 項 目	内 容
各家庭の備えの確認	土砂災害発生の恐れがあり、避難所への避難が困難で、自宅で待機する場合の留意事項を確認する。 非常持ち出し袋や非常食の備蓄への啓発を図る。
各家庭への情報提供・発信	防災・防犯等に関する研修会や広報誌を通じて、各家庭への情報提供を行い、意識の向上を図る。
要援助者の不安解消	心配事がある際に誰に連絡を取るのかを事前に調整・確認をする。 広報等で、適切な情報発信をする。

東祖谷地区のまちづくりプラン

第三次東祖谷地区地域福祉活動計画

●東祖谷地区データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世 帯 ・ 割 合
人 口	1,238 人	世 帯 数	731 世帯
14歳以下	51 人	一人暮らしの高齢者世帯数	160 世帯
15～64歳	485 人	高齢者のみ世帯数	78 世帯
65歳以上	702 人	高 齢 化 率	56.7 %
75歳以上	445 人	後期高齢化率(75歳以上)	35.9 %
社会資源			
・中学校(1校) ・公民館・分館(4箇所) ・集会所(8箇所) ・消防署(1箇所) ・消防団(8箇所) ・診療所(1箇所) ・防災拠点施設(小川のヘリポート・癒しの温泉郷多目的グラウンド) ・小学校(1校) ・農業体験学習等施設(1箇所) ・多目的集会所(6箇所) ・児童クラブ(1箇所) ・婦人活動促進施設(1箇所) ・介護施設(2箇所) ・認定こども園(1箇所) ・老人憩いの家(5箇所) ・駐在所(2箇所) ・介護サービス事業所(2箇所)			
地域のイベント			
・福祉まつり ・奥祖谷夏祭り ・大日祭り ・敬老会 ・地蔵まつり ・祖谷の日本一粉引き節大会 など ・かかし祭り ・東祖谷収穫祭 ・雪合戦四国大会 ・堀切大使祭り			

●住民アンケート・座談会を受けて

東祖谷は、古くから平家の落人伝説が語られ、今なおその伝説を随所に見られることもでき、文化伝習を大切にしている地域です。自然も豊かで、人情がとても厚く、隣近所の助け合いは、困った人を見かけたら自然と行うことが出来ています。

東祖谷地区では、13地区住協が活動を展開しており、各地区それぞれ、地域にあった特色ある活動に取り組んでいます。そして、地区住協連合会としては、毎年、福祉まつりと敬老会のイベントを行っています。

策定に伴った、住民座談会では地域の商店が閉店となり又、定期的に巡回していた移動販売業者も巡回が困難となり買い物する場所が減少し、買い物難民が今後増加していく事に対して支援が必要な事や高齢化が進み移動手段に対しても今後、何か出来る事を考えていかなければならないと言う声が多くあがっていました。

第三次活動計画については、重点事業の3つ目の安全で安心豊かなまちづくりの推進に関しては防災だけにこだわらず幅広い視野での活動内容が検討されました。

重点事業 1

「地域の絆づくり」の推進

●地域での課題

- ・地域住民との交流・世代間交流及び情報共有

●課題解決に向けての目標

- ・地域住民との交流及び他団体との連携を通してコミュニケーション及び情報共有

●取組計画

取 組 項 目	内 容
地域住民との交流	地域の交流の場に参加出来るように周知・声掛け・情報提供をする。
世代間交流	誰でも参加しやすい交流の場を作りコミュニケーションを図る。
サロンの推進・継続	小地域でのサロン活動を増やし継続できるように支援する。

重点事業 2

「援助が必要な方に対する支援」の推進

●地域での課題

- ・日頃から何でも相談できる環境づくり
- ・住民同士の見守り及び援助が必要な方の早期発見と対応

●課題解決に向けての目標

- ・声かけ・訪問・見守り活動の継続
- ・買物・雑用等生活支援の継続

●取組計画

取 組 項 目	内 容
見守り・声かけ・訪問活動の継続	電話での安否確認や地域の高齢者の情報共有が出来るように他機関との連携を図る。(ネットワーク会議での支援対応推進分含)
隣近所での支えあい活動	隣近所、地域の人に気軽に相談出来るような環境づくり体制を図る。

重点事業 3

「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

●地域での課題

- ・防災・防犯・緊急時に関する支援体制
- ・日常生活・困りごと等への助け合い

●課題解決に向けての目標

- ・避難場所の周知・確認を行う
- ・危険箇所・及び緊急時に対する情報共有を図る
- ・隣近所・関係機関との連携を図る

●取組計画

取 組 項 目	内 容
防災・防犯・緊急時に関する支援体制作り	各地域での防災・防犯・緊急時に関する連絡網及び情報共有を図る。 防災・防犯などに関する研修機会を設ける。
日常生活等困り事に対する支援	隣近所とのコミュニケーションを図る。 近所で支えあい活動の推進と連携を図る。

3 地域福祉活動計画－地区住協単位－(小圏域)

63地区住民福祉協議会活動計画

【地区住協について】

住民参加による地域福祉活動を通じて、地域のふれあいを高めるとともに、住みやすい地域社会づくりを目指して住民がすすんで福祉活動へ参加できるよう結成された組織です。

また、住民ひとりひとりの福祉課題を地域全体の課題としてとらえ、その解決に向けた取り組みを行うことにより、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指しています。

三好市では、概ね小地域の生活圏域を範囲として、現在63地区にそれぞれ地区住協が組織され、様々な地域福祉活動に取り組んでいます。

地区住協設置状況(令和2年3月現在)

地 区	設 置 数	活動組織数
三 野	9地区	9地区
井 川	8地区	8地区
池 田	22地区	21地区
山 城	8地区	8地区
西祖谷	6地区	4地区
東祖谷	13地区	13地区
計	66地区	63地区

-説明-

- ※ 地区のデータは、令和元年9月末日集計し座談会で使用したものです。
一人暮らし高齢者世帯数、高齢者のみ世帯数は、ささえあいネットワーク会議等により整理した地域福祉台帳に登録している65歳以上の人数です。

清水地区のまちづくりプラン

ふれあいと支えあう郷～清水～

●清水地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	503 人	世帯数	204 世帯
14歳以下	38 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	18 世帯
15～64歳	281 人	高齢者のみ世帯数(※)	31 世帯
65歳以上	184 人	高齢化率(65歳以上)	36.6 %
75歳以上	112 人	後期高齢化率(75歳以上)	22.3 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(地区住協、自主防災、自治会、婦人会、老人クラブ、ささえ隊等)
人柄が良い、親切、ふれあいがある、まとまり・つながり・近所づきあいが良い、集会所、
神社、リブドゥコーポレーション、田畑が多い、空気が良い、湧き水、星がきれい、
日当たりが良く住みやすい、風が通る、学校が近い、交通の便が良い、北庵の清掃、静か、
農業が盛ん など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 幅広い世代が参加できる機会が少ない



課題解決に向けて

- 小地域で気軽に集まれる場を作る
- 参加しやすい行事を考える
- 横の繋がりを強めていく

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 要援護者への支援方法(平常時・非常時)



課題解決に向けて

- 見守りネットワークの体制整備並びに強化
- 清水ささえ隊の連携と支援

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災意識が低い



課題解決に向けて

- 避難行動計画の作成
- 防災訓練の実施
- 周知方法を工夫する

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- いきいきサロン
- 清掃活動

- 清水ささえ隊との連携
- 子ども会学習支援
- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

- 防災マップ作り
- 合同防災研修

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

加茂野宮地区のまちづくりプラン

助け合い、分かち合う心に地域の華ひらく～加茂野宮～

●加茂野宮地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	672 人	世帯数	298 世帯
14歳以下	76 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	19 世帯
15～64歳	410 人	高齢者のみ世帯数(※)	24 世帯
65歳以上	186 人	高齢化率(65歳以上)	27.7 %
75歳以上	98 人	後期高齢化率(75歳以上)	14.6 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(地区住協・自主防災・自治会・婦人会・友愛クラブ等)、小学校、児童館、三好長慶五輪塔、重要文化財目引観音、滝寺、竜頭の滝、金剛の滝、紅葉温泉、活性化センター、集会所、老人福祉施設、NPO 法人ふるさと力、工業団地、扇状地 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- コミュニケーションを図る機会が少ない



課題解決に向けて

- 若い世代も参加できるよう工夫する
- 意識改革に努める

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 援助が必要な方への支援が不十分



課題解決に向けて

- 一歩踏み込んだ支援を検討する
- 意識改革に努める

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害に対する意識と知識が低い



課題解決に向けて

- 知識、経験に繋がる機会を増やす
- 意識改革に努める

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- パークゴルフ大会
- 年末餅つき
- 地域の人たちの集い

- 高齢者慰問活動
- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

- 防災研修会

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

勢力地区のまちづくりプラン

挨拶から始めよう絆づくり

●勢力地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	458 人	世帯数	179 世帯
14歳以下	46 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	23 世帯
15～64歳	247 人	高齢者のみ世帯数(※)	15 世帯
65歳以上	165 人	高齢化率(65歳以上)	36.0 %
75歳以上	92 人	後期高齢化率(75歳以上)	20.1 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(地区住協・自主防災・自治会・老人クラブ等)、年寄りがやさしい、まとまりが良い、ボランティア精神がある、人間性が良い、集会所、空気・自然、勢力米(おいしい)、祭り事熱心(消防団中心) など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 絆づくり



課題解決に向けて

- ふれあいいきいきサロンの実施
- 清掃活動の実施
- 100歳体操の定着化
- ふるさと祭り、イベントへの参加

- いきいきサロン
- 清掃活動
- ふるさと祭り

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- ひとり暮らし、高齢者世帯の見守り



課題解決に向けて

- 広報等の手渡し配布による安否確認
- 各会議時の情報共有(ひとり暮らし、高齢者世帯安否確認)
- ふれあい福祉訪問

- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 自主防災組織の活用



課題解決に向けて

- 自治会毎の防災組織の再編成
- 避難場所の設置
- 1次 2次行動
- 勢力住民台帳の作成による地域地図防災マップづくり
- 防災訓練の実施

- 立哨活動
- 防災マップ

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

芝生地区のまちづくりプラン

笑顔で声かけ、明るい芝生

●芝生地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	1,396 人	世帯数	641 世帯
14歳以下	140 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	62 世帯
15～64歳	757 人	高齢者のみ世帯数(※)	43 世帯
65歳以上	499 人	高齢化率(65歳以上)	35.7 %
75歳以上	282 人	後期高齢化率(75歳以上)	20.2 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(地区住協・自主防災・自治会・婦人会・老人クラブ等)、歴史的人物が出た町、温かい人が多い、元気な高齢者が多い、親しみやすい、学校、公園、児童館、図書館、駐在所、銀行、病院、町営住宅、神社、支所、公民館、福祉センター、体育館、スーパー、お寺、郵便局、集会所、グラウンドゴルフ場、散歩コースが多い、吉野川、河内谷川がある、桜・水がきれい など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 人集めが難しく、参加してくれない



課題解決に向けて

- 既存事業を充実させる
- 参加しやすい行事の検討

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 閉じこもりがちな人の社会参加



課題解決に向けて

- 地域見守り隊活動の充実
- きめ細かな見守りと声かけ

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災意識が低く、危機感がない



課題解決に向けて

- 地域見守り隊活動の活用
- 自主防災組織の充実
- 自治会単位での話し合いの機会づくり

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあいのど自慢大会
- 小地域サロン
- 100歳体操

- 地域見守り隊
- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

- 地域見守り隊
- 研修会
- 清掃活動

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

東川原地区のまちづくりプラン

皆でつくろう地域の輪

●東川原地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	317 人	世帯数	144 世帯
14歳以下	21 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	29 世帯
15～64歳	156 人	高齢者のみ世帯数(※)	16 世帯
65歳以上	140 人	高齢化率(65歳以上)	44.2 %
75歳以上	81 人	後期高齢化率(75歳以上)	25.6 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(地区住協・自主防災・自治会・婦人会・老人クラブ等)、静か、あいの郷、河内谷公園、安全、水が豊富、空気が良い、山菜が多い、病院が近い など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 参加者が少ない



課題解決に向けて

- 各種団体との連携強化
- 周知方法の見直し
- 意識改革

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 閉じこもりがちの人への支援が不十分



課題解決に向けて

- 平常時のきめ細かな見守りの実施
- 事業を活用しての見守りの実施
- 情報共有

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災に対する意識付けが不十分



課題解決に向けて

- 防災意識の向上
- 訓練、研修内容の見直し

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 東原あいの会
- グラウンドゴルフ大会

- 地域見守り隊
- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

- 防災、避難訓練
- 一時避難場所の設置
- 特殊詐欺等防止への看板設置

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

太刀野地区のまちづくりプラン

太刀野はひとつ、みんなで支えあおう

●太刀野地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	324 人	世帯数	136 世帯
14歳以下	26 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	13 世帯
15～64歳	161 人	高齢者のみ世帯数(※)	17 世帯
65歳以上	137 人	高齢化率(65歳以上)	42.3 %
75歳以上	79 人	後期高齢化率(75歳以上)	24.4 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(地区住協・自主防災・自治会・老人クラブ等)、道の駅三野、松尾神社、中央構造線露出地帯、自然豊か、高齢者が元気、分館活動が盛ん、空気が良く、景色も良い、日当たり良好で田畑では作物がよく育つ、春秋の地神祭の雑炊作り、日吉神社の祭り など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

● 地域の交流活動の推進



課題解決に向けて

- 地域事業への参加呼びかけ
- 昭和会との連携を図る

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

● 見守り活動の推進



課題解決に向けて

- 見守り、声かけ
- 各種団体との連携強化(昭和会、民生委員)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

● 防災訓練の推進



課題解決に向けて

- 防災訓練の実施(年1回)
- 炊き出し訓練の実施
- 救命講習の実施

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- いきいきサロン
- 太刀野さくらまつり
- お楽しみ抽選会

- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

- 防災訓練
- 炊き出し訓練
- 清掃活動

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

花園地区のまちづくりプラン

笑顔と思いやりのあふれる郷

●花園地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	404 人	世帯数	156 世帯
14歳以下	66 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	8 世帯
15～64歳	218 人	高齢者のみ世帯数(※)	14 世帯
65歳以上	120 人	高齢化率(65歳以上)	29.7 %
75歳以上	65 人	後期高齢化率(75歳以上)	16.1 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(名会・地区住協・自主防災・自治会・婦人会・老人クラブ等)、月1回サロン開催、平和な集落、元気な高齢者が多い、仲良し、毎年花見・忘年会の開催、人付き合いが良い、秋祭りが続いている、集会所兼分団庫、ミカン畑が多い、お寺、自然が豊か、比較的災害に強い、自然が多く過ごしやすい、河内谷沿いの桜並木・紫陽花、花園と言う地名が良い、百年続く名会組織 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 参加者が固定している



課題解決に向けて

- 広報並び掲示板の作成
- 周知方法を密にする

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- ひとり暮らし高齢者の見守り



課題解決に向けて

- 平常時のきめ細かな見守りの実施
- 情報共有に努める

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域の相互扶助が薄れている



課題解決に向けて

- 世代間交流の機会づくり

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 100歳体操
- お食事サロン
- ゴルフ大会
- 福引大会
- お花見
- 敬老会

- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

- 防災運動会
- ゴルフ大会
- 福引大会
- 清掃活動

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

太刀野山地区のまちづくりプラン

安全第一・助け合いの輪

●太刀野山地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	208 人	世帯数	125 世帯
14歳以下	6 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	29 世帯
15～64歳	76 人	高齢者のみ世帯数(※)	22 世帯
65歳以上	126 人	高齢化率(65歳以上)	60.6 %
75歳以上	92 人	後期高齢化率(75歳以上)	44.2 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(地区住協・自主防災・自治会、老人クラブ等)、人柄が良い、人の和、助けあい、親類が多い、馬頭観音、学校・分館、集会所、消防庫、神社・お宮、高山の鳥居、畑、大規模農道、水・空気、高山はんからの眺望、八枚なべら、大川「山、大平の湧き水、古道がある、紅葉がすばらしい」など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- ひとり暮らしが多くなった



課題解決に向けて

- 寄り合う場を増やす(老人クラブ、さくらの里との連携)
- ふれあい運動会の開催
- いきいきサロンの開催

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 買い物難民が増えてくる



課題解決に向けて

- 現状を把握する
- 希望調査の実施
- 希望者には買い物支援をする

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 避難の仕方が分からない



課題解決に向けて

- 研修会や話し合いの機会を作る
- 避難経路の確認

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあい運動会
- いきいきサロン

- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

- 清掃活動

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

東谷地区のまちづくりプラン

支えあいで、安心の東谷福祉社会

●東谷地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	55 人	世帯数	31 世帯
14歳以下	0 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	6 世帯
15～64歳	17 人	高齢者のみ世帯数(※)	12 世帯
65歳以上	38 人	高齢化率(65歳以上)	69.1 %
75歳以上	23 人	後期高齢化率(75歳以上)	41.8 %

地域の資源(特徴)

各種団体の組織が活発(地区住協・自主防災・自治会、老人クラブ等)、人柄が良い、人情が厚い、地区・人の和がある(付き合い)、分館、消防庫、ふれあい公園、出雲神社、野山が美しい、水が美味しい、真鈴峠がある、農地のほ場整備がされている、香川に近い、道路の便利が良い、農産物が豊富 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域の交流機会が少ない



課題解決に向けて

- 100歳体操の実施
- 小地域でサロンの実施
- 各種団体の横の繋がりを強め、協働で実施

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 支え手がない



課題解決に向けて

- 支えあい活動(互助の強化)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 避難場所が遠い



課題解決に向けて

- 防災マップ作り
- 一時避難場所の設置

《 継続して取り組んでいく事業 》

- いきいきサロン
- 清掃活動

- ふれあい福祉訪問
- ささえあいネットワーク会議

- 防災マップ

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

辻地区のまちづくりプラン

笑顔のきずな辻住協

●辻地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	541 人	世帯数	239 世帯
14歳以下	48 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	25 世帯
15～64歳	219 人	高齢者のみ世帯数(※)	22 世帯
65歳以上	274 人	高齢化率(65歳以上)	50.7 %
75歳以上	166 人	後期高齢化率(75歳以上)	30.7 %

地域の資源(特徴)

辻幼稚園、辻小学校、市役所井川支所、社協井川支所、駐在所、辻郵便局、商店、母子センター、水力発電所、ガソリンスタンド、ディサービス、福祉施設、歯科医院、造り酒屋、神社、公民館、朝市、商工会、佐藤金次郎(有志)、仁尾小香(有志、書道家)、山下菊二(有志)、古くから栄えた町、辻の渡し、穴薬師堂、美濃田の淵、水晶山(昔、水晶が取れた) など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域のコミュニケーション不足



課題解決に向けて

- 新事業の計画
- 地区住協活動の周知
- 参加の呼び掛けにつとめる

- ふれあいサロン

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- お互い(支援者・要配慮者)が声を出しにくい環境



課題解決に向けて

- 近隣同士での声掛け・助け合い
- 小地域での見守り活動
- 支援を求めやすい環境作り

- ささえあいネットワーク会議

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防犯対策の認識不足



課題解決に向けて

- 防犯対策強化
- 防災活動の推進
- 振り込め詐欺等の情報共有

- 防災訓練
- 地区内清掃活動
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

のつご地区のまちづくりプラン

助けます。助けられます。野津後ファミリー

● のつご地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	329 人	世帯数	152 世帯
14歳以下	36 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	19 世帯
15～64歳	162 人	高齢者のみ世帯数(※)	27 世帯
65歳以上	131 人	高齢化率(65歳以上)	39.8 %
75歳以上	65 人	後期高齢化率(75歳以上)	19.9 %

地域の資源(特徴)

辻駅、井川中学校、池田高等学校辻校、交流センター(図書館)、神社、消防団詰所、公民館、資源ゴミセンター、武道館、井川グラウンド、商店、製材所、吉野川、井内谷川、山・桜がきれい、協力的な地域性 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- コミュニケーションを図る場が少ない



課題解決に向けて

- レクリエーション大会を実施
- 自治会間の交流活動
- サロンの充実

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 要配慮者が増加



課題解決に向けて

- 生活支援活動の推進
- ささえあいネットワーク活動の充実

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 高齢者の適応力が低下



課題解決に向けて

- 独居高齢者宅訪問活動
- 立哨活動充実

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあいサロン
- 餅つき大会
- いきいき100歳体操

- 手作り餅全戸配布事業
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新
- ささえあいネットワーク会議

- 手作り餅全戸配布事業
- 防災訓練
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

中村地区のまちづくりプラン

仲良く頑張る、みんなの中村

●中村地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	469 人	世帯数	198 世帯
14歳以下	63 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	14 世帯
15～64歳	245 人	高齢者のみ世帯数(※)	28 世帯
65歳以上	161 人	高齢化率(65歳以上)	34.3 %
75歳以上	77 人	後期高齢化率(75歳以上)	16.4 %

地域の資源(特徴)

井川中学校、西部診療所、JA三好井川支所、桜ヶ丘公園、神社、寺、福祉施設、公民館分館、ゴルフ練習場、自動車整備工場、ジョギングコース、八幡神社の祭礼、緑が多く景色が良い、災害が少ない、穏やかな地域性、隣近所の関係が良い など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域コミュニティ力の低下



課題解決に向けて

- 声掛け誘い合い運動
- 世代間交流イベント推進計画
- サロンの充実と多様

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 見守りネットワークが不十分



課題解決に向けて

- 日常の声掛けにつとめる
- 要配慮者支援マップの活用
- 見守り活動の推進

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域防災力・防犯力が低い



課題解決に向けて

- 防災意識の高揚
- 防犯意識の高揚
- 防災マップ作成

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあいサロン
- ウォーキング大会
- ミニ運動会

- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新
- ささえあいネットワーク会議

- 防災訓練
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

なでしこ地区のまちづくりプラン

みんなが安心して暮らせる なでしこ地区

● なでしこ地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	808 人	世帯数	337 世帯
14歳以下	92 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	30 世帯
15～64歳	460 人	高齢者のみ世帯数(※)	23 世帯
65歳以上	256 人	高齢化率(65歳以上)	31.7 %
75歳以上	143 人	後期高齢化率(75歳以上)	17.7 %

地域の資源(特徴)

西井川幼稚園、西井川小学校、佃駅、なでしこ館、駐在所、寺、神社、歯科医院、製材所、宅急便、コンビニ、市営水道施設、炭焼き、パン工房、木工の館、防災倉庫、緑がきれい、美しい自然、美味しい水・野菜・米、内田弥八(有志)、災害が少ない、憩いの森 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 小地域でも集まるのが難しい



課題解決に向けて

- 集まりやすい環境作り
- 行事参加への声掛け
- ミニサロンの推進

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 支援方法が不十分



課題解決に向けて

- 支援の体制作り
- 日常の声掛け
- 各団体との情報共有

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災・防犯への意識が低い



課題解決に向けて

- 防災訓練への参加の呼び掛け
- 防災訓練内容の検討
- 防犯啓発事業の推進

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあいサロン
- いきいき100歳体操

- ささえあいネットワーク会議

- 防災訓練
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

黎明地区のまちづくりプラン

こんにちは サポート黎明

●黎明地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	514 人	世帯数	241 世帯
14歳以下	47 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	23 世帯
15～64歳	280 人	高齢者のみ世帯数(※)	23 世帯
65歳以上	187 人	高齢化率(65歳以上)	36.4 %
75歳以上	94 人	後期高齢化率(75歳以上)	18.3 %

地域の資源(特徴)

西井川保育所、西井川農村公園、砂防工事事務所、高速道路交通整備隊、井川池田料金所、ガソリンスタンド、憩いの家、各自治会集会所、四国電力西井川寮、縫製工場、自然に恵まれ景色が良い、団結力がある など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域福祉活動が浸透していない



課題解決に向けて

- サロン多様化の推進
- 地域福祉活動講習会を開催
- みんなで集まれる環境作り

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 手助けが必要な方が増えてきた



課題解決に向けて

- 健康作り研修会の開催
- 弱者に対する支援
- 支援グループ作り

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防犯並びに防災の意識が低い



課題解決に向けて

- 防犯講習会の開催
- 防災組織の充実化と協働訓練
- 防災訓練へ施設入居者の参加要請

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 通所型サービスB「健康サロン」
- カラオケサロン
- いきいき100歳体操
- 西井川保育所交流会

- 西井川小学校下校ボランティア
- ささえあいネットワーク会議

- 防災訓練
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

立石地区のまちづくりプラン

こえかけ合ってみんな仲良く

●立石地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	281 人	世帯数	141 世帯
14歳以下	11 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	13 世帯
15～64歳	105 人	高齢者のみ世帯数(※)	9 世帯
65歳以上	165 人	高齢化率(65歳以上)	58.7 %
75歳以上	11 2人	後期高齢化率(75歳以上)	39.9 %

地域の資源(特徴)

立石大権現、JA茶工場、公民館、消防団詰所、建設会社、神社、見晴らしが良い、野菜が豊富、地域の伝統を守っている、団結力がある など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 高齢者が多く地域で交流ができない



課題解決に向けて

- ミニサロンの推進
- 参加できる環境作り
- イベント内容の見直し

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 見守り方法の認識不足



課題解決に向けて

- 安否確認方法の検討
- 各団体と情報共有
- 自治会での見守り活動

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災・防犯への理解不足



課題解決に向けて

- 防災用品の点検
- 防災講習会の開催
- 防災・防犯の情報共有

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 芸能大会
- ミニサロン
- いきいき100歳体操
- 三好市民運動会井内大会

- ささえあいネットワーク会議

- 防災訓練
- 子供夜警
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

井内地区のまちづくりプラン

ふれあいと、人情豊かな井内住協

●井内地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	451 人	世帯数	233 世帯
14歳以下	24 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	39 世帯
15～64歳	193 人	高齢者のみ世帯数(※)	27 世帯
65歳以上	234 人	高齢化率(65歳以上)	51.9 %
75歳以上	153 人	後期高齢化率(75歳以上)	33.9 %

地域の資源(特徴)

井内幼稚園、井内小学校、井内郵便局、井川町町民体育館、井川町農産物加工開発センター、基幹集落センター、歯科井内診療所、多目的交流施設、集会所、メイト文化村、メイト星が里、寺、神社、製材所、消防団詰所、公民館分館、ホテル、石堂の桜、多美大師、ハツ石城跡、ご来光の滝、人情豊かな地域性 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域で集まる機会が減少



課題解決に向けて

- 集まりやすい環境作り
- サロンの多様化推進
- サロンへの参加声掛け強化

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 見守り活動が不十分



課題解決に向けて

- 地域で見守り・声掛けを行う
- サロンなどを活用して要配慮者へ情報提供
- 自治会単位で見守り体制作り

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害・防犯情報が行き届かない



課題解決に向けて

- 小地域での防災訓練を実施
- 防犯講習会の開催
- 防災・防犯の情報提供

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 芸能大会
- ふれあいサロン
- いきいき100歳体操
- 餅作り
- 三好市民運動会井内大会

- 独居高齢者慰問活動
- ふれあいサロン
- ささえあいネットワーク会議

- 防災訓練
- 子供夜警
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

かいな地区のまちづくりプラン

仲良し かいなっ子

●かいな地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	219 人	世帯数	124 世帯
14歳以下	7 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	27 世帯
15～64歳	77 人	高齢者のみ世帯数(※)	28 世帯
65歳以上	135 人	高齢化率(65歳以上)	61.6 %
75歳以上	91 人	後期高齢化率(75歳以上)	41.6 %

地域の資源(特徴)

腕山スキー場、森林体験交流センター、神社、寺、ヘリポート、公民館、元野住小学校分校、フィンランドコテージ、棚田、ホテル、消防団詰所、山・谷・空気がきれい、盛んな世代間交流、仲が良い、のんびりしている など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 気軽に参加できる集いの場がない



課題解決に向けて

- 声掛け方法の検討
- 集まりやすい環境作り
- サロンの充実

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 見守り方法が不十分



課題解決に向けて

- 出来る範囲で市報の手渡し
- 各団体と連携し、情報収取
- 自治会の集まりの時に情報共有

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災・防犯の知識不足



課題解決に向けて

- 災害への意識付け方法検討
- 防災訓練の実施
- 防犯対策の検討

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 芸能大会
- ふれあいサロン
- いきいき100歳体操
- 三好市民運動会井内大会

- ささえあいネットワーク会議

- 防災訓練
- 子供夜警
- 高齢者・要援護者・空き家マップ更新

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

箸蔵地区のまちづくりプラン

豊かなまちづくりを目指してここは箸蔵福祉村

●箸蔵地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	1,691 人	世帯数	874 世帯
14歳以下	179 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	64 世帯
15～64歳	876 人	高齢者のみ世帯数(※)	37 世帯
65歳以上	636 人	高齢化率(65歳以上)	37.6 %
75歳以上	334 人	後期高齢化率(75歳以上)	19.8 %

地域の資源(特徴)

池田博愛会、池田支援学校、箸蔵福祉村、箸蔵小学校、箸蔵公民館、箸蔵寺、箸蔵駅、坪尻駅、四国中央橋、ロープウェイ、閑々子誕生地、一升水、箸蔵山遍路道、池田高校三好校など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 山間部等参加しにくい人がいる



課題解決に向けて

- 新しいコミュニティを作る
- 既存事業の継続(誘い合って仲間づくり)

《 継続して取り組んでいく事業 》

- 博愛の里周辺こいのぼり取り付け(4月)
- 博愛まつり(5月)
- 箸蔵小学校田植え(6月)
- 吉野川流域草刈り・ゴミ収集(7月)
- 福祉村GG大会(8月)
- 稲刈り脱穀(10月)
- 福祉村ふれあい祭り(11月)
- 小学校もちつき大会(12月)
- 幼稚園卒園式・小学校卒業式記念品贈呈(3月)
- 白地公民館との交換学習会(2月)
- 青少年健全育成会研修会(2月)

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 更なる見守り支援が必要



課題解決に向けて

- 自治会・民生委員等連携して事業を行う
- 近所付き合いを深める

《 継続して取り組んでいく事業 》

- 敬老会(9月)
- 小学校もちつき大会(12月)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 道路の整備・交通の維持が必要(倒木・落石等)
- 防災への意識付けが必要



課題解決に向けて

- 道の清掃・落石の除去(ボランティア精神を持って取り組む)
- 防災フェスタや自主防災合同避難訓練等に参加

- 防災フェスタ
- 自主防災合同避難訓練

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

佐野地区のまちづくりプラン

地域はひとつ

●佐野地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	355 人	世帯数	175 世帯
14歳以下	24 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	39 世帯
15～64歳	156 人	高齢者のみ世帯数(※)	14 世帯
65歳以上	175 人	高齢化率(65歳以上)	49.3 %
75歳以上	118 人	後期高齢化率(75歳以上)	33.2 %

地域の資源(特徴)

佐野駐在所、佐野公民館、佐野駅、佐野郵便局、企業、高速パーキング、ラーメン屋、三峯神社、佐野神社、民宿、青色寺、馬路川の埜、佐野城址、山の神様、沼谷の里公園、遍路道、グラウンドゴルフ場、ゲートボール場、牛頭天王、天理教・金光教、しいたけ、まんだの桜、大蛇伝説 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域の交流の場が必要



課題解決に向けて

- GG 大会を年に 1 回継続して開催する
- やまびこ童謡を歌う会の活動推進
- 地域を歩いて自分たちの地域を見直す、交流を深める(史跡の探求など)

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 要援護者の閉じこもりへの対策が必要



課題解決に向けて

- 小地域での声掛け・見守り
- 閉じこもりがちな方の見守り強化

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 避難場所・避難所の場所や経路についての確認が必要



課題解決に向けて

- 防災訓練・講習を継続して行う
- 防災マップの確認
- 防災マップ上を実際に歩いて「防災さんぽ」を行う

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- グラウンドゴルフ大会(3月)
- 秋祭り(10月)
- 体育大会(10月)

- ふれあい郵便(通年)

- 青少年健全育成(通年)
- 交通安全指導(通年)
- 花の植え付け
- 防災研修(6月)
- 市道草刈り(7月)
- 河川一斉清掃(7月)
- 地域の清掃奉仕活動(毎月1回)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

西山地区のまちづくりプラン

たすけあい はげましあって 七曲八起き

●西山地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	178 人	世帯数	82 世帯
14歳以下	17 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	16 世帯
15～64歳	77 人	高齢者のみ世帯数(※)	14 世帯
65歳以上	84 人	高齢化率(65歳以上)	47.1 %
75歳以上	55 人	後期高齢化率(75歳以上)	30.9 %

地域の資源(特徴)

蜜厳寺(八角堂)、ユースホステル、ふれあい市場、川人家長屋門、只安自治会交流広場、只安集落農業倉庫、大久保ヶ原、蜜厳寺火祭り、西山そらの学校、西山鎌神社、諏訪神社、薬師堂の日参参りや花祭り、展望台4か所 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域のつながり少ない



課題解決に向けて

- 出来る事から新しい行事を作る(お好み焼きサロン等)
- 小さい所から集まり話をする機会を作る

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 高齢者等が相談できない。どうすれば良いか分からない



課題解決に向けて

- 困りごとを相談する組織や仕組みを作る
- 市報配布時の見守りの継続実施

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災意識が低い
- 防災訓練がしにくい



課題解決に向けて

- 消防団と連携して消火栓の講習会や訓練等を行う。
- 連絡網の確認

《 継続して取り組んでいく事業 》

- 各町内花見(4月)
- 世代間交流ゲートボール大会(5月)
- 町内清掃(6月)
- 鎌神社境内清掃(1.4.7.10月)
- 高齢者健康チェックと健康講座(7月)
- うどん、ソバ打ち料理教室(10月)
- ふれあいサロン(ゲートボール部:通年活動)

- 支え合いネットワーク会議(3月)
- 高齢者健康チェックと健康講座(7月)
- うどん、ソバ打ち料理教室(10月)
- 年末用品配布(12月)
- ふれあいサロン(ゲートボール部:通年活動)

- 支え合いネットワーク会議(3月)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

上野地区のまちづくりプラン

声かけて 今日も安心 上野の輪

●上野地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	752 人	世帯数	372 世帯
14歳以下	85 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	51 世帯
15～64歳	376 人	高齢者のみ世帯数(※)	32 世帯
65歳以上	291 人	高齢化率(65歳以上)	38.7 %
75歳以上	161 人	後期高齢化率(75歳以上)	21.4 %

地域の資源(特徴)

池田幼稚園、池田小学校、池田中学校、池田高校、川の駅、諏訪公園、諏訪神社、丸山公園、丸山神社、飲食店、三好警察署、池田ダム、公共施設、コンビニ、マナヅル文化ホール、秋祭りなど

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 交流の場が少ない



課題解決に向けて

- コミュニケーションが取れる交流の場の推進
- 自治会同士の交流の場を作る

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 災害・緊急時における対応の周知が必要



課題解決に向けて

- 緊急時の連絡網や支援体制の整備
- 自主防災活動の推進

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域に空き家が多くなっている
- 様々な情報や知識の共有・周知が必要



課題解決に向けて

- 持ち主の状況を把握する
- 持ち主と協議ができる関係を作る
- 見守り活動の実施
- 交通安全等の講習を実施し、知識や情報を地域全体に伝える

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあい郵便(通年)
- 体育大会(10月)
- カラオケ大会
- 清掃美化活動(年2回)
- ふれあい弁当(年2回)

- 消防教室(1月)

- 交通安全教室(6月)
- 清掃美化活動(年2回)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

出合地区のまちづくりプラン

みんなで守ろう 出合の和

● 出合地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	153 人	世帯数	95 世帯
14歳以下	2 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	31 世帯
15～64歳	45 人	高齢者のみ世帯数(※)	17 世帯
65歳以上	106 人	高齢化率(65歳以上)	69.2 %
75歳以上	71 人	後期高齢化率(75歳以上)	46.4 %

地域の資源(特徴)

祖谷温泉、松尾川温泉、小便小僧、キャンプ村、竜ヶ岳、黒沢湿原、松尾川、中津山、松尾川のホタル、銘水(竜ヶ岳)、飲食店(小学校跡地)、出合発電所、出合郵便局、発電所跡地、草鞋の会、光明寺 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域コミュニティの維持や新しいイベントが必要



課題解決に向けて

- 各種団体と連携を取り、運動会・餅つき・敬老会等の継続実施
- 100歳体操を取り入れる

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 高齢者の見守りの強化や新しい取り組みが必要



課題解決に向けて

- 市報配布時や民生委員等と協力し声かけ・見守り活動の継続
- ネットワーク会議等での情報把握や共有
- 消防団での防火水槽等の点検時にも見守りを行う

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 安心して暮らせる為の災害に対する備えや治安維持の活動等の継続した活動が必要



課題解決に向けて

- 防災マップの見直し様々な災害に対す対応を検討し、備えておく
- ケーブルテレビのIP電話を活用し、声かけや安否確認や詐欺等の注意喚起を行う

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 花いっぱい運動
- 旧出合小学校周辺清掃
- 除草
- 地区体育大会

- 餅つき大会
- 独居高齢者友愛訪問
- いきがい教室

- 自主防災会議
- ささえあいネットワーク会議

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

白地福祉友の会のまちづくりプラン

頼るところ 地域みんなが お隣さん

●白地福祉友の会データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	1,244 人	世帯数	608 世帯
14歳以下	83 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	80 世帯
15～64歳	600 人	高齢者のみ世帯数(※)	80 世帯
65歳以上	561 人	高齢化率(65歳以上)	45.1 %
75歳以上	319 人	後期高齢化率(75歳以上)	25.6 %

地域の資源(特徴)

小学校、幼稚園、児童クラブ、郵便局、公民館、集会所、井ノ久保活性化センター、あわの抄、白地温泉、老人福祉施設(健祥会しののめ、ひかり)、池田大橋、三好橋、林芙美子ゆかりの地、各種団体組織が活発(自主防災、婦人会、自治会、老人クラブ、福祉委員) など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- コミュニケーションの機会が減ってきている



課題解決に向けて

- 各集会所での小規模サロンの開催
- 各団体のリーダー育成

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 困りごとを気軽に相談できる体制作りが必要



課題解決に向けて

- 回覧板を活用し、困りごとがあれば記入してもらうことで気軽に相談しやすい体制を作る
- 生活支援サポーターの強化、人員の拡大

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災・防犯対策の強化や空き家被害の防止



課題解決に向けて

- パトロールを通じて空き家の見守りを重点的に行い、空き家が原因の事件・事故防止に努める
- 交通安全、防犯意識向上のための取り組みを行う

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 福祉まつり(11月)
- 年末助け合い(12月)
- 高齢者会食会(2月)
- 健康体操(月2回)
- 手芸教室(1回)
- ふれあい郵便(通年)
- 運動会(10月)

- 年末助け合い(12月)
- 高齢者会食会(2月)
- ふれあい郵便(通年)
- 高齢者支援活動(通年)

- 治安パトロール
- 避難訓練(11月)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

福祉みなわの会地区のまちづくりプラン

支え合い みんなで築こう元気な町

●福祉みなわの会地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	1,352 人	世帯数	658 世帯
14歳以下	117 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	117 世帯
15～64歳	606 人	高齢者のみ世帯数(※)	84 世帯
65歳以上	619 人	高齢化率(65歳以上)	46.1 %
75歳以上	336 人	後期高齢化率(75歳以上)	25.0 %

地域の資源(特徴)

病院、三縄小学校、三縄幼稚園、池田町第二保育所、三縄駅、プール、郵便局、児童公園、運動場、老人福祉施設、店、製材所、天神、岡の庵、観音堂、木偶人形の館、永楽荘第一在宅介護支援センター、老人福祉センター、中西集会所、三縄公民館、三好橋、一宮神社秋祭り、懸石庵、稲荷神社、二宮神社、梅ノ谷集会所 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 事業の継続と拡充が必要、送迎等が困難



課題解決に向けて

- サロンの充実や見直し等の検討を行う(小地域でのサロンを実施等)

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 見守り活動の継続と強化が必要



課題解決に向けて

- ささえあいネットワークの充実(関わる人に色々な知識を持ってもらう)
- 友愛訪問活動の継続実施と充実を図る

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域情報の啓発と把握が必要



課題解決に向けて

- 連絡網の整備(定期的な見直し)
- 情報提供(訪問時等に伝える)
- 防災福祉マップの更新を行う
- 防災訓練の実施(避難経路の確認や整備を行う)(地域リーダーの防災意識の向上)

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 福祉講演会及びサロン(年2回)
- 男性料理教室(8月)
- ふれあい餅つき(12月)
- 三縄幼小学校・三縄地区合同町民運動会(10月)
- 三縄ふるさと祭り(8月)

- 一人住まい高齢者サロン(年2回)
- 福祉講演会及びサロン(年2回)
- ふれあい餅つき(12月)
- 見守り訪問活動
- ふれあい郵便(5・8・2月)
- ネットワーク会議(3月)

- 福祉講演会及びサロン(年2回)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

三縄中央地区のまちづくりプラン

声かけあい みんなで守ろう 大利川崎

●三縄中央地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	396 人	世帯数	229 世帯
14歳以下	16 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	60 世帯
15～64歳	136 人	高齢者のみ世帯数(※)	42 世帯
65歳以上	244 人	高齢化率(65歳以上)	61.6 %
75歳以上	158 人	後期高齢化率(75歳以上)	39.9 %

地域の資源(特徴)

川崎小学校、三所神社、百年蔵、安養寺、新三縄発電所、旧三縄発電所、川崎橋、正賢寺、川崎黒住教教会所、観音堂、薬師堂、打置地蔵尊、水辺の楽校、八幡神社、細野神社リサイクルプラザ、大川橋、大利込観音堂、祖谷口橋、病院、大利郵便局、川崎生活改善センター、納涼芸能祭 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 中心地で開催されるサロンに集まりづらい



課題解決に向けて

- 小地域で集まれる場を増やしていく
- 小地域でのリーダーの育成

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 一人暮らしの方の見守りや閉じこもり防止



課題解決に向けて

- 料理教室の開催
- 回覧板を活用して、困りごとを気軽に相談できる体制作り

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域情報の啓発と把握が必要



課題解決に向けて

- 連絡網の整備(定期的な見直し)
- 情報提供(訪問時等に伝える)
- 防災福祉マップの更新を行う
- 防災訓練の実施(避難経路の確認や整備を行う)(地域リーダーの防災意識の向上)

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 運動会(9月)
- 愛校作業(8月)
- 敬老会(9月)
- ふれあい郵便(5・8・2月)
- 長寿祈願祭(10月)

- 敬老会(9月)
- ふれあい郵便(5・8・2月)
- ネットワーク会議(3月)

- 福祉講演会及びサロン(年2回)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

野呂内地区のまちづくりプラン

豊かな 豊かな夢の里 野呂内

●野呂内地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	80 人	世帯数	37 世帯
14歳以下	3 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	10 世帯
15～64歳	35 人	高齢者のみ世帯数(※)	4 世帯
65歳以上	42 人	高齢化率(65歳以上)	52.5 %
75歳以上	27 人	後期高齢化率(75歳以上)	33.7 %

地域の資源(特徴)

野呂内構造改善センター、野呂内小学校跡(体育館・グラウンド)、百手 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域での交流の場を作る



課題解決に向けて

- 地域資源を活用し、いきいき100歳体操を実施する
- 老人クラブとの連携

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 隣近所での声掛け・見守りを継続させる



課題解決に向けて

- 近所の声かけ
- 市報等配布の際の声かけ・見守り

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災意識の向上が必要



課題解決に向けて

- 地域行事の際に消防団と連携し、防災講習等を行う
- 各種団体と連携し、役割分担を決める

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 奉仕作業(神社草取り)(6月)
- 敬老会(10月)
- 運動会(12月)
- 百手(1月)
- ふれあい餅つき交流会(2月)

- 敬老会(10月)
- ふれあい餅つき交流会(2月)

- 奉仕作業(神社草取り)(6月)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

下野呂内地区のまちづくりプラン

人情と花の里

●下野呂内地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	80 人	世帯数	44 世帯
14歳以下	3 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	13 世帯
15～64歳	28 人	高齢者のみ世帯数(※)	11 世帯
65歳以上	49 人	高齢化率(65歳以上)	61.2 %
75歳以上	39 人	後期高齢化率(75歳以上)	48.7 %

地域の資源(特徴)

地域交流センター(八達)、旧下野呂内小学校、炭焼窯、鮎苦谷川 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域の交流の場の継続・拡大



課題解決に向けて

- 地域行事の継続
- 子や孫も地域行事への参加呼びかけ
- いきいき 100 歳体操の参加者拡大

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 地域での声かけや見守りを継続していく



課題解決に向けて

- 婦人会と連携し情報交換を行う
- 市報配布の際の声かけや見守り

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域防災力の強化



課題解決に向けて

- 防災活動の実施(炊き出し訓練やカーブミラー清掃等)

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあい訪問(5・9・2月)
- 敬老会(9月)
- 地区運動会(10月)
- 地区清掃(7・12月)
- 年末もちつき・赤飯(12月)

- ふれあい訪問(5・9・2月)
- 敬老会(9月)
- 年末もちつき・赤飯(12月)

- 地区清掃(7・12月)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

池南・新山地区のまちづくりプラン

ふれあい・支え合い・深めよう絆“まずは挨拶から”

●池南・新山地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	1,220 人	世帯数	1,089 世帯
14歳以下	143 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	52 世帯
15～64歳	687 人	高齢者のみ世帯数(※)	34 世帯
65歳以上	390 人	高齢化率(65歳以上)	31.7 %
75歳以上	220 人	後期高齢化率(75歳以上)	18.0 %

地域の資源(特徴)

総合体育館、新山グラウンド、池南公民館、介護施設、社協、分庁舎、商店、古池、新池、コインランドリー、八幡神社、細野大師、ミニ八十八ヶ所 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 行事への参加者や世代に偏りがある



課題解決に向けて

- 行事内容の見直し
- 気軽に行事に参加できるように、隣近所で声掛けを行う

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 緊急時の体制が不十分



課題解決に向けて

- 日頃から隣近所で緊急時のことを話し合っておく
- 要援護者について話し合い、情報共有する機会を増やす(ネットワーク会議を年度末以外にも行うなど)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 各種団体の活動についての理解が不足している



課題解決に向けて

- 各種団体間での情報共有を行えるようにする

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあいウォーキング(5月)
- 体育大会(10月)
- ふれあい交流会(10月)

- ささえあいネットワーク会議(3月)
- ふれあい訪問(年2回)
- ふれあい郵便(通年)

- ささえあいネットワーク会議(3月)
- 各種研修会等参加(随時)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

板野地区のまちづくりプラン

笑顔で声かけ ふれあうイタノ

●板野地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	220 人	世帯数	104 世帯
14歳以下	14 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	12 世帯
15～64歳	114 人	高齢者のみ世帯数(※)	15 世帯
65歳以上	92 人	高齢化率(65歳以上)	36.4 %
75歳以上	43 人	後期高齢化率(75歳以上)	19.6 %

地域の資源(特徴)

板野グラウンド、野球場、公園、プール、板野公民館、飲食店、商店、バス停(馬谷・板野)、バス会社、自動車屋、工務店、接骨院、葬祭場、ツール・ド・にし阿波 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 行事の参加者が少ない、同じ人の参加が多い



課題解決に向けて

- 団体間で連携しながら事業に取り組む(花見や体育大会・健康相談・ゴキブリ団子配布など)
- 各団体の会員にイベントの周知や参加呼び掛けを行う

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- サロンの参加者が少ない。来るメンバーが同じ
- 準備する人の負担が多い



課題解決に向けて

- 100歳体操等の新しい企画を実施
- 参加者増加の為の声かけや回覧やチラシを使って周知
- 各団体から当番制で準備をし、負担が集中しない様にする

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 自主防災会の活動が低調している。



課題解決に向けて

- 各種団体の連携強化 防災マップの見直し・確認・避難訓練・講習の実施(各団体が共同して実施)
- 板野地区の全住民を参加対象として防災訓練や講習を実施する

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- サロン(毎月1日)
- ゴキブリ団子の配布
- 町内一斉清掃(6月)
- ふれあい子供会(7月)
- 新山八十八カ所草刈り清掃(8月)
- ふれあい食事会(11月)
- 公民館の大掃除(12月)
- 体育大会(11月)・花見(3月)
- グラウンドゴルフ活動(ハそっこ GG クラブ通年)

- 療養者見舞い(11月)
- ふれあい食事会(11月)
- ささえあいネットワーク会議(3月)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

馬路地区のまちづくりプラン

あいさつからはじまるコミュニケーションアップ

●馬路地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	592 人	世帯数	273 世帯
14歳以下	38 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	20 世帯
15～64歳	289 人	高齢者のみ世帯数(※)	18 世帯
65歳以上	265 人	高齢化率(65歳以上)	44.7 %
75歳以上	145 人	後期高齢化率(75歳以上)	24.4 %

地域の資源(特徴)

小学校、公民館、池田福助(株)、企業・工場、飲食店、ふれあい公園、一藤の巨木、馬路川の
蜚、馬路さくら祭り、八朔念仏、秋祭り、馬路地域運動会 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域が広く、一ヶ所に集まりづらい



課題解決に向けて

- 小規模で集まれる場を地区ごとに作っていく

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 地域での支援体制の強化が必要



課題解決に向けて

- ネットワーク会議の開催
- 各種団体との連携
- 生活支援サポーターの拡大
- 地域でアンケート調査を行い、ニーズ把握

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域防災力の強化が必要



課題解決に向けて

- 避難場所、避難経路の確認
- AED 講習の実施
- 消防団、自主防災会との連携

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 親子福祉映画会(8月)
- 市民体育大会(9月)
- グラウンドゴルフ大会(11月)
- 馬路さくら祭り(3月)
- ふれあい広場活動(木・土)

- ふれあい郵便(年3回)

- 交通安全教室(5月)
- 馬路川清掃(7月)
- 学童安全パトロール(通年)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

馬場地区のまちづくりプラン

協調と平和の里 馬場

●馬場地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	175 人	世帯数	83 世帯
14歳以下	15 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	10 世帯
15～64歳	78 人	高齢者のみ世帯数(※)	17 世帯
65歳以上	84 人	高齢化率(65歳以上)	48.0 %
75歳以上	52 人	後期高齢化率(75歳以上)	29.7 %

地域の資源(特徴)

構造改善センター、グループホーム空、丸岡金属、四所神社の立木、旧跡が多い、手打ちそば、雲海、獅子舞保存会、ふる里祭り、各種団体の活動が盛ん など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 交流の機会を増やす、各種団体との連携を図る



課題解決に向けて

- 100歳体操の実施
- 郷の会との連携
- 馬場小学校跡で活動始める団体との連携

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 隣同士の家が離れているので、見守りや声掛けが大変



課題解決に向けて

- 要援護者マップの作成・更新
- ミニサロンの拡大

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 避難場所に行くまでが困難



課題解決に向けて

- 防災マップの作成
- 避難場所の見直し

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ウマバふる里祭り(8月)
- 運動会(9月)
- グラウンドゴルフ大会(年5回)
- 忘年会(12月)
- 道路奉仕活動(7月)
- 神社奉仕活動(10月)

- 友愛訪問活動(7・9月)
- 一人暮らし高齢者への贈り物

- 友愛訪問活動(7・9月)
- 防災講習会(年2回)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

池田1区～4区地区のまちづくりプラン

「声かけ見守り」で豊かで住みよいまちづくり

●池田1区～4区地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	2,142 人	世帯数	1,089 世帯
14歳以下	194 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	145 世帯
15～64歳	1,003 人	高齢者のみ世帯数(※)	63 世帯
65歳以上	945 人	高齢化率(65歳以上)	44.1 %
75歳以上	536 人	後期高齢化率(75歳以上)	25.0 %

地域の資源(特徴)

銀行、郵便局、病院、歯医者、県民局、市役所、教育センター、消防署、税務署、保健所、池田駅、バスターミナル、たばこ資料館、ショッピングセンター、飲食店、銭湯、いこいの家、えびす神社、医家神社、杉尾神社、和霊神社、黒住神社、諏訪神社、諏訪公園、へそっこ公園、ふらっとスクエア、武家門、阿波踊り、酒まつり、うだつマルシェ、銀座よろず市、えびす祭、御日待さん など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 各種団体間での連携が必要
- 参加者が少なくなっている



課題解決に向けて

- 既存のサロンの継続や参加者増加の為の工夫を行う
- 自治会、民生委員等の団体間の連携を強める取
- 小地域で声かけし合い、誘い合って参加する

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 支援について協議する機会がない
- 協力体制ができていない



課題解決に向けて

- 多くの人が参加し協議できる場を作る。(時間や曜日等も検討する)
- 民生委員や自治会長との連携を強めて事業に取り組む。
- 普段からの近所付き合いでの見守りやネットワーク会議等での情報共有

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災・災害についての情報を知らなかったり、分かりにくい人がある(避難所や配布されたハザードマップ等について)
- 防災について大きな地域では役割分担ができているが、小地域ではない



課題解決に向けて

- 防災大会で得た情報や知識を役員だけではなく、小地域で住民全員に伝わる様な工夫をする
- それぞれの地区ごとの役割を作ったり、検討しておく。

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 分館だより発行(4月)
- 地域消防団との交流(6月)
- ふれあいサロン(7月)
- 運動会(10月)
- 各種研修会等参加

- 男性料理教室(2月)
- ささえあいネットワーク会議(3月)
- ふれあい郵便(通年)

- 地域消防団との交流(6月)
- 自主防災大会(9月)
- 年末特別警戒(12月)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

シマ地区のまちづくりプラン

知ろう 話そう シマのみんな ～見つめ直そう地域の絆～

●シマ地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	844 人	世帯数	111 世帯
14歳以下	105 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	20 世帯
15～64歳	460 人	高齢者のみ世帯数(※)	16 世帯
65歳以上	279 人	高齢化率(65歳以上)	33.1 %
75歳以上	140 人	後期高齢化率(75歳以上)	16.6 %

地域の資源(特徴)

三好病院、田岡医院、薬局、コンビニ、保育所、介護施設、商店、スーパー、電機店、パチンコ店、美容室、自動車屋、花屋、弁当屋、仕出しセンター、葬祭場、ガソリンスタンド、四国電力、コインランドリー など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 大勢で集まる機会や場所が無い



課題解決に向けて

- 小地域でのサロン(100歳体操・ラジオ体操)の場を増やす

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 支援を要する高齢者への援護体制の強化が必要である



課題解決に向けて

- ネットワーク会議(情報の共有の場)の開催

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域の防災力の強化が必要である



課題解決に向けて

- 防災情報の共有や周知(説明会等の実施)
- 災害時の支援体制の充実・災害時支援マップの作製

《 継続して取り組んでいく事業 》

- なかよし会交流
- 餅つき大会
- 秋季大運動会
- 地区新年互例会

- 歳末助け合い運動
- ふれあい郵便
- 市報の手渡し(安否確認)

- ふれあい郵便
- 市報の手渡し(安否確認)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

供養地地区のまちづくりプラン

絆でつなぐヤマダ

● 供養地地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	419 人	世帯数	189 世帯
14歳以下	49 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	18 世帯
15～64歳	212 人	高齢者のみ世帯数(※)	14 世帯
65歳以上	158 人	高齢化率(65歳以上)	37.7 %
75歳以上	77 人	後期高齢化率(75歳以上)	18.3 %

地域の資源(特徴)

供養地児童遊園、皇子神社、供養地集会所、バス停(供養地・供養地西)、美容室、商店、婦人会、ソフトボールクラブ、カラオケクラブ、地藏盆踊り など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域の人が集まれる機会がない



課題解決に向けて

- 高齢者や趣味の集まり等を作る
- しめ縄をお宮で燃やす等のイベントを作る

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 何かあった時の対応が分からない



課題解決に向けて

- 各機関やご近所同士の見守り活動の継続
- 対応方法を検討しておく

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域の危険個所を知らない



課題解決に向けて

- 防災についての情報の把握(ハザードマップの確認等)
- 危険個所を知るために防災散歩を実施する。(危険個所や避難路の確認)

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあい訪問(年7回)
- ささえあいネットワーク会議(3月)
- 環境美化活動(年3回)
- 地区運動会(10月)
- 各種研修会等参加(随時)

- ささえあいネットワーク会議(3月)
- ふれあい訪問(年7回)
- 各種研修会等参加(随時)
- ふれあい郵便

- 各種研修会等参加(随時)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

影野地区のまちづくりプラン

助け合い支え合いの影野

●影野地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	23 人	世帯数	14 世帯
14歳以下	0 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	4 世帯
15～64歳	7 人	高齢者のみ世帯数(※)	3 世帯
65歳以上	16 人	高齢化率(65歳以上)	69.6 %
75歳以上	12 人	後期高齢化率(75歳以上)	52.2 %

地域の資源(特徴)

影野公民館、水(湧き水)、ジビエ、黒沢湿原祭り、八坂神社、小森神社、古森神社、狹神神社、お大師さん、旧影野小学校・三縄中学校分校 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 分館に集まりづらい
- 事業の推進や継続



課題解決に向けて

- 乗り合わせて参加
- 分館の清掃や敬老会を通じて交流を図る
- 健康チェックやカラオケのサロン活動を継続
- 長期的な計画を持って地域活動に取り組む

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 高齢者や隣近所の見守りが大変



課題解決に向けて

- ご近所の見守り活動の継続
- 見守る方法を検討する(例:毎朝黄色い旗を揚げる等)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 何かあった時の確認方法が徹底周知できていない
- 災害時の備えが十分でない



課題解決に向けて

- 安否確認の仕組みの確認や見直し(連絡員を作る等を検討)
- 電気が止まった場合等の備えを個人や地域でしておく

◀ 継続して取り組んでいく事業 ▶

- ささえあいサロン(毎月)
- 講習会の実施(介護予防等)

- 支え合いネットワーク会議の実施

- 支え合いネットワーク会議の実施
- 危機管理・自主防災活動(防火用水点検など)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

大野地区のまちづくりプラン

みんなで楽しく地域づくり

●大野地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	690 人	世帯数	403 世帯
14歳以下	44 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	63 世帯
15～64歳	283 人	高齢者のみ世帯数(※)	22 世帯
65歳以上	363 人	高齢化率(65歳以上)	37 世帯
75歳以上	226 人	後期高齢化率(75歳以上)	30.7 %

地域の資源(特徴)

旧大野小学校グラウンド・体育館、旧大野中学校校舎・体育館、生活支援ハウス、デイサービス、公民館分館、消防団、老人クラブ、大野ふるさと祭り実行委員会、四所神社、和霊神社、長福寺、半田岩、塩塚高原、自治会数 13 など

(婦人会の解散、小学校校舎の解体など地域資源が減衰。一方でそれを補完するための地域内での集まりの機会は何とか維持できている。)

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域内組織の衰退による今後の活動体制や事業の継続



課題解決に向けて

- ふれあい交流活動の維持継続(地域内組織の連携)
- 情報発信のための「大野かわら版」の発行
- 地域内組織の協力体制(組織を通して情報発信)

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 組織の衰退による見守り体制づくり



課題解決に向けて

- 定期的に地域の状況を確認する機会を持つ(ネットワーク会議 年3回)
- サロン活動の充実(100歳体操 2カ所増加)
- 各種団体との連携

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害時に対応できる体制づくり



課題解決に向けて

- 防災講座の継続
- 防災訓練の実施(自治会単位)
- 防災リーダー養成・防災拠点づくり

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- しめ縄づくり
- 防災訓練・防災研修
- 豆腐づくり講習会
- 桜まつり
- 大野ふるさと祭り
- 鐘踊り

- ネットワーク会議(見守りマップ作成)
- 見守り活動(友愛訪問)
- サロン活動(大野・大月)
- グラウンドゴルフ(月・木)

- 防災研修会
- 防災訓練(大月)
- 消防団との連携(災害時の支援体制・避難所準備)

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

政友地区のまちづくりプラン

思いやり ボランティアの里 政友

●政友地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	365 人	世帯数	194 世帯
14歳以下	13 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	38 世帯
15～64歳	173 人	高齢者のみ世帯数(※)	17 世帯
65歳以上	179 人	高齢化率(65歳以上)	49.0 %
75歳以上	112 人	後期高齢化率(75歳以上)	30.7 %

地域の資源(特徴)

老人クラブ、生活改善グループ、伊予川芋炊き会、ふるさと会、消防団、旧政友小学校、政友保育所、恵泉館、山城総合グラウンド、賢見神社、杖立神社、自治会数 6 など
(特徴:住民間の絆が強く、分館活動や生活改善グループ、伊予川芋炊き会などの活動も盛ん。)

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 参加者が限定している
- 地域内の組織力低下



課題解決に向けて

- グラウンドゴルフ大会・研修会などの継続
- 自治会内での声かけ
- 小地域で集まれる場所づくり(サロン)
- 一人暮らしの人が参加できる機会づくり

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 緊急時の連絡・支援体制



課題解決に向けて

- 連絡網の整備
- 見守り・声かけ活動の充実(役割分担)
- サロン活動の充実・設置(2カ所増)
- 健康増進(料理教室等)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 小地域での災害時の対応方法



課題解決に向けて

- 避難方法・避難場所の検討
- 隣近所で動ける体制づくり
- 地域の状況確認(マップづくり)
- 防災訓練

《 継続して取り組んでいく事業 》

- グラウンドゴルフ大会(年1回)・練習(週2回)
- 清掃活動(各自治会年2回・芋炊き会年2回・分館年1回・学校清掃10回)
- 料理教室(年1回)
- 懇親会・食事会(自治会常会・新年会・サロン・老人クラブ)

- 見守り・声かけ活動
- 豪雨等の際の見守り訪問
- 常会(自治会)
- グラウンドゴルフ練習
- サロン(2カ所)
- 研修会

- 防災・防犯講習会
- 見守り活動

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

大和地区のまちづくりプラン

“やさしく団結”大和まほろばの里

●大和地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	110 人	世帯数	60 世帯
14歳以下	0 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	8 世帯
15～64歳	48 人	高齢者のみ世帯数(※)	1 世帯
65歳以上	62 人	高齢化率(65歳以上)	56.4 %
75歳以上	39 人	後期高齢化率(75歳以上)	35.5 %

地域の資源(特徴)

旧大和小学校グラウンド・体育館、多目的集会所、公民館分館、消防団、老人クラブ、七宮七堂、自治会数3 など

(特徴:旧山城町・池田町に属する自治会で構成。日常生活圏域としては旧大和小学校区として活動実施。地域内の連携が強く、全域への情報共有・伝達がうまく行えている。)

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 高齢化が進んでおり、地域内の交流の機会が少なくなっている



課題解決に向けて

- 地域内の交流の推進(事業の継続)
- グラウンドゴルフの実施
- 常会の継続

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 援助が必要となった人の状況確認ができる体制が必要



課題解決に向けて

- 健康増進(運動・栄養・口腔・認知症)
- 介護予防の推進
- 見守りの充実

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害時の備えができるよう意識を高めていく必要がある



課題解決に向けて

- 防災・防犯への備え
- 避難が必要となった際の備え(避難所体験)
- 災害などの情報共有

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 研修会の開催
- グラウンドゴルフ大会
- 敬老会
- 運動会
- 健康体操
- 常会(自治会)

- ふれあい郵便
- 歳末訪問事業
- 健康体操
- 常会

- 防災・防犯研修会
- 避難所の設備表示
- 災害時状況把握
- 清掃活動(自治会)
- 常会

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

山城中央地区のまちづくりプラン

手をつなぎ笑顔で豊かな山城中央

●山城中央地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	1,010 人	世帯数	499 世帯
14歳以下	86 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	72 世帯
15～64歳	500 人	高齢者のみ世帯数(※)	45 世帯
65歳以上	424 人	高齢化率(65歳以上)	42.0 %
75歳以上	254 人	後期高齢化率(75歳以上)	25.1 %

地域の資源(特徴)

狸まつり、婦人会、消防団、老人クラブ、山城分館、幼稚園、山城小学校、山城中学校、市役所、消防署、駐在所、郵便局、金融機関、川口駅、歯科医院、自治会数 8 など

(特徴:山城町の中心地で人口も多く、公共機関などの社会資源も多い。狸まつり等住民主体での地域活性化イベントの企画運営を行うなど、実践力が強い。)

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 移動手段がなく、参加者が限定され、減少している



課題解決に向けて

- 地域内での声かけの充実
- 井戸端会議(小地域での集まり)の機会を増やす
- サロン活動の実施
- 運動会の継続(地域全体が集う場)との交流

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 援助が必要な人を早期に発見できる体制づくり



課題解決に向けて

- 見守り・声かけ活動
- ネットワーク会議時のささえあいマップ作成
- 地域への情報発信を工夫(回覧板文字を大きくするなど)
- 外出の機会の確保(サロン活動充実)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災意識の向上



課題解決に向けて

- 防災訓練の継続(自治会単位での実施)
- 危険箇所の確認・点検
- 地域内での避難や状況確認方法の整備(ささえあいマップ活用)

《 継続して取り組んでいく事業 》

- 運動会
- 小学校との交流活動
- サロン活動
- カラオケの集い
- グラウンドゴルフ大会

- IP電話を活用しての見守り
- 声かけ活動
- サロン活動
- ささえあいマップ

- 防災訓練
- 講習会

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

河内地区のまちづくりプラン

「こたあ～ないかえ」声かけあおう皆一家族の里河内

●河内地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	256 人	世帯数	149 世帯
14歳以下	5 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	31 世帯
15～64歳	86 人	高齢者のみ世帯数(※)	22 世帯
65歳以上	65 人	高齢化率(65歳以上)	64.5 %
75歳以上	107 人	後期高齢化率(75歳以上)	41.8 %

地域の資源(特徴)

老人クラブ、婦人会、消防団、河内分館、旧河内小学校、大西神社、大日靈神社、仏子谷水車復元保存会、白川谷を守ろう会、自治会数6 など

(特徴:平成30年7月豪雨災害により避難による住民の流出がある。以前にも大規模災害を経験しており防災に対する意識が高い。地域内3地区でサロン活動を実施。)

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 高齢化により1カ所で集まることが難しい



課題解決に向けて

- 自治会単位での集まりの機会を持つ
- 座談会による地域内の課題の検討
- 部落間の交流
- ほたるを増やす活動

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 地区ごとの人口減少で支援体制がとりにくい



課題解決に向けて

- 地域ごとの交流の場づくり(顔見知りの関係づくり)
- 見守り活動(ながら見守り)
- 相談できる関係づくり
- ささえあいマップによる状況確認

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災意識・知識の向上



課題解決に向けて

- 防災に関する研修や訓練の実施
- 地域内の危険箇所の確認
- 避難方法・避難場所の確認
- ささえあいマップでの支援体制の確認(避難方法、要支援者)

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 運動会
- サロン活動(100歳体操)
- グラウンドゴルフ練習
- 自治会の集会など

- 見守り活動(自治体単位で広報配布時)
- サロン活動(100歳体操)
- グラウンドゴルフ練習
- ささえあいマップ

- 防災研修・訓練
- ささえあいマップ

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

西宇地区のまちづくりプラン

声かけよう 広げよう 西宇の輪

●西宇地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	181 人	世帯数	144 世帯
14歳以下	8 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	18 世帯
15～64歳	78 人	高齢者のみ世帯数(※)	0 世帯
65歳以上	95 人	高齢化率(65歳以上)	52.5 %
75歳以上	63 人	後期高齢化率(75歳以上)	34.8 %

地域の資源(特徴)

消防団、西宇分館、山城会(特別養護老人ホーム・ケアハウス・デイサービス・いきいきサロン)、森林組合、郵便局、小歩危駅、岸本神社、サンリバー大歩危、自治会数9 など
(特徴:社会福祉法人や森林組合、郵便局、ホテルなど地域の中心地に社会資源が多くある。自治会での連絡体制が整っており、状況確認がスムーズに行えている。)

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域内での交流の機会の維持



課題解決に向けて

- サロン活動の実施
- 清掃活動の継続
- 自治会単位での集会の実施
- 敬老会の開催

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 元気で地域活動に参加できる機会をもつ



課題解決に向けて

- 歳末助け合い事業の継続
- 見守り体制づくり(自治会単位)
- 健康増進(100歳体操)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域内に危険箇所が多く、避難方法や防災への対応に不安がある



課題解決に向けて

- 防災訓練・研修会の実施
- 危険箇所・避難方法の確認
- 見守り体制

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- サロン活動(100歳体操・峯サロン)
- 清掃活動(自治会単位)
- 自治会の集会など
- 敬老会

- サロン活動
- 歳末助け合い事業
- 要支援者状況確認
- ささえあいマップ

- 防災訓練
- 自治会班長制度による地域内の情報伝達・共有
- ささえあいマップ

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

上名地区のまちづくりプラン

敬愛の心でめんめに見守る上名

●上名地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	227 人	世帯数	169 世帯
14歳以下	4 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	17 世帯
15～64歳	72 人	高齢者のみ世帯数(※)	11 世帯
65歳以上	151 人	高齢化率(65歳以上)	66.5 %
75歳以上	99 人	後期高齢化率(75歳以上)	43.6 %

地域の資源(特徴)

婦人会、消防団、富川谷の会、上名分館、保育所、旧上名小学校、野鹿池祭り、妖怪祭り、自治会数5 など

(特徴:地区内の結束が強く、公民館分館活動を中心に各種団体が連携し、情報共有ができています。)

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 人口減少により地域内の活動の維持が困難



課題解決に向けて

- 行事の継続による交流の場づくり
- 行事に参加困難な人への対応
- 地域住民の状況確認

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 見守りネットワークの充実



課題解決に向けて

- 声かけ・見守り活動による困りごとの確認
- 民生委員との情報共有
- 見守り体制づくり(自治会単位で見守りの役割分担)
- 緊急時の対応

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災・防犯活動に対する意識の向上



課題解決に向けて

- 防災研修の実施
- 地域内への情報の発信
- 地域内での対応の検討(高齢者避難準備情報発令時の対応等話し合いの機会)
- 情報共有

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- クリスマス会
- 研修会
- 妖怪まつり
- 野鹿池祭り
- 清掃・環境美化活動
- 自治会ごとの常会

- 見守り活動
- ささえあいマップ

- 研修会
- ささえあいマップ

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

下名地区のまちづくりプラン

皆で声かけ茶を飲み話そう歩危の里

●下名地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	363 人	世帯数	128 世帯
14歳以下	15 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	29 世帯
15～64歳	139 人	高齢者のみ世帯数(※)	27 世帯
65歳以上	209 人	高齢化率(65歳以上)	57.6 %
75歳以上	128 人	後期高齢化率(75歳以上)	35.3 %

地域の資源(特徴)

婦人会、消防団、老人クラブ、下名分館、下名小学校、駐在所、熊野神社、両皇神社、百手保存会、百手まつり、診療所、自治会数9 など

(特徴:高知県境に位置し、雨量による通行制限がある。地域内の小学校では生徒数減少が著しい。地域内には各種団体組織が残っており、連携した事業実施が図れている。)

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 子どもの減少により世代間交流の機会が少ない



課題解決に向けて

- 地域内の各種団体の連携
- 学校行事への協力
- 小地域での集まりの継続(自治会の集会、ウォーキング、GG練習、井戸端会議、百手保存会活動等)

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 身体機能の低下により生活しづらさを感じる人が増えた



課題解決に向けて

- 見守り活動(歳末訪問、友愛訪問、ひな祭り弁当、年賀状発送、安否確認の継続)
- ささえあいマップによる状況確認
- 健康増進事業(介護予防教室)
- 小さな地域単位での集まりの場づくり

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 動ける人が少なくなり、火事や災害時に地域内での初期活動が困難



課題解決に向けて

- 地域内の防災設備などの確認・操作訓練(自治会単位)
- 防災、防火、防犯に関する情報提供
- 訓練の実施(下名地域全域、各自治会単位)
- ささえあいマップでの支援体制の確認(避難方法、要支援者)

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 運動会
- 小学校との交流活動
- ひな祭り弁当
- 自治会の集会など
- 敬老会

- 見守り活動(友愛訪問、ウォーキング、広報各戸訪問配布)
- 一人暮らし高齢者訪問
- 介護予防教室
- サロン活動
- ささえあいマップ

- 防火水槽点検・消火器確認点検(日浦・水無)
- 放水練習(水無)
- 防犯啓発年賀状
- ささえあいマップ

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

吾橋地区のまちづくりプラン

助け合い・愛と笑顔の校区民

● 吾橋地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	165 人	世帯数	87 世帯
14歳以下	10 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	12 世帯
15～64歳	73 人	高齢者のみ世帯数(※)	13 世帯
65歳以上	82 人	高齢化率(65歳以上)	49.7 %
75歳以上	50 人	後期高齢化率(75歳以上)	30.3 %

地域の資源(特徴)

みんなが吾橋を愛している、郷愛会、活発な組織活動(地区住協・婦人会・老人クラブ)、お茶の先生、三味線の先生、吉野川、吾橋谷川、鶏足山、雲海、民謡、古宮神社(加良宇多姫伝説)、榎鉾神社(銅鐸)、安楽寺、白山神社、五所神社大杉、丘の坊、八坂神社、榎お堂、集会所、鶏足山キャンプ場、吾橋小学校、お茶 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 意思疎通(コミュニケーション等)の促進



課題解決に向けて

- 団地の人たちとの交流を深めよう
- 小学校行事への参加協力を通じて世代間交流を図ろう
- 100歳体操を広げよう

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 援助が必要な方が多く支援が行き届きにくい



課題解決に向けて

- 見守りマップ(地区全域・自治会ごと)を更新し、情報を共有(年1回)
- 老人クラブ等との連携やIP電話の活用で、見守り活動の効率化を図る

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害時への備えをさらに充実したい



課題解決に向けて

- 市役所、自主防災組織との連携の強化
- 防災研修会(AED・消火訓練など)を開催
- 地域・各個人においての備蓄を充実させていく

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 道づくり活動
- 環境美化活動
- ふれあいサロン
- 閉じこもり予防の茶話会(サロン)
- 三世代交流
- 小学校への協力
- 小学校との交流 GG 大会(芋炊き・焼き芋)
- 杵つき餅贈呈事業(協力)
- 夏祭り開催
- 加羅宇多姫

- ささえあいネットワーク会議
- ふれあいサロン
- 閉じこもり予防の茶話会(サロン)
- あんしん手帳の確認
- 安否確認(声かけ・訪問)
- 見守り活動
- 見守り情報交換
- 杵つき餅贈呈事業(協力)

- 道づくり活動
- 環境美化活動

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

西岡地区のまちづくりプラン

「おるかえ！」声かけ運動

●西岡地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	188 人	世帯数	105 世帯
14歳以下	4 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	11 世帯
15～64歳	82 人	高齢者のみ世帯数(※)	15世帯
65歳以上	102 人	高齢化率(65歳以上)	54.3 %
75歳以上	69 人	後期高齢化率(75歳以上)	36.7 %

地域の資源(特徴)

平家屋敷、徳善屋敷、JR 大歩危駅、西祖谷中学校、グループホーム、ゲートボール場、ふすま絵からくり(組立式)、神代踊り、国見山の風景、自然に湧き出る水、西岡大銀杏、雲海、後山峠(おうどう) など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域行事を通じて絆づくりをしていこう



課題解決に向けて

- 地区住協活動を知ってもらう(広報活動)
- 地域行事を通じて絆を深め、後継者を育成する
- 呼びかけ合いみんなで環境美化活動に取り組む

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 移動支援や見守り活動が困難になってきた



課題解決に向けて

- 見守りマップを作製し、情報を共有(年1回)
- サロン活動を推進する
- 各種団体と連携し、見守り活動を行う
- タクシー利用等、移動方法を検討する

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害時の備えをもう一度見直そう



課題解決に向けて

- 防災訓練の実施
- 近くで安全な避難場所と避難ルートの確認
- 各個人においての災害への備えを呼びかける

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- あんしん手帳の確認
- ふれあいサロン
- 見守り活動
- 声かけ運動
- 施設訪問活動
- ささえあいネットワーク会議
- 杵つき餅贈呈事業(協力)
- 環境美化活動

- あんしん手帳の確認
- ふれあいサロン
- 見守り活動
- 声かけ運動
- 施設訪問活動
- ささえあいネットワーク会議
- 杵つき餅贈呈事業(協力)

- 環境美化活動

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

櫛生地区のまちづくりプラン

呼びかけて 元気に応える 笑顔が見たい

● 櫛生地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	358 人	世帯数	195 世帯
14歳以下	30 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	28 世帯
15～64歳	156 人	高齢者のみ世帯数(※)	16 世帯
65歳以上	172 人	高齢化率(65歳以上)	48.0 %
75歳以上	95 人	後期高齢化率(75歳以上)	26.5 %

地域の資源(特徴)

三好市西祖谷支所、養護老人ホーム、西祖谷診療所、駐在所、老人福祉センター、市社協西祖谷支所、郵便局、櫛生小学校、西祖谷認定こども園、道の駅、ふれあい公園、重末コミセン、八幡神社、平崎神社、若宮神社、八幡獅子太鼓、一字だんじり太鼓、温泉、祖谷源内の里、祖谷源内の里小屋掛け舞台、源内の里五右衛門風呂、古道、歴史的遺産、祖谷のかずら橋歌碑、美しい四季、豊かな自然、名峰国見山、名峰中津山、おいしい空気、おいしい水、そば、こんにゃく など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 生活環境の整備と伝統文化継承活動の推進



課題解決に向けて

- 地区住協からの情報発信と行事への参加呼びかけ
- 生活道やコミセン等での草刈り等管理作業を実施
- 伝統文化の掘り起こしと世代を超えた継承活動

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 高齢者に対する支援方法を検討し充実させる



課題解決に向けて

- 見守りマップを作製し、情報を共有(年1回)
- あいさつ・声かけの推進
- サロン活動の推進
- 買い物等の支援活動

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 日常生活における防災力の向上を図る



課題解決に向けて

- あんしん手帳の整備と活用
- 防災研修・避難訓練等の実施
- 地域安全点検の実施
- 各家庭での災害への備えの呼びかけ

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 道づくり・環境美化活動
- 世代間交流
- 見守り活動
- ワンコイン運動
- ふるさとまつり
- ふれあいサロン(100歳体操)
- 夕涼み会
- 杵つき餅贈呈事業(協力)

- あんしん手帳の確認
- 道づくり・環境美化活動
- 見守り活動
- ささえあいネットワーク会議
- ふれあいサロン(100歳体操)
- 杵つき餅贈呈事業(協力)

- あんしん手帳の確認
- 道づくり・環境美化活動

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

善徳地区のまちづくりプラン

「どうぞえ～、機嫌ええかえ～」を合言葉に地域の繋がりを広げよう

●善徳地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	227 人	世帯数	113 世帯
14歳以下	10 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	24 世帯
15～64歳	103 人	高齢者のみ世帯数(※)	11 世帯
65歳以上	114 人	高齢化率(65歳以上)	50.2 %
75歳以上	70 人	後期高齢化率(75歳以上)	30.8 %

地域の資源(特徴)

活発な組織活動(地区住協・婦人会・老人クラブ・消防団)、祖谷の粉挽き節、神代踊り、恵伊羅御子、紅葉、星空、琵琶の滝、祖谷川、かずら橋、天満宮、八坂神社、六社神社、温泉、宿泊施設、キャンプ場、ゲートボール場、お茶、そば、でこまわし、石豆腐、あめご、そば米雑炊など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 絆を深める・次世代につなげていく取組が必要



課題解決に向けて

- 天神の踊などを通じた世代を超えた交流と親睦を深める活動の推進
- 各団体活動への参加呼びかけ(後継者の育成)
- 地区住協に関する PR 活動・広報活動の推進

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 援助が必要な方が多く支援が行き届きにくい



課題解決に向けて

- 見守りマップを更新し、情報を共有(年1回)
- 老人クラブ等との連携やIP電話の活用で、見守り活動の効率化を図る
- 見守りを意識しながら、既存の活動(広報配布や募金活動等)を行う

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害時への備えをさらに充実したい



課題解決に向けて

- 市(危機管理課・支所)、消防署との連携の強化
- 地域・各個人においての備蓄を充実させていく
- 防災や防犯に関する啓発活動を行う

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- ふれあいサロン
- 100歳体操
- ささえあいネットワーク会議
- 各種研修会等
- 見守り活動
- 環境美化活動
- 防災研修会
- 健康教室
- 親睦研修旅行
- 杵つき餅贈呈事業(協力)

- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- GH もみじ訪問
- 杵つき餅贈呈事業(協力)

- 環境美化活動
- 防災研修会

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

和田地区のまちづくりプラン

声かけて みんなで広げる 地域の和

●和田区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	169 人	世帯数	113 世帯
14歳以下	4 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	28 世帯
15～64歳	70 人	高齢者のみ世帯数(※)	7 世帯
65歳以上	95 人	高齢化率(65歳以上)	56.2 %
75歳以上	61 人	後期高齢化率(75歳以上)	36.0 %

地域の資源(特徴)

釣井・和田分館、小島地区老人憩の家、消防署、郵便局、市営住宅、木村家、篋庵トラスト、竜宮崖公園、観光案内所、三社神社、新田神社、大日堂 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域住民との交流



課題解決に向けて

- 地域行事、活動等への周知、呼びかけ
- 寄合等での談話実施
- 各自治会長・地区住協役員・関係者との情報交換の推進

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 高齢者・独居世帯の見守り



課題解決に向けて

- 訪問、電話等による安否確認の継続
- 生活支援の継続(買物・雑用等のお世話)
- 見守り活動継続強化

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害・緊急時に関する支援



課題解決に向けて

- 各避難場所の周知徹底
- 避難場所への誘導、事後の安否確認の周知徹底
- 緊急時の連絡体制の確認
- 不審者・不審車両の通報の周知

《 継続して取り組んでいく事業 》

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 道路愛護デー

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 道路愛護デー
- 各種研修会等参加

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

小谷グループ地区のまちづくりプラン

声かけて 心がかよう 小谷筋

●小谷グループ地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	150 人	世帯数	100 世帯
14歳以下	9 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	19 世帯
15～64歳	55 人	高齢者のみ世帯数(※)	5 世帯
65歳以上	86 人	高齢化率(65歳以上)	57.3 %
75歳以上	66 人	後期高齢化率(75歳以上)	44.0 %

地域の資源(特徴)

ヘリポート、集会所、公民館、老人憩の家、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、清流、堀切大師、白山神社、白髪神社、三宝神社、桐部神社、ミニ八十八ヶ所、水飲み放題、京柱峠、阿佐尻山 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

● 交流の場づくり



課題解決に向けて

- 若者と高齢者の交流会(地域の集会所を利用)
- 食事会等の開催
- 他地域との交流(カラオケ・ゲートボール等・学校等)
- 小規模サロン活動(少人数でのお茶会・懇談会・ウォーキング・遠足等)

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

● 日頃のささえあい



課題解決に向けて

- 高齢者宅等への訪問活動の推進
- 独居老人等の話し相手の推進
- 全地区での見守り活動の推進
- 状況把握し関係機関への迅速な連携の推進
- 歳末助け合い支援

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

● 災害時の支援体制



課題解決に向けて

- 小川ヘリポート防災拠点の環境整備支援
- 自主防災会や地元消防団との連携支援
- 地元老人福祉施設との防災連携支援
- 要援護者等の把握及び避難支援

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 小川白山・樫尾三宝神社清掃
- 八十八ヶ所祭協力
- 道路愛護デー
- ヘリポート周辺草刈り
- 施設交流ゲートボール

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 小川白山・樫尾三宝神社清掃
- 八十八ヶ所祭協力
- 道路愛護デー
- ヘリポート周辺草刈り
- 各種研修会等参加

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

平家グループ地区のまちづくりプラン

朝・夕に 声かけ愛 たすけ愛

●平家グループ地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	48 人	世帯数	24 世帯
14歳以下	4 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	3 世帯
15～64歳	25 人	高齢者のみ世帯数(※)	2 世帯
65歳以上	17 人	高齢化率(65歳以上)	52.0 %
75歳以上	11 人	後期高齢化率(75歳以上)	29.1 %

地域の資源(特徴)

平家屋敷、阿佐家の墓、観音堂の鰐口(有形文化財・工芸品)、秋葉神社、観光用トイレ、麦生土集会所 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 環境美化及び地域住民との交流



課題解決に向けて

- ゴミ拾い・清掃活動等の実施
- あいさつ運動
- 手づくり料理での食事会の継続

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- とおり同志の助け合い



課題解決に向けて

- IP電話の声かけ活動
- 訪問活動
- 長期不在時には近くの人へ連絡する
- SOS発信

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 戸締り用心・災害用心



課題解決に向けて

- 危険箇所を発見したら自治会長に連絡
- 避難場所を決めて周知し合う
- 避難する際には近所で声を掛け合う
- 防犯広告等の周知

《 継続して取り組んでいく事業 》

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 食事会・サロン
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 道路愛護デー
- 草刈り
- 空き缶・ゴミ拾い

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 食事会・サロン
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 食事会・サロン
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 道路愛護デー
- 草刈り
- 空き缶・ゴミ拾い
- 各種研修会等参加

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

新居屋地区のまちづくりプラン

声かけて 地域の絆 深めます

●新居屋地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	46 人	世帯数	26 世帯
14歳以下	4 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	7 世帯
15～64歳	25 人	高齢者のみ世帯数(※)	2 世帯
65歳以上	17 人	高齢化率(65歳以上)	36.9 %
75歳以上	11 人	後期高齢化率(75歳以上)	23.9 %

地域の資源(特徴)

旧栃之瀬小学校、旧栃之瀬保育所、商店、新田神社と銀杏木、茶畑、ダム、山菜が豊富 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 顔を合わす機会づくり



課題解決に向けて

- 地域行事等、活動の呼びかけ参加
- ご近所さん同士声かけ運動の推進

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 困りごとに気付く体制づくり



課題解決に向けて

- 見守り活動の継続実施と会長に安否確認の連絡
- ご近所さん同士日頃の声かけと助け合い

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害時の避難及び地域外の人に対する支援



課題解決に向けて

- 避難場所の確認
- ご近所さん同士助け合って避難
- 災害時の避難呼びかけ連絡網の充実
- 地域外の人への支援

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 食事会・ミニサロンの開催
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 被災者支援
- 新田神社清掃・集会所掃除及び周辺草取り
- 道路愛護デー

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 食事会・ミニサロンの開催
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 被災者支援

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 食事会・ミニサロンの開催
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 被災者支援
- 新田神社清掃・集会所掃除及び周辺草取り
- 道路愛護デー
- 各種研修会等参加

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

若林地区のまちづくりプラン

声かけて 老いも 若きも 助け合い

●若林地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	72 人	世帯数	45 世帯
14歳以下	3 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	7 世帯
15～64歳	19 人	高齢者のみ世帯数(※)	6 世帯
65歳以上	50 人	高齢化率(65歳以上)	69.4 %
75歳以上	21 人	後期高齢化率(75歳以上)	29.1 %

地域の資源(特徴)

若林集会所、浦戸の橋、春祭り、四電発電所、電気店、製麺所(そば打ち体験)、建設業者、生コン業者、整体師、不動明さんのおいでる、美容室2軒、民泊受入施設 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 集まる人の環境づくり



課題解決に向けて

- 行事等に不参加者の状況把握
- 食事会等の継続
- 100歳体操の継続
- グランドゴルフ大会への参加及び練習

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 援助が必要となる方の早期発見及び対応



課題解決に向けて

- 見守り活動、訪問活動の継続
- 声かけ活動
- 相互の安否確認

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防犯対策及び防災活動



課題解決に向けて

- 危険個所の点検継続
- 自主防災組織及び関係機関との連携
- 情報交換及び住民へ周知

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 100歳体操
- 食事会・サロンの開催
- 道路愛護デー

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 100歳体操
- 食事会・サロンの開催

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 100歳体操
- 食事会・サロンの開催
- 道路愛護デー
- 各種研修会等参加
- 危険個所点検

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

京町地区のまちづくりプラン

いつまでも 笑顔で 集う 京町連！！

●京町地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	147 人	世帯数	85 世帯
14歳以下	4 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	19 世帯
15～64歳	66 人	高齢者のみ世帯数(※)	11 世帯
65歳以上	77 人	高齢化率(65歳以上)	52.3 %
75歳以上	48 人	後期高齢化率(75歳以上)	32.6 %

地域の資源(特徴)

市東祖谷支所、東祖谷診療所、東祖谷歯科診療所、社協東祖谷支所、デイサービス、東祖谷郵便局、京上商店街、宿泊施設、飲食店、ガソリンスタンド、民俗資料館、国盛杉、武家屋敷、七人塚、あめご淵、次郎淵、太郎淵、天皇森、美しい河川、山菜 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 世代間交流



課題解決に向けて

- 普段からの付き合いを大事にする
- 顔を合わせ声を掛け合う
- メインを作り交流を図る
- 新しい参加者を募る

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 日常会話の推進



課題解決に向けて

- 隣・近所の声かけ合い
- 見守り活動の推進
- 在宅生活の状況把握

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域の防災及び防犯の取り組み



課題解決に向けて

- 隣・近所の連携を図る

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 小中学校運動会協力
- 道路愛護デー
- 花壇の手入れ

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 小中学校運動会協力
- 道路愛護デー
- 花壇の手入れ

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

ひだまり班地区のまちづくりプラン

やさしさと 笑顔でつながる ひだまり班

●ひだまり班地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	69 人	世帯数	36 世帯
14歳以下	3 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	9 世帯
15～64歳	32 人	高齢者のみ世帯数(※)	5 世帯
65歳以上	34 人	高齢化率(65歳以上)	49.2 %
75歳以上	19 人	後期高齢化率(75歳以上)	27.5 %

地域の資源(特徴)

東祖谷小中学校、認定こども園、中上集会所、下瀬集会所、祖谷八景(農家民宿)、祖谷八景山野草園、天理教祖谷文教、大野神社、八幡神社、中上展望所、理髪店、四国交通バス停(2ヶ所)、食物が豊富(そば・じゃがいも・さつまいも・コンニャク)、山の恵みが多く山菜が採れる、福寿草が多い など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 環境づくりとコミュニケーションの推進



課題解決に向けて

- 集まりの場を作り参加呼びかけの実施
- 声かけ訪問の実施

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 隣・近所の日頃の助け合い



課題解決に向けて

- 声かけ活動
- 頼みやすい環境

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 地域の防犯及び防災支援の推進



課題解決に向けて

- 防犯・災害に関する情報発信
- 防災ネットワークの整備
- 災害グッズの備え

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催(健康教室・茶話会・レクリエーション)
- 自主防災組織協力
- 水源地の管理
- お宮・集会所清掃
- 花壇の手入れ
- 道路愛護デー

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催(健康教室・茶話会・レクリエーション)
- 自主防災組織協力
- 水源地の管理

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催(健康教室・茶話会・レクリエーション)
- 自主防災組織協力
- 水源地の管理
- お宮・集会所清掃
- 花壇の手入れ
- 道路愛護デー

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

三名ひだまり班地区のまちづくりプラン

手をつなぎ 笑顔を守る 三名ひだまり

●三名ひだまり班地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	63 人	世帯数	37 世帯
14歳以下	3 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	10 世帯
15～64歳	23 人	高齢者のみ世帯数(※)	6 世帯
65歳以上	37 人	高齢化率(65歳以上)	58.7 %
75歳以上	27 人	後期高齢化率(75歳以上)	42.8 %

地域の資源(特徴)

八幡神社、住吉神社、黒岡神社、神社に安徳帝が祭られている、寒峰(福寿草)、八幡神社祭り、東祖谷婦人活動推進施設 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 交流のきっかけづくり



課題解決に向けて

- 住民間の見守り活動(声かけ・訪問)
- いきいき百歳体操及びサロンの実施

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 地域での日常生活支援



課題解決に向けて

- 生活支援の実施
- 常日頃の助け合い

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災全般に関する取り組み



課題解決に向けて

- 危険箇所及び地域に関するの情報共有
- 災害時の地域住民の把握

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 道路愛護デー

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 道路愛護デー

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

落合アジサイクラブ地区のまちづくりプラン

優しさで 見守られてる 赤い旗

● 落合アジサイクラブ地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	153 人	世帯数	83 世帯
14歳以下	7 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	16 世帯
15～64歳	60 人	高齢者のみ世帯数(※)	5 世帯
65歳以上	86 人	高齢化率(65歳以上)	56.2 %
75歳以上	50 人	後期高齢化率(75歳以上)	32.6 %

地域の資源(特徴)

落合重伝建、落合峠、長岡家、旧落合小学校、そば道場、郵便局、駐在所、商店、豆腐屋、落合公民館(シャワー付き)、三所神社、簡易水道 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域住民との交流機会づくり



課題解決に向けて

- 若い人と顔を合わせての機会づくり
- 食事会等の継続
- 地域行事への参加呼びかけ

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 日常生活に対する支援



課題解決に向けて

- 赤い旗の元気確認活動継続
- 困りごと等の支援
- ちょこボラ支援(ちょっとしたボランティア活動の推進)

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 防災及び安心して暮らせる地域づくり



課題解決に向けて

- 防災訓練の実施及び備蓄の整備
- 防災及び防犯等の情報を周知する。
- 関係団体等との連携

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 安否確認訪問
- 手作りちまき、恵方巻訪問配布
- 道路愛護デー
- 防災訓練
- 花苗付け、花植え、草取り

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 安否確認訪問
- 手作りちまき、恵方巻訪問配布

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 安否確認訪問
- 手作りちまき、恵方巻訪問配布
- 道路愛護デー
- 防災訓練
- 花苗付け、花植え、草取り

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

西山紅葉クラブ地区のまちづくりプラン

思いやり ざっくばらんで 地域の輪

●西山紅葉クラブ地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	33 人	世帯数	23 世帯
14歳以下	0 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	7 世帯
15～64歳	7 人	高齢者のみ世帯数(※)	0 世帯
65歳以上	26 人	高齢化率(65歳以上)	78.7 %
75歳以上	19 人	後期高齢化率(75歳以上)	19.0 %

地域の資源(特徴)

三体神社、集会所、お堂、三体神社御神輿、三体神社おりかけ樽、奥とどろの滝、天狗塚など

①「地域の絆づくり」の推進

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 住民及び地元出身者との交流



課題解決に向けて

- ざっくばらん会での情報交換の場づくり
- 連絡網の継続
- 声かけ・日程調整

〈課題〉

- 地元住民の問題点の早期発見



課題解決に向けて

- ざっくばらん会を通し困りごとが言いやすい環境の継続
- お互いの見守り活動の継続
- 異変に気づいたら関係機関へ連絡相談の実施

〈課題〉

- 日常生活の困りごとの助け合い



課題解決に向けて

- 危険箇所及び地域に関する情報共有

《 継続して取り組んでいく事業 》

- ざっくばらん会の開催
- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- 高齢者世帯訪問
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 助け合い活動(道路補修)
- 道路愛護デー

- ざっくばらん会の開催
- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- 高齢者世帯訪問
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)

- ざっくばらん会の開催
- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- 高齢者世帯訪問
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 助け合い活動(道路補修)
- 道路愛護デー
- 各種研修会等参加

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

笑久保地区のまちづくりプラン

元気で語ろう 笑久保会

● 笑久保会地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	140 人	世 帯 数	70 世帯
14 歳 以 下	10 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	7 世帯
15 ～ 64 歳	60 人	高 齢 者 の み 世 帯 数 (※)	12 世帯
65 歳 以 上	70 人	高 齢 化 率 (65 歳 以 上)	50.0 %
75 歳 以 上	44 人	後期高齢化率(75歳以上)	31.4 %

地域の資源(特徴)

久保蔭十二所神社、ガソリンスタンド、久保五所神社、奉宮神社、毘沙門堂、虹の谷公園、ミョウケンさん(目の神様)、かずら原のとりごさん、太鼓田、天狗塚、奥轟の滝、大宮の淵、丸山辻付近の桜、大宮装束石、タクシー会社、そば畑 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域の世代交代



課題解決に向けて

- 地域の清掃活動・祭事への参加
- 食事会の実施
- 地域行事には誘い合う
- 地域のボランティア活動を知ろう(除草作業他)
- 近くの家族(地域外)への参加呼びかけ

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 気軽に話せる環境づくり



課題解決に向けて

- 見守り活動(さりげない声かけ・訪問活動の実施継続)
- ささえあいネットワークの推進(早期支援)
- 常日頃のつきあい
- コミュニケーションの推進

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 日常生活の助け合い及び関係機関・団体との繋がり



課題解決に向けて

- 地域住民への周知・呼びかけ
- 組織体制の強化

《 継続して取り組んでいく事業 》

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 毘沙門堂周辺清掃・側溝清掃(随時)
- 散歩会
- 道路愛護デー
- 芋植え・収穫・コンニャク作り・そば打ち体験 V

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 毘沙門堂周辺清掃・側溝清掃(随時)
- 散歩会
- 道路愛護デー
- 各種研修会等参加

(※)は、65 歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

菅生げんき会地区のまちづくりプラン

菅生 みんな 元気かい

●菅生げんき会地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	114 人	世帯数	69 世帯
14歳以下	2 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	17 世帯
15～64歳	38 人	高齢者のみ世帯数(※)	8 世帯
65歳以上	74 人	高齢化率(65歳以上)	64.9 %
75歳以上	51 人	後期高齢化率(75歳以上)	44.7 %

地域の資源(特徴)

旧菅生小学校、菅生公民館、いやしの温泉郷、奥祖谷観光周遊モノレール、円福寺、剣神社、尾山神社、新田神社、八幡神社、校区全体に団結力 など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域住民とのふれあい



課題解決に向けて

- 地域活動継続(食事会・餅つき等)
- サロン活動の推進

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 住民同士の見守り



課題解決に向けて

- 地域の声かけ活動
- 住民と協力団体との連携

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 緊急時の対応



課題解決に向けて

- 近所で支えあい活動の推進
- 自主的に早めの避難を心掛ける

《 継続して取り組んでいく事業 》

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 新年互例会(サロン)
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 道路愛護デー
- 手づくり弁当配布
- 元気クラブ(カラオケ・卓球・昔乙女一座)
- 旧菅生小学校グラウンド整備
- 草刈り

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 新年互例会(サロン)
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 手づくり弁当配布
- 養護老人施設視察研修

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 新年互例会(サロン)
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 道路愛護デー
- 養護老人施設視察研修
- 元気クラブ(カラオケ・卓球・昔乙女一座)
- 旧菅生小学校グラウンド整備
- 草刈り

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

奥祖谷クラブ地区のまちづくりプラン

なかよく こいっしょ ローカル 名頃

●奥祖谷クラブ地区データ

(令和元年9月末現在)

地区の人口	34 人	世帯数	20 世帯
14歳以下	0 人	一人暮らしの高齢者世帯数(※)	5 世帯
15～64歳	9 人	高齢者のみ世帯数(※)	7 世帯
65歳以上	25 人	高齢化率(65歳以上)	73.5 %
75歳以上	14 人	後期高齢化率(75歳以上)	41.1 %

地域の資源(特徴)

旧名頃小学校、美豆山神社、二重かずら橋、三嶺登山口、剣山、三嶺、お宿(丸石パーク)、天空の村かかしの里、ミツマタ、食べ物が美味しい、春の新緑、秋の紅葉、祖谷川清涼上流域のアメゴ、ジャガイモが美味しい など

①「地域の絆づくり」の推進

〈課題〉

- 地域の絆の共有



課題解決に向けて

- 地域行事の集い
- 行事終了後の食事会及びサロン
- 清掃活動

②「援助が必要な方に対する支援」の推進

〈課題〉

- 地域住民との交流



課題解決に向けて

- 地域での声かけ活動
- 地域のコミュニケーションの推進

③「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

〈課題〉

- 災害時の防災活動



課題解決に向けて

- 災害時避難対策
- 避難時の連絡網の運用

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 花見大会
- かかし祭り
- 旧名頃小学校グラウンド整備・草刈り
- 道路愛護デー
- 注連縄づくり

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 花見大会

- 高齢者等手づくり餅訪問配布
- ささえあいネットワーク会議
- 見守り活動
- 地区住協連合会イベント参加(福祉祭り・敬老会)
- 食事会・サロンの開催
- 花見大会
- かかし祭り
- 旧名頃小学校グラウンド整備・草刈り
- 道路愛護デー
- 注連縄づくり

(※)は、65歳以上で、社会福祉協議会の地域福祉台帳への登録数(登録は任意)

第

4

章

計画の推進

1 計画の公表

地域福祉を推進するためには、計画が目指す地域福祉の方向性や各種の施策・取組みについて、市民や関係機関・団体、事業所、行政等、計画に関係するすべての人が共通の理解をもつことが重要です。このため、社会福祉協議会の広報紙やホームページ等を通じ、本活動計画を公表し、社会福祉協議会が目指す地域福祉について市民等に幅広く周知します。

2 計画推進にあたってのお願い

本計画は、社会福祉協議会だけで推進できるものではありません。

地域の皆さんをはじめとして、福祉関係者や機関、団体がそれぞれの立場でご協力いただき、三好市という地域の中でともに推進していくものです。

○地域の皆さんにお願いしたいこと

「福祉」を人ごととして捉えず、自らに関わる身近なこととして捉えていただき、ご近所でお困りの方などがいらっしゃいましたら、話を聞いたり、声をかけたり、必要があれば、民生委員児童委員や市役所、社会福祉協議会などにご相談ください。また、普段から社会福祉協議会やその他団体、施設などが発信する情報、催しなどにも興味をもっていただき、普段の生活の中でできる範囲で地域福祉活動への支援・協力・参加をお願いします。

○民生委員児童委員、ボランティア・福祉団体、福祉施設などにお願いしたいこと

それぞれの立場で取り組んでおられることがらと、この計画の中で取り組む事項のなかで有効に結びつけることができるものについて、地域の皆さんや社会福祉協議会と協働して取り組んでいただくとともに、新たな取り組みについても、ご意見をいただき、ご協力をお願いします。

○行政機関にお願いしたいこと

市役所をはじめ、行政機関には、この計画が円滑に推進できるよう協力をいただき、計画推進のための様々な仕組みづくりに、積極的な参画、助言をお願いします。

○活動計画推進組織「地区住協」にお願いしたいこと

活動計画策定においては、社会福祉協議会とともにアンケート調査や座談会の実施、計画策定のメンバーとして、実際に動いていただきました。このことは、今後活動計画を強力に推進するための礎になったと思います。引き続き、ご協力いただいた皆さんを中心に、これからの活動計画の推進にご尽力くださいますようお願いいたします。

○社会福祉協議会の役割

地域の皆さんとともに、計画推進、進行管理の中心的役割と、計画推進組織の事務局機能、そして行政と地域の住民、関係団体とのパイプ役を担います。

計画の実施項目については、社会福祉協議会の年度ごとの事業計画に反映させ、前述の計画推進組織による年度ごとの進捗状況の点検、評価を行います。それをもとに社会福祉協議会は、当該年度計画の見直しや修正を行います。そして、これらの進捗状況や評価を、様々な媒体をとおして地域の皆さんにもお知らせしていき、ご意見をいただくとともに、協力いただくきっかけとします。

資 料 編

- 1 三好市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱
- 2 三好市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿
- 3 三好市地域福祉活動計画策定関係会議開催状況
- 4 アンケート調査結果
- 5 地区別地区住民福祉協議会一覧

1 三好市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

三好市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

（設 置）

第1条 三好市地域福祉計画の策定を受け、三好市における地域福祉活動の指針となる地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）を策定するにあたり、社会福祉法人三好市社会福祉協議会（以下「本会」という。）の本所ならびに各支所に地域福祉活動計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 委員会は、活動計画の策定に関する次の事項について協議する。

- 2 委員会は、活動計画と三好市が策定する三好市地域福祉計画が一体的に実施できるよう協議する。
- 3 委員会は、毎会計年度において活動計画を評価し、必要に応じて見直しを行う。

（組 織）

第3条 委員会の委員は次の各号に属する者で構成し、本会会長が委嘱する。

（本所委員会）

- （1）本会社会福祉部会理事
- （2）福祉事務所所長
- （3）本会事務局長
- （4）その他本会会長が認めた者

（支所委員会）

- （1）地区住民福祉協議会関係者
- （2）三好市支所長
- （3）ボランティア団体
- （4）社会福祉関係職員
- （5）その他本会会長が認めた者

（委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員長1名及び副委員長1名置き、委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時は副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 前項の規定にかかわらず、最初の委員会の会議は、本会会長が招集する。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

4 委員長は、必要に応じて委員会に委員会以外の者の出席を要請して意見を求めること、又は委員以外の者から資料の提出を求めることができる。

(任期)

第6条 委員の任期は第2条に規定する所掌事項を完了するまでとし、再任を妨げない。

2 欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(庶務)

第7条 本所委員会の庶務は、本会地域福祉課において処理し、支所委員会の庶務は、本会各支所において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、本会会長が別に定める。

附則

この要綱は、平成22年12月22日から施行する。

この要綱は、平成26年9月22日から施行する。

この要綱は、令和2年2月25日から施行する。

2 三好市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

三好市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

NO	役 名	氏 名	選出区分	備 考
1	委員長	田村 公子	地域組織	社会福祉部会担当理事
2	副委員長	菅井 弘昭	福祉団体	社会福祉部会担当理事
3	委員	大西 一雄	地域組織	社会福祉部会担当理事
4	〃	尾本 広明	学識経験	社会福祉部会担当理事
5	〃	大北 慶子	地域組織	社会福祉部会担当理事
6	〃	前田 晴機	福祉団体	社会福祉部会担当理事
7	〃	藤井 修身	福祉団体	社会福祉部会担当理事
8	〃	田中 一幸	行 政	三好市福祉事務所々長
9	〃	瀧川 昌彦	社会福祉協議会	社協事務局長

三野地区地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

NO	役 名	氏 名	選出区分	備 考
1	委員長	梶 英男	地区住協	三野地区住協連合会会長
2	副委員長	篠原 秋英	地区住協	〃 副会長
3	委員	岡本 好美	地区住協	
4	〃	山口 達郎	地区住協	
5	〃	中岡 和好	地区住協	
6	〃	川口 隆行	地区住協	
7	〃	中 耕司	地区住協	
8	〃	矢田 薫	地区住協	三野地区民児協会会長
9	〃	竹重 清美	地区住協	
10	〃	西尾百合子	行 政	三好市役所三野支所長
11	〃	平山 利雄	社 協	社協地域福祉課長

井川地区地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

NO	役 名	氏 名	選出区分	備 考
1	委員長	近藤 吉正	地区住協	井川地区住協連合会長
2	副委員長	福田 功稔	地区住協	〃 副会長
3	委員	山下 茂	地区住協	
4	〃	大西 順一	地区住協	
5	〃	坂本 董忠	地区住協	
6	〃	山下 武久	地区住協	
7	〃	近藤 俱子	地区住協	
8	〃	下川 一夫	地区住協	
9	〃	安宅 広樹	行 政	三好市役所井川支所長
1 0	〃	山田 直子	ボランティア団体	井川町婦人会長
1 1	〃	平山 利雄	社 協	社協地域福祉課長

池田地区地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

NO	役 名	氏 名	選出区分	備 考
1	委員長	辻岡 菊雄	地区住協	池田地区住協連合会会長
2	副委員長	真鍋 廣美	地区住協	〃 副会長
3	委員	上林 忠夫	地区住協	〃 副会長
4	〃	石川 泰正	地区住協	
5	〃	新居 一夫	地区住協	
6	〃	橋本浩太郎	地区住協	
7	〃	山下 昌稔	地区住協	
8	〃	森脇 忠利	地区住協	
9	〃	山田 悦久	地区住協	
1 0	〃	白川 素示	地区住協	
1 1	〃	松丸 忠仁	地区住協	
1 2	〃	新居 敏彦	地区住協	
1 3	〃	南 哲夫	地区住協	
1 4	〃	川人 亘	地区住協	
1 5	〃	長内 和代	地区住協	

NO	役 名	氏 名	選出区分	備 考
1 6	〃	喜多 宏実	地区住協	
1 7	〃	岡田 俊郎	地区住協	
1 8	〃	藤本 光廣	地区住協	
1 9	〃	斎藤 守義	地区住協	
2 0	〃	神前 徹	地区住協	
2 1	〃	宮崎 灘男	地区住協	
2 2	〃	柳倉 良廣	地区住協	
2 3	〃	安藤 彰浩	行 政	三好市地域福祉課長
2 4	〃	瀧川 昌彦	社 協	社協事務局長

山城地区地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

NO	役 名	氏 名	選出区分	備 考
1	委員長	深田 晃司	地区住協	山城地区住協連合会会長
2	副委員長	水原 祥作	地区住協	〃 副会長
3	委員	菅井 弘昭	地区住協	山城地区民児協会会長
4	〃	柳内 守	地区住協	
5	〃	山岡 高廣	地区住協	
6	〃	山口 正義	地区住協	
7	〃	新居健一郎	地区住協	
8	〃	乗常 晃男	地区住協	
9	〃	大西 重子	ボランティア団体	山城やまびこ会調理部代表
1 0	〃	土井 啓治	行 政	三好市役所山城支所市民課
1 1	〃	大西 道夫	社会福祉関係職員	山城会
1 2	〃	瀧川 昌彦	社 協	社協事務局長

西祖谷地区地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

NO	役 名	氏 名	選出区分	備 考
1	委員長	大西 一雄	地区住協	地区住協連合会長
2	副委員長	山田 京子	ボランティア団体	西祖谷山村連合婦人会長
3	委員	久保 秀子	地区住協	
4	〃	杉本 孝司	地区住協	
5	〃	谷口 友一	地区住協	
6	〃	赤松 恭一	福祉団体	有瀬地区民生委員
7	〃	梶平 貢司	福祉団体	西祖谷消防団長
8	〃	高平 和代	ボランティア	
9	〃	小野寺武夫	行 政	三好市役所西祖谷支所長
10	〃	平山 利雄	社 協	社協地域福祉課長

東祖谷地区地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

NO	役 名	氏 名	選出区分	備 考
1	委員長	岸 光人	地区住協	東祖谷地区住協連合会長
2	副委員長	樫浦 知美	地区住協	〃 副会長
3	副委員長	谷口 晃	地区住協	〃 副会長
4	委員	井下 正	地区住協	
5	〃	菅生 隆久	地区住協	
6	〃	福島 守	地区住協	
7	〃	谷岡 百子	地区住協	
8	〃	中石 利恵	地区住協	
9	〃	谷 俊治	地区住協	
10	〃	向井 敬治	地区住協	
11	〃	宮地 敏明	地区住協	
12	〃	森東恵美子	地区住協	
13	〃	小椋富士夫	地区住協	
14	〃	尾本 正二	行 政	三好市役所東祖谷支所長
15	〃	瀧川 昌彦	社 協	社協事務局長

3 三好市地域福祉活動計画策定関係会議開催状況

策定委員会一覧

年 月 日	会 議 名	内 容
令和元年 9月20日	第1回 三好市地域福祉活動計画策定委員会	・委員長及び副委員長の選任 ・第二次計画の進捗状況 ・第三次計画の策定について □アンケート調査報告 □策定スケジュール □策定の輪郭設定
令和2年 2月11日	第2回 三好市地域福祉活動計画策定委員会	・第三次計画の策定について □地域座談会報告 □地区住協計画及び地区計画の報告 □市計画策定協議 ・今後のスケジュール
2月21日	三野地区地域福祉活動計画策定委員会	・第二次計画の評価 ・委員長及び副委員長の選任 ・第三次計画の策定について
2月25日	井川地区地域福祉活動計画策定委員会	・第二次計画評価について ・委員長及び副委員長の選任 ・第三次計画の策定について
2月17日	池田地区地域福祉活動計画策定委員会	・委員長及び副委員長の選任 ・第三次計画の策定について
2月21日	山城地区地域福祉活動計画策定委員会	・委員長・副委員長選任 ・第二次計画の評価について ・第三次計画の策定について
2月27日	西祖谷地区地域福祉活動計画策定委員会	・委員長及び副委員長の選任 ・第三次計画の策定について
2月28日	東祖谷地区地域福祉活動計画策定委員会	・委員長及び副委員長の選任 ・第三次計画の策定について

(その他)

- ・令和元年10月31日 地区住民福祉協議会リーダー研修会にて研修及び演習実施
- ・令和2年3月16日 三好市社会福祉協議会理事会にて第三次計画策定内容報告

住民座談会開催一覧

◇ 三野地区

	地区住協名	第 1 回	参加人数	第2回	参加人数
1	清水地区住民福祉協議会	1 月 28 日	10 人	3 月 11 日	8 人
2	加茂野宮地区住民福祉協議会	12 月 2 日	11 人	3 月 26 日	10 人
3	勢力地区住民福祉協議会	2 月 18 日	8 人	3 月 3 日	2 人
4	芝生地区住民福祉協議会	1 月 29 日	11 人	3 月 30 日	2 人
5	東川原地区住民福祉協議会	1 月 19 日	12 人	2 月 21 日	2 人
6	太刀野地区住民福祉協議会	2 月 16 日	7 人	2 月 25 日	2 人
7	花園地区住民福祉協議会	2 月 8 日	7 人	3 月 14 日	17 人
8	太刀野山ふれあい推進会	1 月 18 日	10 人	2 月 23 日	18 人
9	東谷福祉会	12 月 17 日	7 人	2 月 19 日	27 人
合 計		9 回	83 人	5 回	88 人

◇ 井川地区

	地区住協名	第 1 回	参加人数	第2回	参加人数
1	辻地区住民福祉協議会	12 月 10 日	4 人	2 月 17 日	10 人
2	のつご地区住民福祉協議会	12 月 1 日	13 人	3 月 29 日	19 人
3	中村地区住民福祉協議会	11 月 27 日	17 人	3 月 13 日	17 人
4	なでしこ地区住民福祉協議会	12 月 16 日	6 人	2 月 28 日	8 人
5	黎明地区住民福祉協議会	11 月 26 日	13 人	3 月 6 日	16 人
6	立石地区住民福祉協議会	12 月 9 日	10 人	3 月 14 日	15 人
7	井内地区住民福祉協議会	11 月 30 日	5 人	1 月 15 日	11 人
8	かいな地区住民福祉協議会	12 月 5 日	8 人	3 月 16 日	2 人
合 計		8 回	8 回	7 回	98 人

◇ 池田地区

	地区住協名	第 1 回	参加人数	第2回	参加人数
1	箸蔵地区住民福祉協議会	2 月 14 日	10 人	4 月 10 日	1 人
2	佐野地区住民福祉協議会	3 月 5 日	8 人	4 月 24 日	1 人
3	西山地区住民福祉協議会	2 月 8 日	13 人	4 月 10 日	1 人
4	上野地区住民福祉協議会	12 月 13 日	9 人	4 月 10 日	1 人
5	出合地区住民福祉協議会	2 月 1 日	11 人	4 月 15 日	1 人
6	白地福祉友の会	12 月 5 日	10 人	4 月 24 日	1 人
7	福祉みなわの会	12 月 15 日	21 人	4 月 16 日	1 人
8	三縄中央地区住民福祉協議会	1 月 30 日	13 人	3 月 12 日	11 人
9	野呂内地区住民福祉協議会	3 月 20 日	7 人	4 月 15 日	1 人
10	下野呂内地区住民福祉協議会	3 月 22 日	13 人	4 月 15 日	1 人
11	池南・新山地区住民福祉協議会	1 月 14 日	19 人	4 月 10 日	1 人

	地区住協名	第 1 回	参加人数	第2回	参加人数
12	板野地区住民福祉協議会	1 月 24 日	6 人	4 月 10 日	1 人
13	馬路地区住民福祉協議会	4 月 14 日	3 人	4 月 18 日	1 人
14	馬場地区住民福祉協議会	2 月 2 日	14 人	3 月 8 日	13 人
15	池田第1区住民福祉協議会	2 月 20 日	7 人	4 月 16 日	1 人
16	池田第2区住民福祉協議会		3 人	4 月 15 日	1 人
17	池田第3区住民福祉協議会		4 人	4 月 16 日	1 人
18	池田第4区住民福祉協議会		10 人	4 月 16 日	1 人
19	シマ地区住民福祉協議会	11 月 23 日	15 人	4 月 10 日	1 人
20	供養地地区住民福祉協議会	1 月 30 日	10 人	4 月 10 日	1 人
21	影野地区住民福祉協議会	1 月 18 日	12 人	3 月 28 日	12 人
合 計		18 回	187 人	3 回	54 人

◇ 山城地区

	地区住協名	第 1 回	参加人数	第2回	参加人数
1	大野地区住民福祉協議会	1 月 17 日	12 人	2 月 21 日	1 人
2	政友地区住民福祉協議会	12 月 14 日	8 人	3 月 23 日	9 人
3	大和地区住民福祉協議会	12 月 15 日	19 人	3 月 15 日	20 人
4	山城中央地区住民福祉協議会	12 月 13 日	6 人	2 月 21 日	1 人
5	河内地区住民福祉協議会	12 月 17 日	8 人	3 月 11 日	13 人
6	西宇地区住民福祉協議会	12 月 17 日	9 人	2 月 21 日	1 人
7	上名地区住民福祉協議会	12 月 9 日	15 人	2 月 21 日	1 人
8	下名地区住民福祉協議会	12 月 19 日	11 人	2 月 21 日	1 人
合 計		8 回	88 人	3 回	47 人

西祖谷地区

	地区住協名	第 1 回	参加人数	第2回	参加人数
1	吾橋地区住民福祉協議会	12 月 23 日	6 人	2 月 6 日	郵送で確認
2	西岡地区住民福祉協議会	1 月 27 日	4 人	2 月 7 日	郵送で確認
3	榛生地区住民福祉協議会	1 月 21 日	3 人	2 月 6 日	郵送で確認
4	善徳地区住民福祉協議会	12 月 17 日	4 人	2 月 7 日	郵送で確認
合 計		4 回	17 人		

◇ 東祖谷地区

	地区住協名	第 1 回	参加人数	第2回	参加人数
1	和田地区住民福祉協議会	2 月 2 日	12 人	3 月 17 日	1 人
2	小谷グループ	2 月 1 日	12 人	3 月 17 日	1 人
3	平家グループ	2 月 2 日	11 人	3 月 17 日	1 人
4	新居屋地区住民福祉協議会	1 月 26 日	10 人	3 月 17 日	1 人
5	若林地区住民福祉協議会	1 月 28 日	8 人	3 月 17 日	1 人

	地区住協名	第 1 回	参加人数	第2回	参加人数
6	京町地区住民福祉協議会	1 月 29 日	10 人	3 月 17 日	1 人
7	ひだまり班	2 月 26 日	8 人	3 月 17 日	1 人
8	三名ひだまり班	3 月 2 日	1 人	3 月 28 日	7 人
9	落合アジサイクラブ	2 月 19 日	11 人	3 月 17 日	1 人
10	西山紅葉クラブ	2 月 3 日	1 人	3 月 17 日	1 人
11	笑久保会	1 月 31 日	6 人	3 月 17 日	1 人
12	菅生げんき会	1 月 30 日	12 人	3 月 17 日	1 人
13	奥祖谷クラブ	3 月 1 日	16 人	3 月 17 日	1 人
合 計		13 回	118 人	13 回	19 人

□住民座談会 第 1 回 合計 60 回開催 参加者合計 501 人
第 2 回 合計 17 回開催 参加者合計 306 人

※ 2 回目の座談会については、通常の座談会及び新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛活動により、地区住協会長会との個別会議や資料郵送での確認により実施したものを記載。

4 アンケート調査結果

5 地域別地区住民福祉協議会一覧

◇三野9地区

()内は設立年月

地区住協名	所属自治会
清水地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	清水南、清水中、清水北、清水西の東、清水西の西、清水上野、清水ふるさと団地
加茂野宮地区住民福祉協議会 (平成25年12月)	里西、里東、里中、東王地、西王地、王地団地、加茂野宮ふるさと団地、愉流里
勢力地区住民福祉協議会 (平成19年7月)	勢力東、勢力本地、勢力中、勢力西、勢力上野
芝生地区住民福祉協議会 (平成19年10月)	芝生門所、芝生上東、芝生上西、芝生中東、芝生中西、芝生栄町、芝生団地北、芝生第2北団地、中央団地、芝生団地東、芝生東町、芝生東新町、芝生本町、芝生仲町、芝生西町、芝生西新町、芝生坂ノ上、芝生若芝台
東川原地区住民福祉協議会 (平成19年1月)	東川原東、東川原西、東川原北東、東川原北西
太刀野地区住民福祉協議会 (平成29年4月)	谷東、中条、西ノ久保、原、太刀野団地
花園地区住民福祉協議会 (平成19年7月)	花園中、花園上、花園上新町、花園下新町、花園団地
太刀野山ふれあい推進会 (平成18年5月)	中屋西、中屋東、栗林、大平、藤黒、川又西、川又東、田野々、土釜、馬瓶、井の久保
東谷福祉会 (平成20年2月)	滝奥、東谷、大屋敷

◇井川8地区

()内は設立年月

地区住協名	所属自治会
辻地区住民福祉協議会 (平成19年8月)	旭町、浜東、浜西、新町、仲ノ町、本町、井関第1、井関第2、井関第3、向坂1班、向坂2班、向坂3班、流堂
のつご地区住民福祉協議会 (平成19年8月)	白丸、西新町東中組、城、西新町西の東、西新町西の西、西新町西の西一組、西新町西の西二組、西新町団地A棟、西新町2号団地
中村地区住民福祉協議会 (平成19年8月)	中村東、中村東団地、中村西、中村西団地、中村南、中村南団地AB、中村南団地C、桜ヶ丘
なでしこ地区住民福祉協議会 (平成19年8月)	女法寺東、女法寺南、女法寺北、吉本、北内第1、北内第2、北内第3、長田住宅、出ノ上、出ノ上東、森、森東、近金、長尾、出ノ上ユーハイツ、サニータウン佃、出ノ上ニュータウン
黎明地区住民福祉協議会 (平成19年7月)	吉野川団地、相知、相知台、相知2号団地、坊、坊住宅、坊2号団地、須賀、大泉ハイツ、須賀住宅、須賀2号団地、末、末団地、里川東、里川西

地区住協名	所属自治会
立石地区住民福祉協議会 (平成19年8月)	下吹、上吹檉山、上正夫、下正夫、大森、尾越、杉ノ木、段地、安田、三檉尾
井内地区住民福祉協議会 (平成19年8月)	大久保、下久保、倉石、馬路、松舟、向、井内坊、井内坊団地、井川中津、中津団地、吉木、上西ノ浦、下西ノ浦、色原、北地
かいな地区住民福祉協議会 (平成19年7月)	馬場、平、岩坂、冬・桜、知行、荒倉、駒倉、下影、上野住、下野住

◇池田21地区

()内は設立年月

地区住協名	所属自治会
箸蔵地区住民福祉協議会 (昭和46年7月)	東部、東部第 2、中部 1、中部 2、西部北、西部南、土用、西部第 2、上ノ段、下ノ段、池田中津、西山浜、入体、峰ノ久保、木屋床、落、舟原、池田中尾
漆川地区住民福祉協議会 (平成4年2月 現在休会中)	中津川、北谷、小林、越替、大川南、大川北、南谷、石立
佐野地区住民福祉協議会 (平成4年11月)	林、和田、宮、中央、佐野中西、佐野上組、高毛、沼谷、境谷、大宗、有安
西山地区住民福祉協議会 (平成5年5月)	只安、安広、洞草
上野地区住民福祉協議会 (平成5年6月)	大通西、上野大通、大道、御幸町東、御幸町西、上野中大通、上野中部北、上野中部南、丸山町北、丸山町南、丸山町中、丸山町西
出合地区住民福祉協議会 (平成5年6月)	山貝、千足、大申上、大申下、出合、石内上、石内下、上尾w後、下尾後、本名上、本名下、五軒、黒川、宮石
白地福祉友の会 (平成5年7月)	フコヲベ、仙野、橋ノ谷、三好橋、城、大西、中、栄、天神丁、北名、光陽台、白地峰、敷ノ上、井ノ久保東、井ノ久保旭、井ノ久保栗野、井ノ久保上
福祉みなわの会 (平成5年7月)	北一、北二、北三、中一、中二、高戸星、久保、中西南、漆川橋、大田、久尾、国畑、宮平、梅ノ谷
三縄中央地区住民福祉協議会 (平成5年12月)	大利空、大利八幡、大利込、大利西、京田、川崎込、川崎空東、川崎空西、西谷
野呂内地区住民福祉協議会 (平成6年3月)	ノロウチ下、ノロウチ中、ノロウチ上
下野呂内地区住民福祉協議会 (平成6年4月)	下ノロウチ東、下ノロウチ西
池南・新山地区住民福祉協議会 (平成6年5月)	新生会、池南東2、池南東、池南南、池南北、池南西、新山、新山第2
板野地区住民福祉協議会 (平成6年6月)	板野、板野団地
馬路地区住民福祉協議会 (平成6年6月)	朝日、堂面、日の出、天神、宮ノ下、境宮、上浦、峰友、双子布、大泉
馬場地区住民福祉協議会 (平成6年7月)	馬場東、馬場中央、馬場西

地区住協名	所属自治会
池田第1区住民福祉協議会 (平成8年8月)	矢塚町・西中通三・新地大通・新地東部・駅前南・駅前北・駅前西・銀座西・銀座中・銀座東・弥生
池田第2区住民福祉協議会 (平成8年8月)	高友・柳川西・柳川東・栄町西部・栄町東部・西町大通・西町本部・庚申町・大通昭和・中通・西町東部
池田第3区住民福祉協議会 (平成8年8月)	杉尾通・東中通二・かじや町・谷町・中町・本町・新東町・東町・北新町西・北新町東
池田第4区住民福祉協議会 (平成8年8月)	南新町上町・ハヤシ・南新町西・南新町東・南新町南・南新町中・親愛会・南新町北・新町西・新町中・新町東
シマ地区住民福祉協議会 (平成12年1月)	島東、島西、島南、提宮下
供養地地区住民福祉協議会 (平成25年3月)	水木町、池田ニュータウン、供養地東、供養地西
影野地区住民福祉協議会 (昭和53年11月)	池田正夫、影野

◇山城8地区

()内は設立年月

地区住協名	所属自治会
大野地区住民福祉協議会 (平成19年7月)	大野、信正、小川谷、佐連、大谷、大月、脇、八千坊、黒川、頼広、赤谷、平野、茂地
政友地区住民福祉協議会 (平成20年5月)	政友、寺野、相川、柴川、瀬貝、黒川(一部)
大和地区住民福祉協議会 (平成20年3月)	大和川、若山
山城中央地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	大川持、下川、岩戸、引地、末貞、川口、国政、重実
河内地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	光兼、白川、仏子、尾又、栗山、中野、有宮
西宇地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	大津、峯、上西宇、西宇団地
上名地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	津屋、平、平上、上名影、羽瀬
下名地区住民福祉協議会 (平成19年3月)	水無、内六、赤野、柿野尾、日浦、大川、下名影、南日浦、下名住宅

◇西祖谷6地区

()内は設立年月

地区住協名	所属自治会
有瀬地区住民福祉協議会 (平成19年4月 現在休会中)	谷間、有瀬下、有瀬上
吾橋地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	榎、土日浦、吾橋中屋、吾橋西名、吾橋下、吾橋上
西岡地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	徳善、西岡、後山
櫟生地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	田ノ内上、田ノ内下、一字枝、一字北、一字南、戸ノ谷、尾井ノ内、冥地、重末日浦、重末蔭
善徳地区住民福祉協議会 (平成19年4月)	善徳西ノ西、善徳かずら橋、善徳西ノ東、善徳東ノ西、善徳東ノ東、名越、今久保、中尾、閑定
小祖谷地区住民福祉協議会 (平成19年4月 現在休会中)	坂瀬、小祖谷西、小祖谷東

◇東祖谷13地区

()内は設立年月

地区住協名	所属自治会
和田地区住民福祉協議会 (平成19年6月)	高野、小島、佐野、今井、上釣井、下釣井、東祖谷和田
小谷グループ地区住民福祉協議会 (平成22年6月)	檜尾、小川、古味、樺の峰、元井
平家グループ (平成22年6月)	阿佐、麦生土
新居屋地区住民福祉協議会 (平成22年6月)	新居屋
若林地区住民福祉協議会 (平成22年6月)	若林、東祖谷大西
京町地区住民福祉協議会 (平成19年6月)	京上、下浦、大枝、東祖谷林
ひだまり班 (平成19年6月)	下瀬下、釜ヶ谷、中上
三名ひだまり班 (平成22年6月)	下瀬上、栗枝渡、栗枝渡奥、奥の井
落合アジサイクラブ (平成19年6月)	落合西、落合東、落合南、かずら原、深淵
西山紅葉クラブ (平成22年6月)	西山、九鬼
笑久保会 (平成22年6月)	久保東、久保西、久保陰
菅生げんき会 (平成22年6月)	菅生日浦下、菅生日浦中、菅生日浦奥、菅生陰、菅生陰奥
奥祖谷クラブ (平成19年6月)	名頃

社会福祉法人 三好市社会福祉協議会

〒778-0003 徳島県三好市池田町サラダ 1884-4

TEL (0883) 72-5715 FAX (0883) 72-5720